

Handwritten Japanese text on the book label. The top section, on a blue background with red characters, reads "大正" (Taisho) and "十一年" (Year 11). The bottom section, on plain paper, reads "丙" (Hei) and "一" (Ichi).



休而見於鶴居

田打後

正員堂持  
氏打於島守家

美野氏

末また

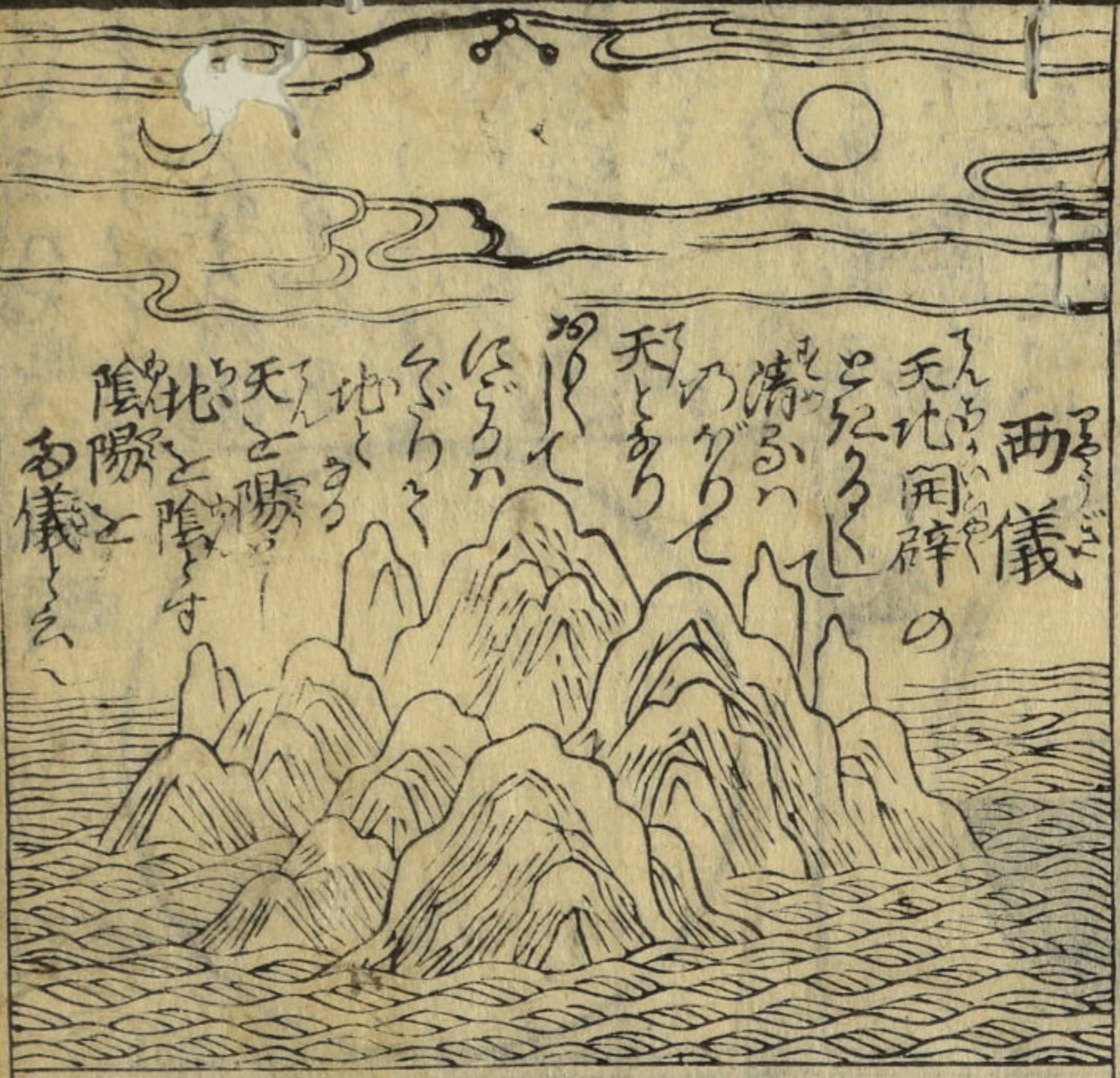


頭書增補割蒙圖彙卷之一

天文

此部より日月星辰雨霜雪のあかひを  
日月星辰の文章のれが易曰仰觀於天文

七政 日月と五星と合して七政といふ  
七曜と云日月五星天の政とある

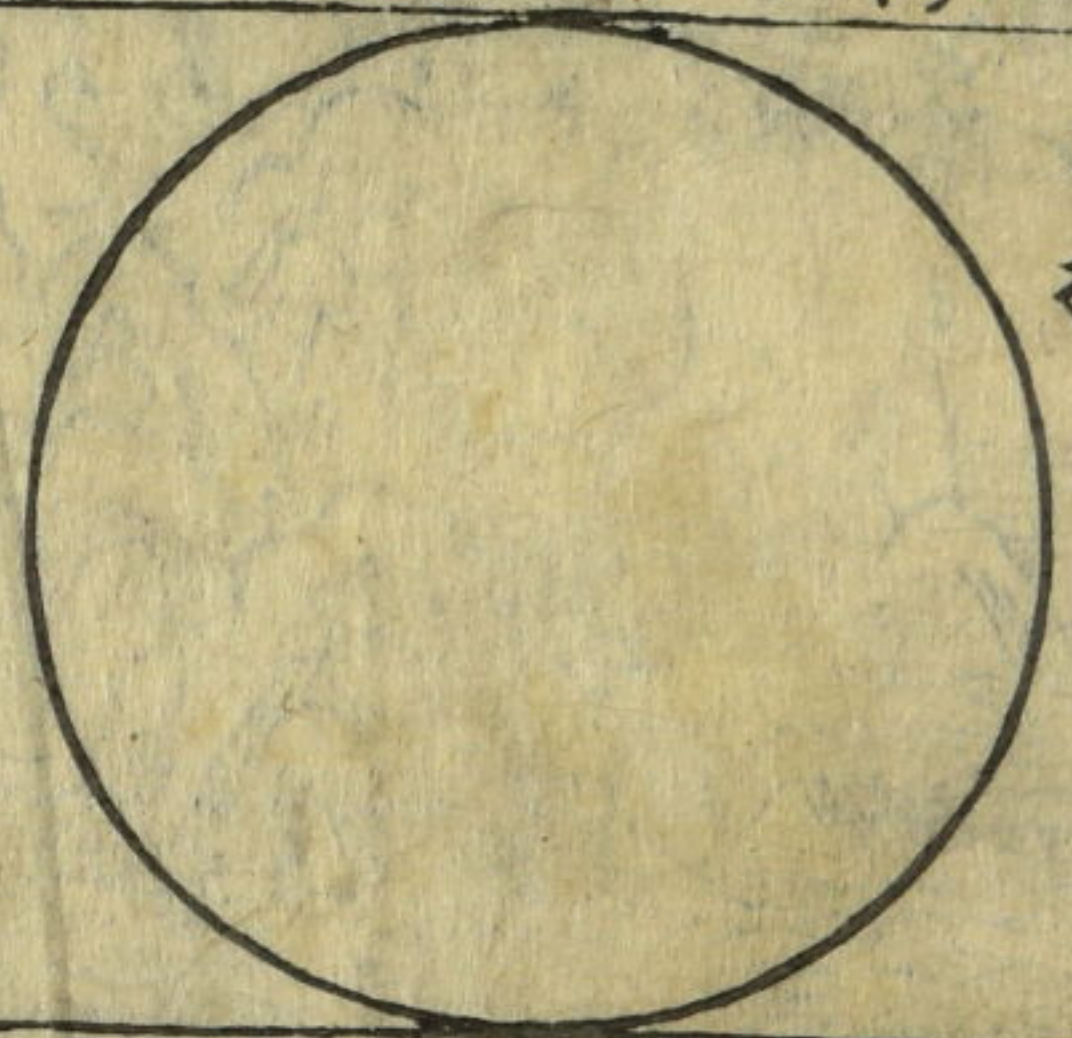


七政 木星と歳星との火  
星と熒惑との土星  
と金星との金星  
と太白との木星  
と辰星との木星  
金水の五行の星  
めぐりて陰陽と云  
一歳と日と云  
五星と五緯と云

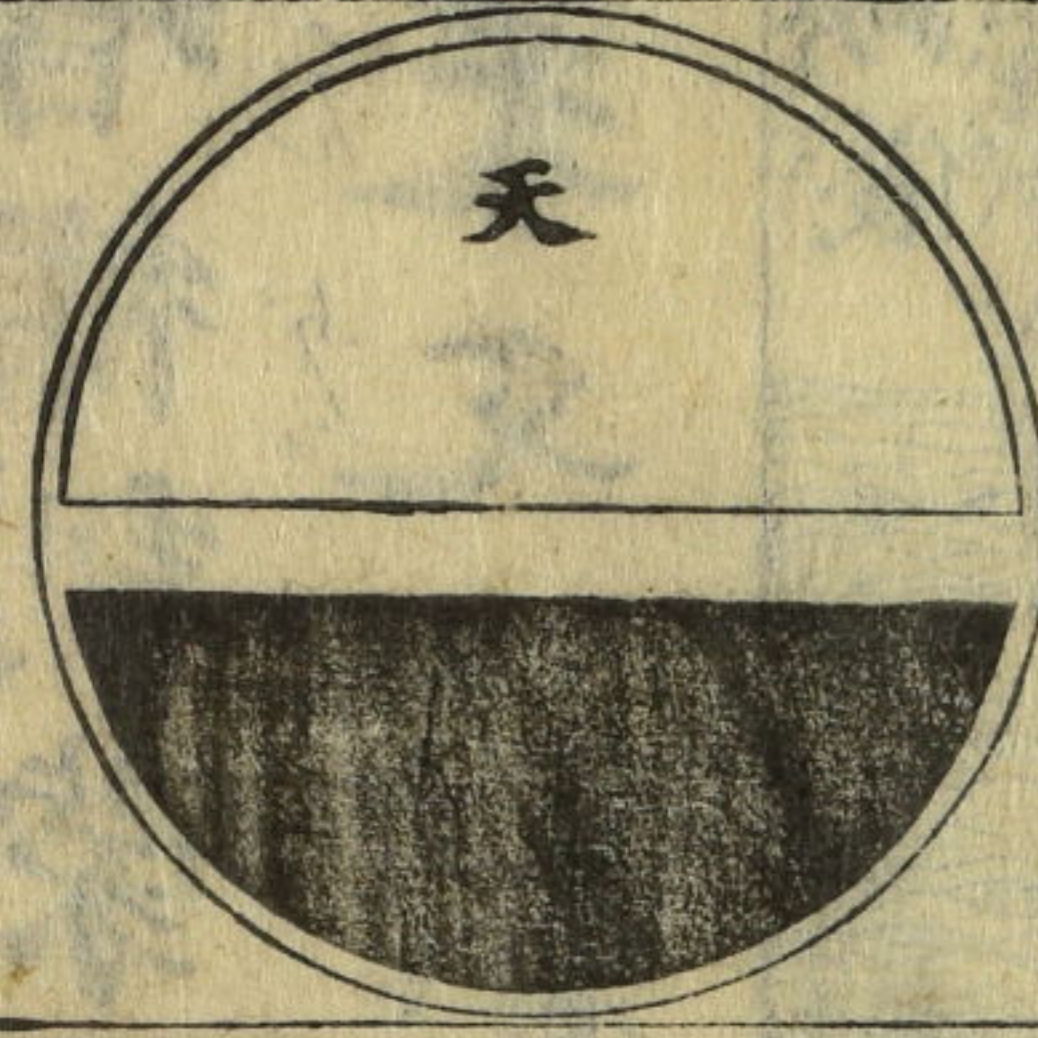
月	日
○ 水星	○ 金星
○ 土星	○ 火星
○ 木星	○ 木星

○大極の天地の  
まごころしを陰  
陽とせしむる時渾  
沌なるものなり  
のこゝに溟滓を  
牙とせしめりこれ  
と鴻毛の末梢と  
つゝその清陽が  
あつたのち漸く  
天とあり重濁  
を地とせしめり  
とて天地開闢と  
てその間より物  
を生じ無辟いん  
と太極のついで  
北陰陽とせしめ  
るに西儀と云

太極



西儀



○国常立の天地  
をてにせしめり  
万物のありし  
葦牙のこゝに  
あら化して神と  
なりしと云常立  
と云人の代に  
つゝの昭秋を新  
と云ふもこれ  
これより天神七代  
地神五代あり  
さて人の代と云  
唐は天の地  
開して盤古氏  
の代にせしめり  
の代にせしめり  
三皇五帝三王  
の代にせしめり

国常立

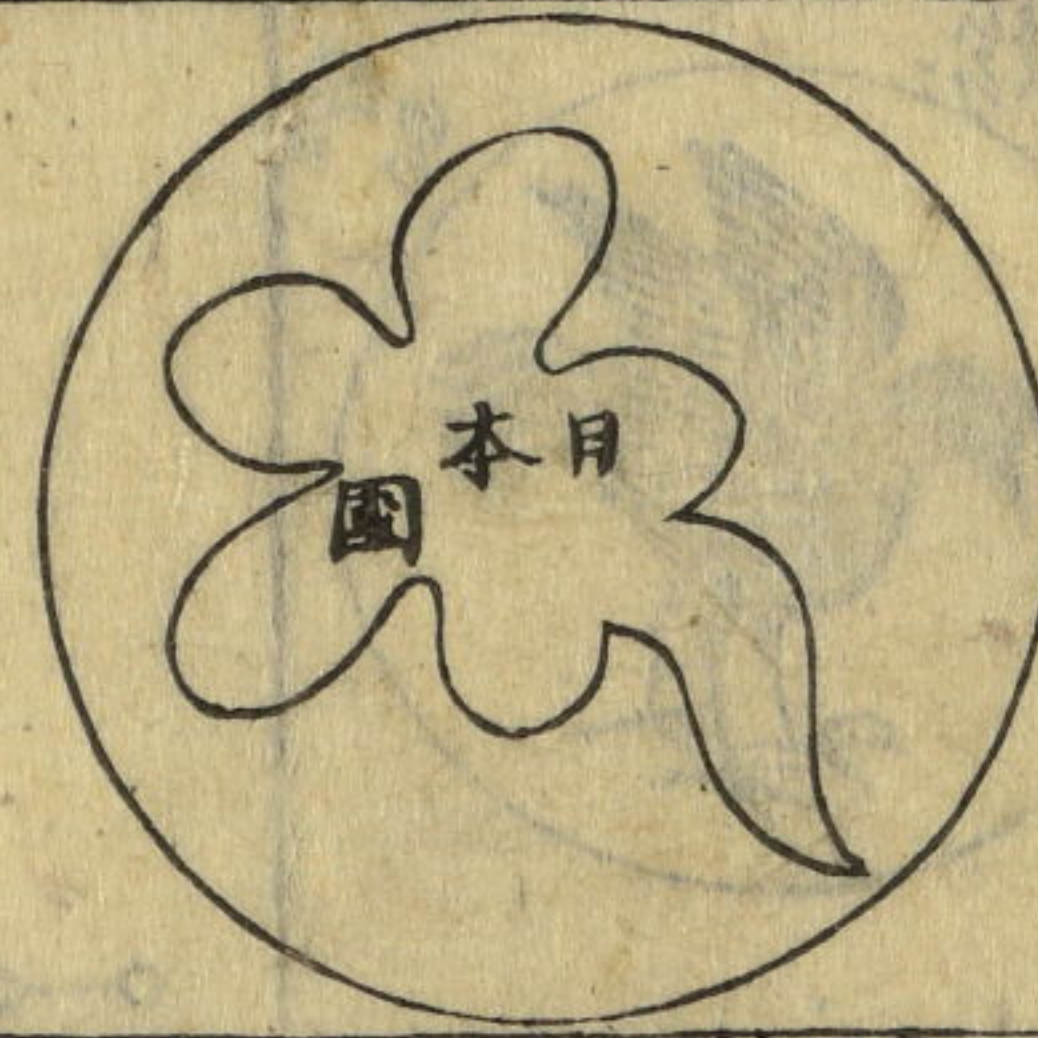


盤古氏



○秋津別の人  
のまごころを  
神武天皇と云  
神位世一年四月  
名りて清は事  
して日本乃地形  
崎此より云々  
て秋津別と名  
つけし  
○倭の昭秋を  
倭と云ふ  
天北開闢のち  
北の山ありて  
平の人の代に  
ありて山あり  
系れありて  
山ありて  
山ありて

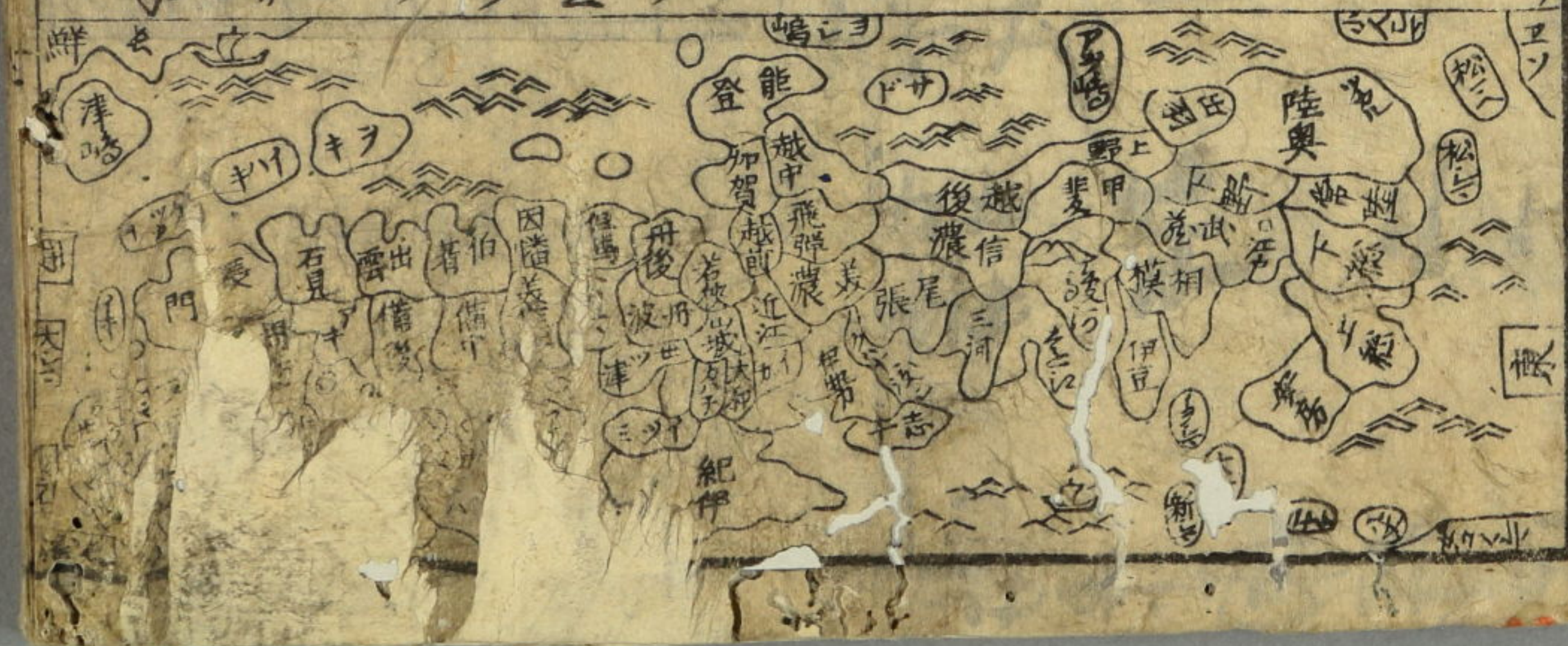
秋津別



倭國



○日本国唐中  
華北地より東は  
扶桑と云ふ日東とも  
須弥山の南にあり  
つゝの南瞻  
部列とも云用  
明天皇の代五  
文部天皇の代  
六十六ヶ年より  
つ法を子守護  
東都子守軍あり  
西都子天子あり  
田代教九十四万七  
子八百一町米  
子子計百八万  
四百八十計

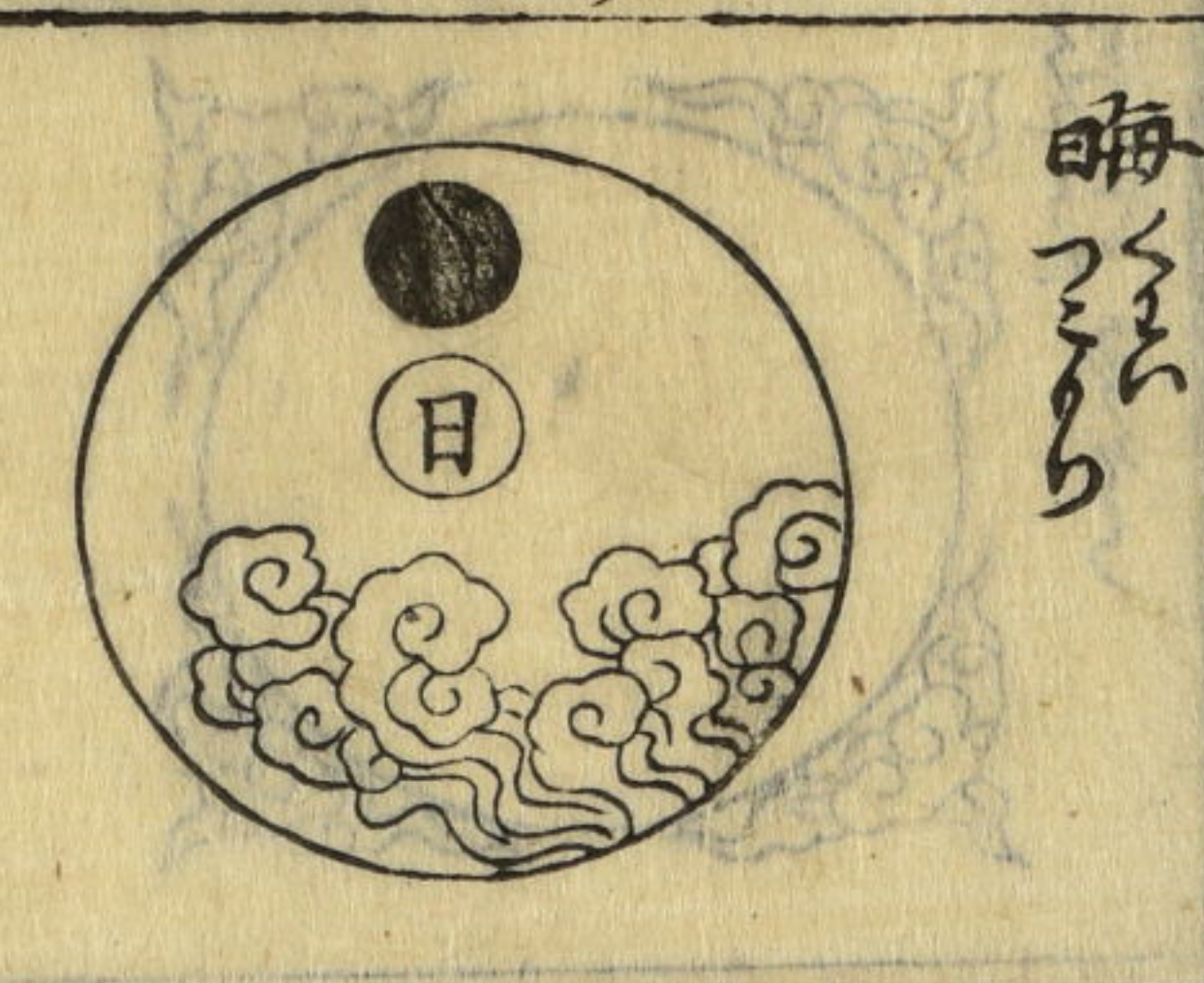
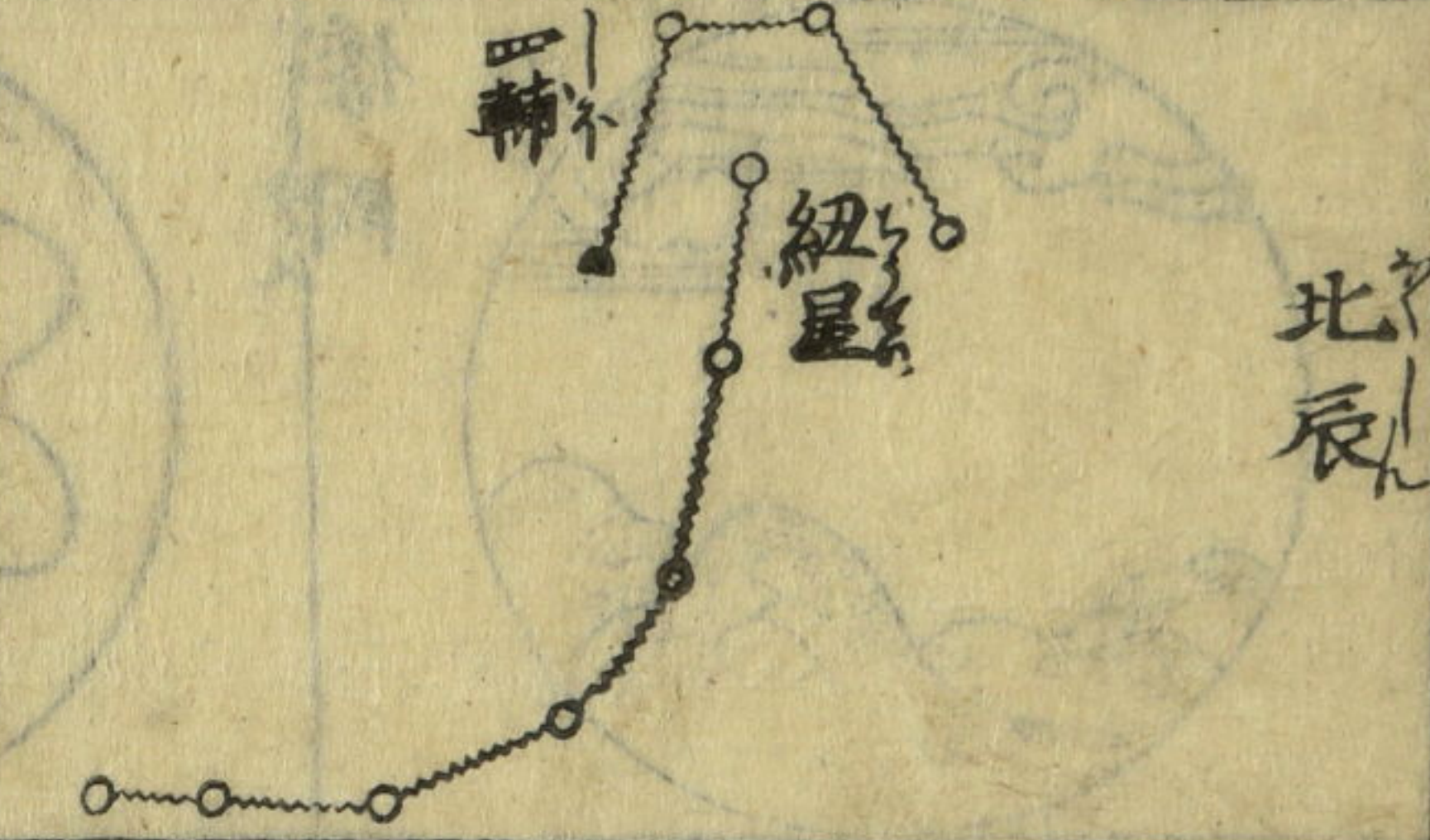


北辰  
 北辰の極あり一周  
 天のゆくまはるこ  
 乃北辰と極あり  
 北より北へてまはる  
 北より北へてまはる  
 七星あり四星を

○日の陽の精あり  
 空虚にしてこと  
 空にまはるて極を  
 陽の精あり三三  
 陽の精あり三三

晦  
 毎月大あれは三十  
 日小あれは二十九  
 月を晦とす月  
 地中にうられて光  
 ありて晦乃  
 昏晦の之

○望の十五日と  
 上弦の十五日  
 日正下弦と上弦  
 西の平下弦は東  
 乃方の上弦は七  
 小の九日下弦は  
 二月廿三日廿四日  
 は三月の光とを



列宿  
 二十八星列宿  
 角 亢 氐 房 心 尾 箕 斗 牛 女 虚 危 室 壁 奎 婁 胃 昂 畢 觜 參 井 鬼 柳 張 翼 轸

角	亢	氐	房	心	尾	箕	斗	牛	女	虚	危	室	壁	奎	婁	胃	昂	畢	觜	參	井	鬼	柳	張	翼	轸
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

○月の際の精あり  
 空虚にしてこと  
 空にまはるて極を  
 月の精あり三三  
 月の精あり三三

朔  
 朔の難なるを  
 あり十五日の月  
 東西より望む  
 月より望むあり  
 望の十五日の月  
 あり十五日の月  
 東西より望む  
 月より望むあり

望  
 望の十五日の月  
 あり十五日の月  
 東西より望む  
 月より望むあり



日蝕ハ日月天  
ハ与テ日月ノ上ノ  
ハ与テ日月ノ下ノ  
ハ与テ日月ノ上ノ  
ハ与テ日月ノ下ノ  
ハ与テ日月ノ上ノ  
ハ与テ日月ノ下ノ

虚空  
虚空ハ虚空トモ云  
ハ虚空トモ云  
ハ虚空トモ云  
ハ虚空トモ云  
ハ虚空トモ云  
ハ虚空トモ云

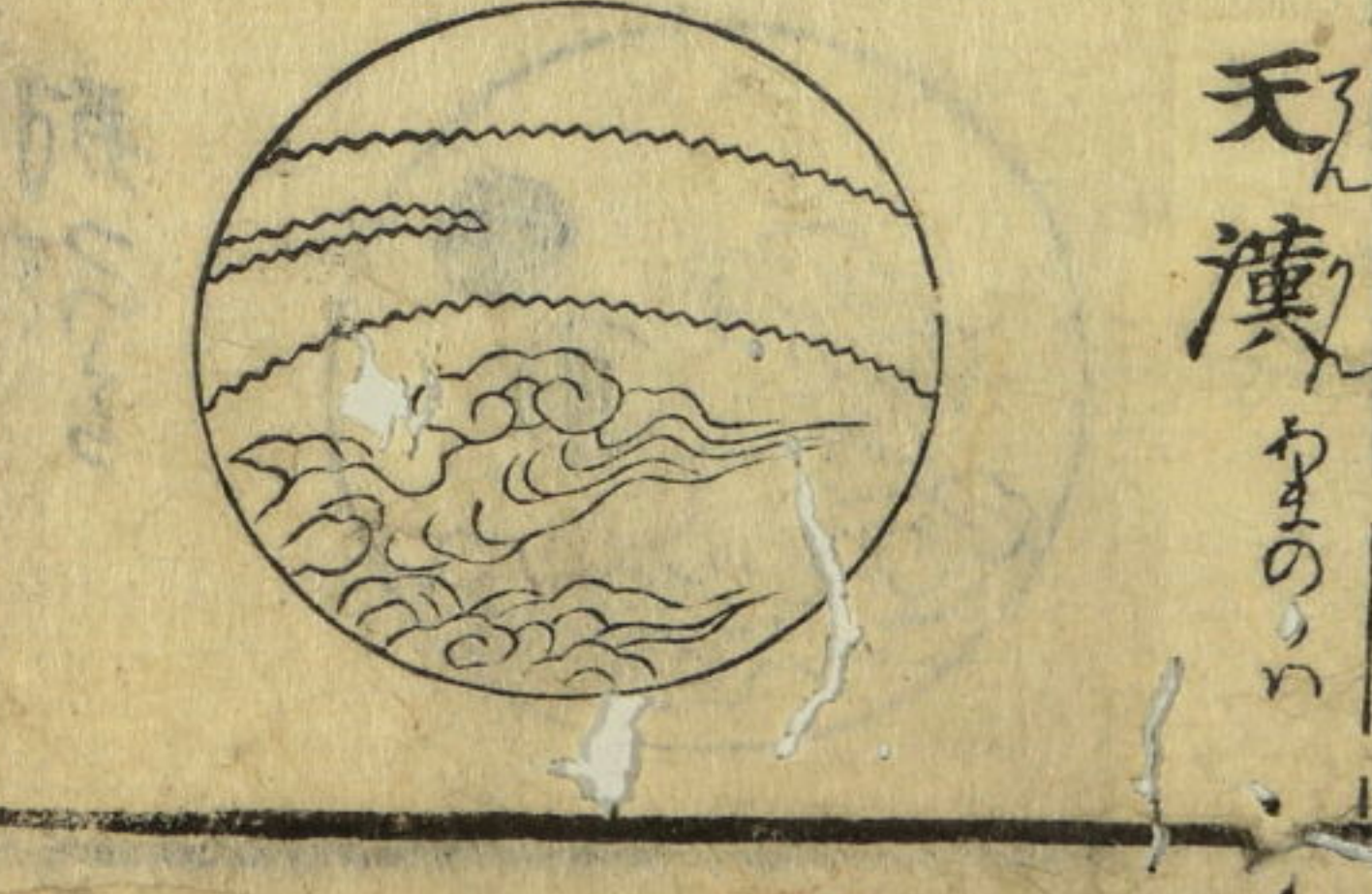


日蝕

虚空

月蝕  
○月蝕ハ日月ハ  
光ハ日ハ光ニ受  
テ明クナルハ日月  
ハ与テ日月ノ上ノ  
ハ与テ日月ノ下ノ  
ハ与テ日月ノ上ノ  
ハ与テ日月ノ下ノ

天漢  
○天漢ハ天ノ河  
トモ云ハ銀河  
トモ云ハ天ノ河  
トモ云ハ銀河  
トモ云ハ天ノ河  
トモ云ハ銀河

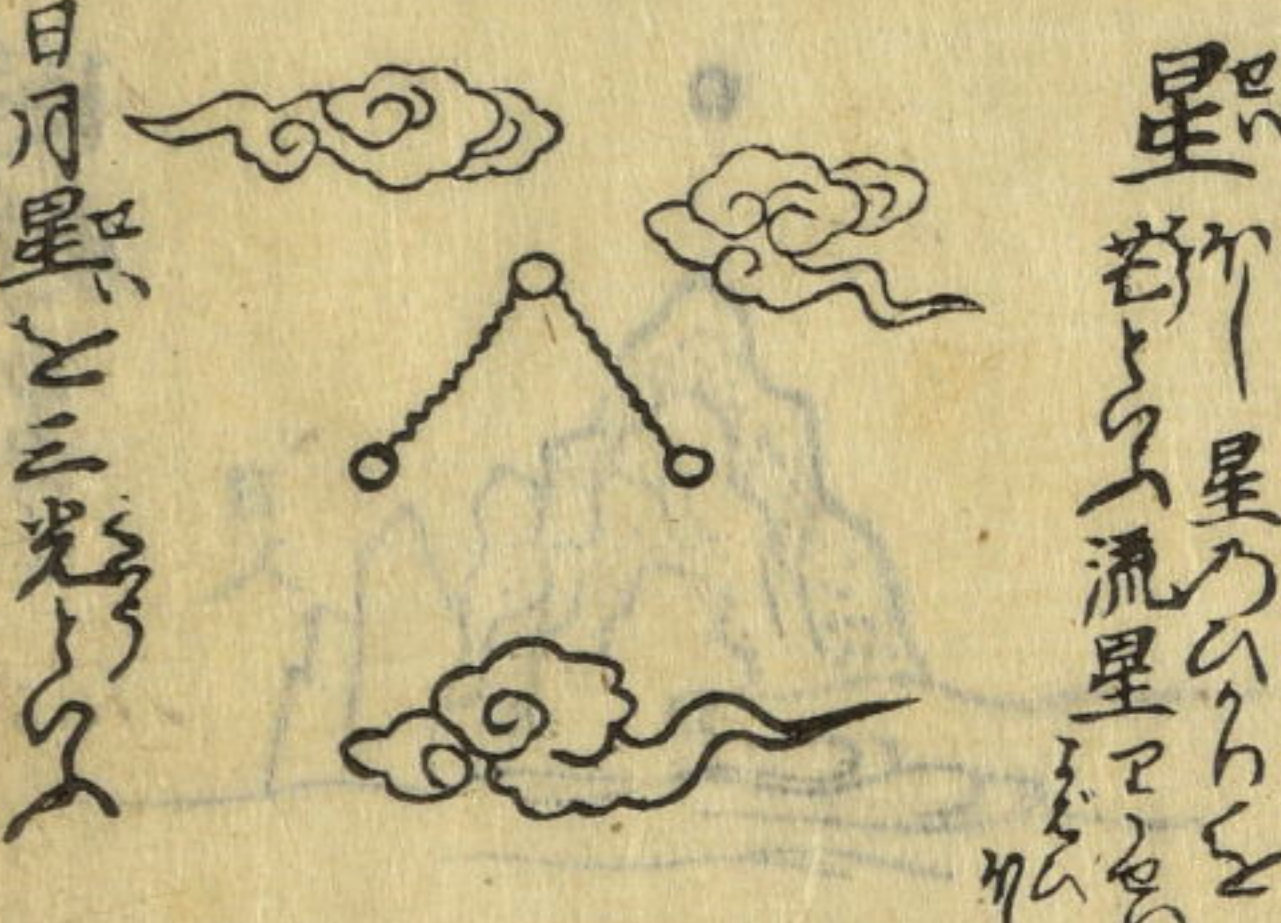


月蝕

天漢

牽牛  
○牽牛ハ星ノ名也  
トモ云ハ七月七夕  
トモ云ハ七月七夕  
トモ云ハ七月七夕  
トモ云ハ七月七夕  
トモ云ハ七月七夕  
トモ云ハ七月七夕

星  
○星ハ陽精也  
トモ云ハ陽精ハ  
トモ云ハ陽精ハ  
トモ云ハ陽精ハ  
トモ云ハ陽精ハ  
トモ云ハ陽精ハ  
トモ云ハ陽精ハ

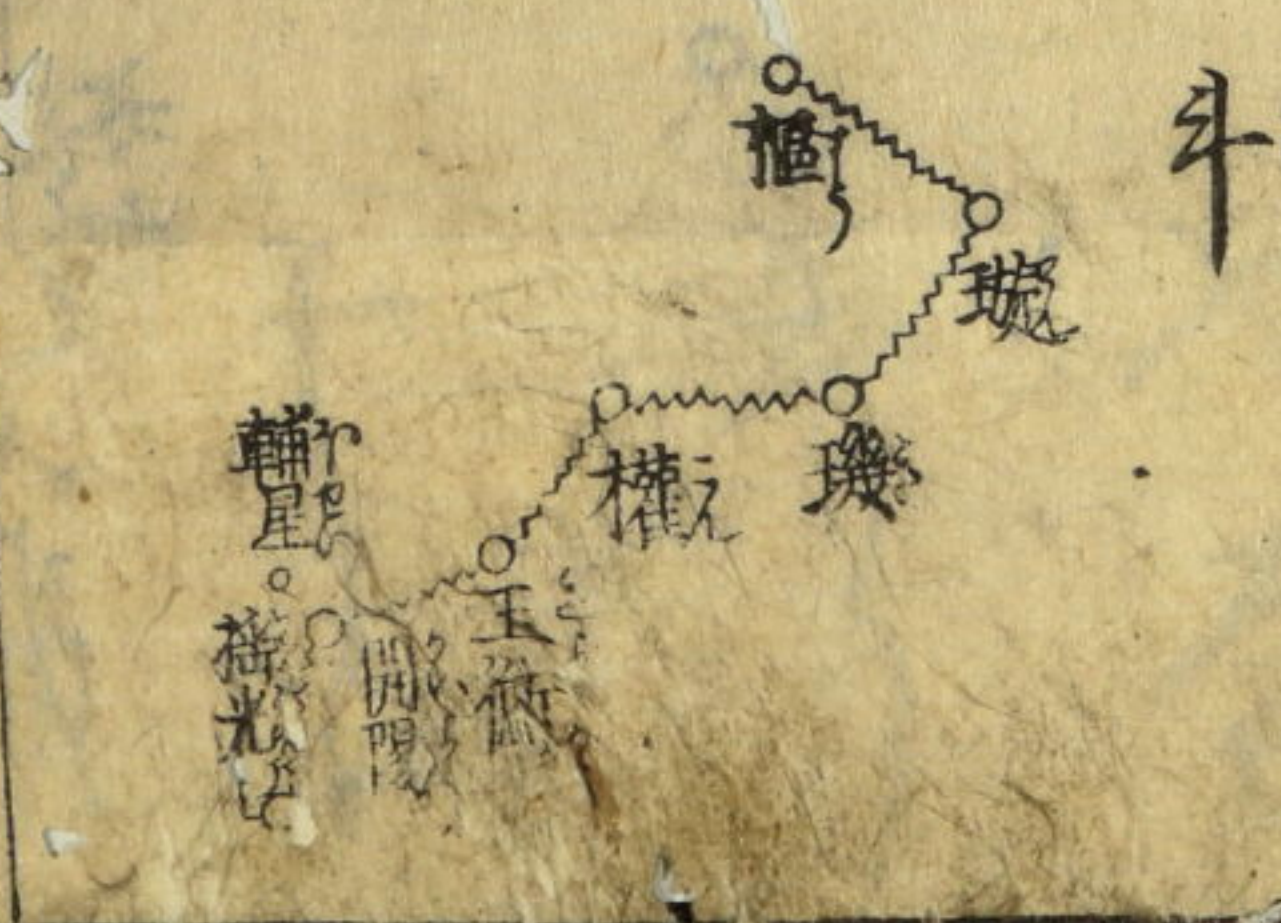


牽牛

星

織女  
○織女ハ星ノ名也  
トモ云ハ七月七夕  
トモ云ハ七月七夕  
トモ云ハ七月七夕  
トモ云ハ七月七夕  
トモ云ハ七月七夕  
トモ云ハ七月七夕

斗  
○斗ハ北斗也  
トモ云ハ北斗ハ  
トモ云ハ北斗ハ  
トモ云ハ北斗ハ  
トモ云ハ北斗ハ  
トモ云ハ北斗ハ  
トモ云ハ北斗ハ



織女

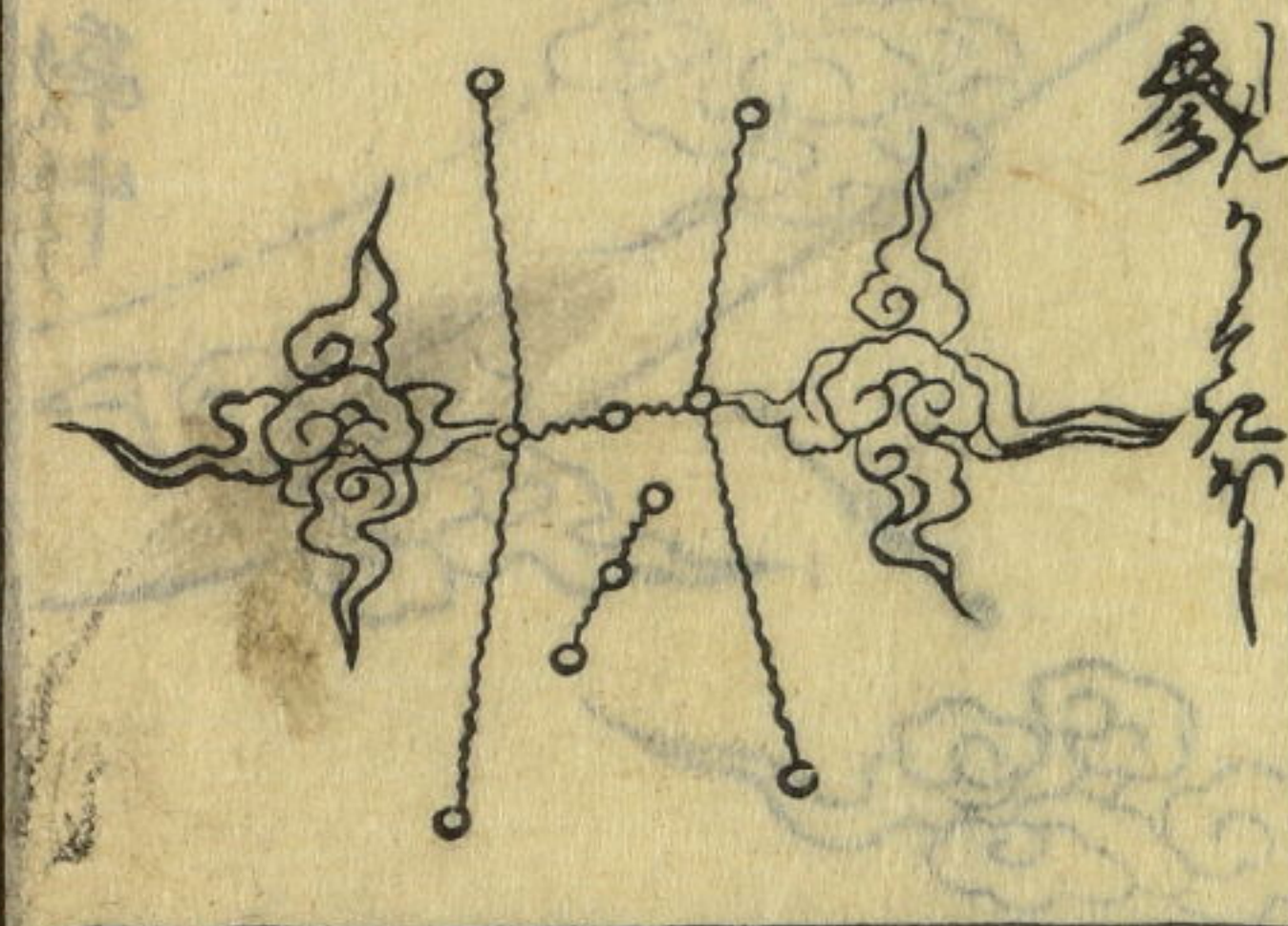
斗

長庚

長庚ハ星ノ名金  
星アリ金星ハ  
おれく入ると  
長庚星ハゆふ  
つくと俗まこ  
まといふのこ  
まといふあり  
ゆふくとま  
おし出くや星

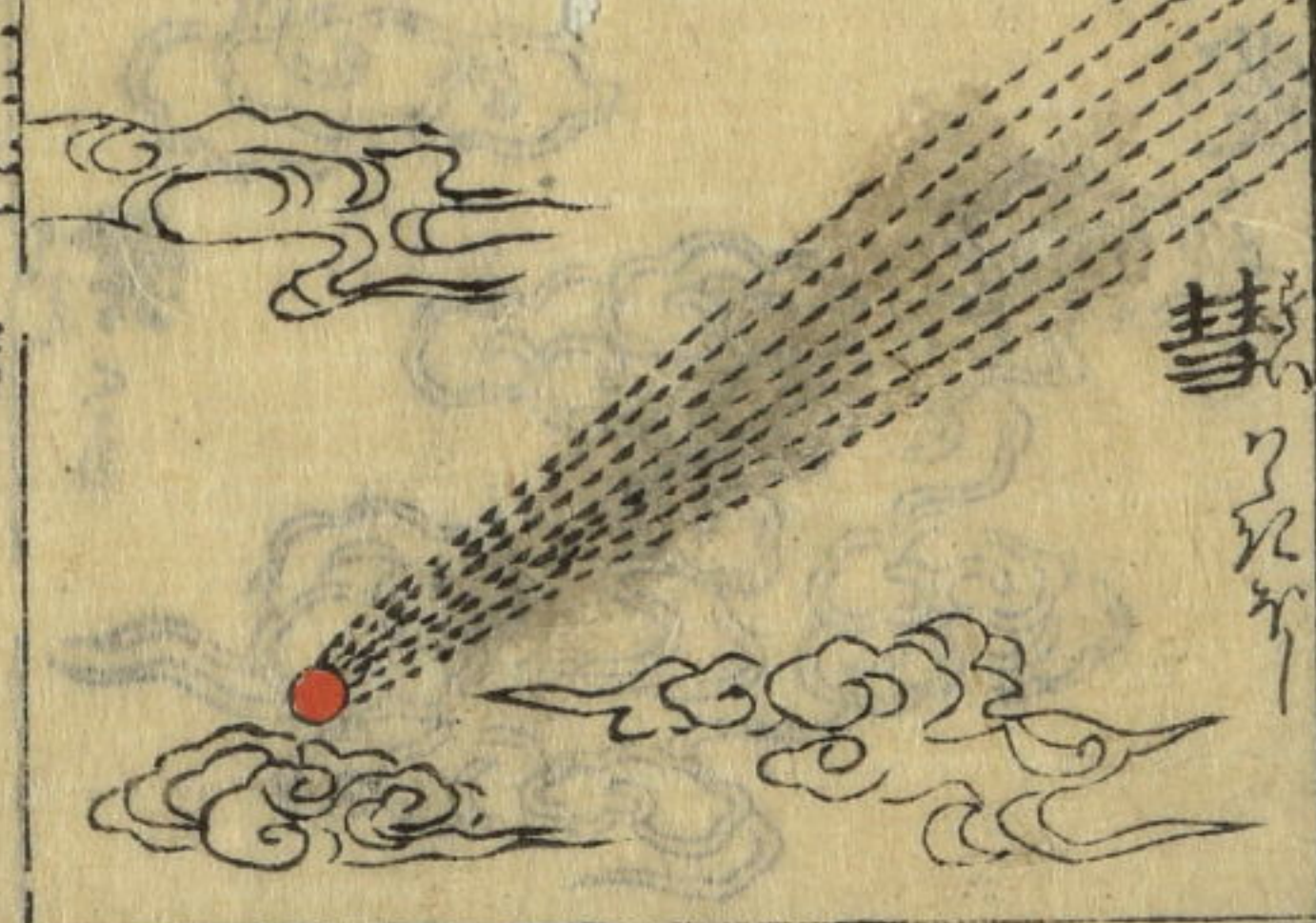
参

参星ハ西方  
七宿ノ一あり  
俗まこれと  
まといふあり  
あり星ハ  
まといふあり



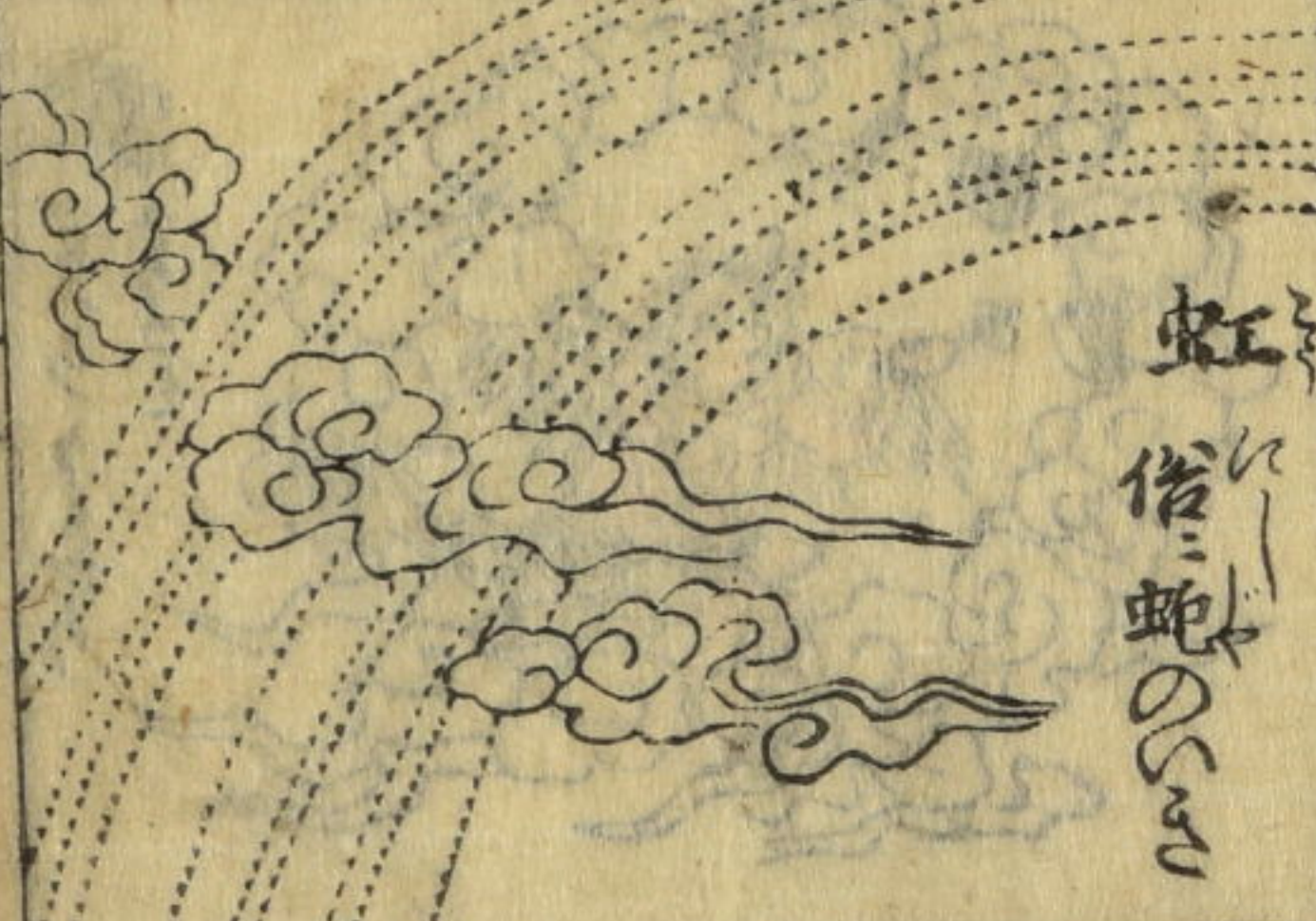
彗

彗星ハ俗ま  
妖  
星ハ色ハ  
候死とわ  
目から  
兵乱と  
はこり  
わつら  
るる彗  
し



虹

虹ハ日雨  
て質と  
ハ西  
五又  
蟬  
と



太白

太白星ハ金星  
わつら  
俗ま  
ハ  
金星  
ハ  
ハ  
ハ  
ハ

昴

昴星ハ西方  
一宿あり  
星ハ  
ハ  
ハ  
ハ



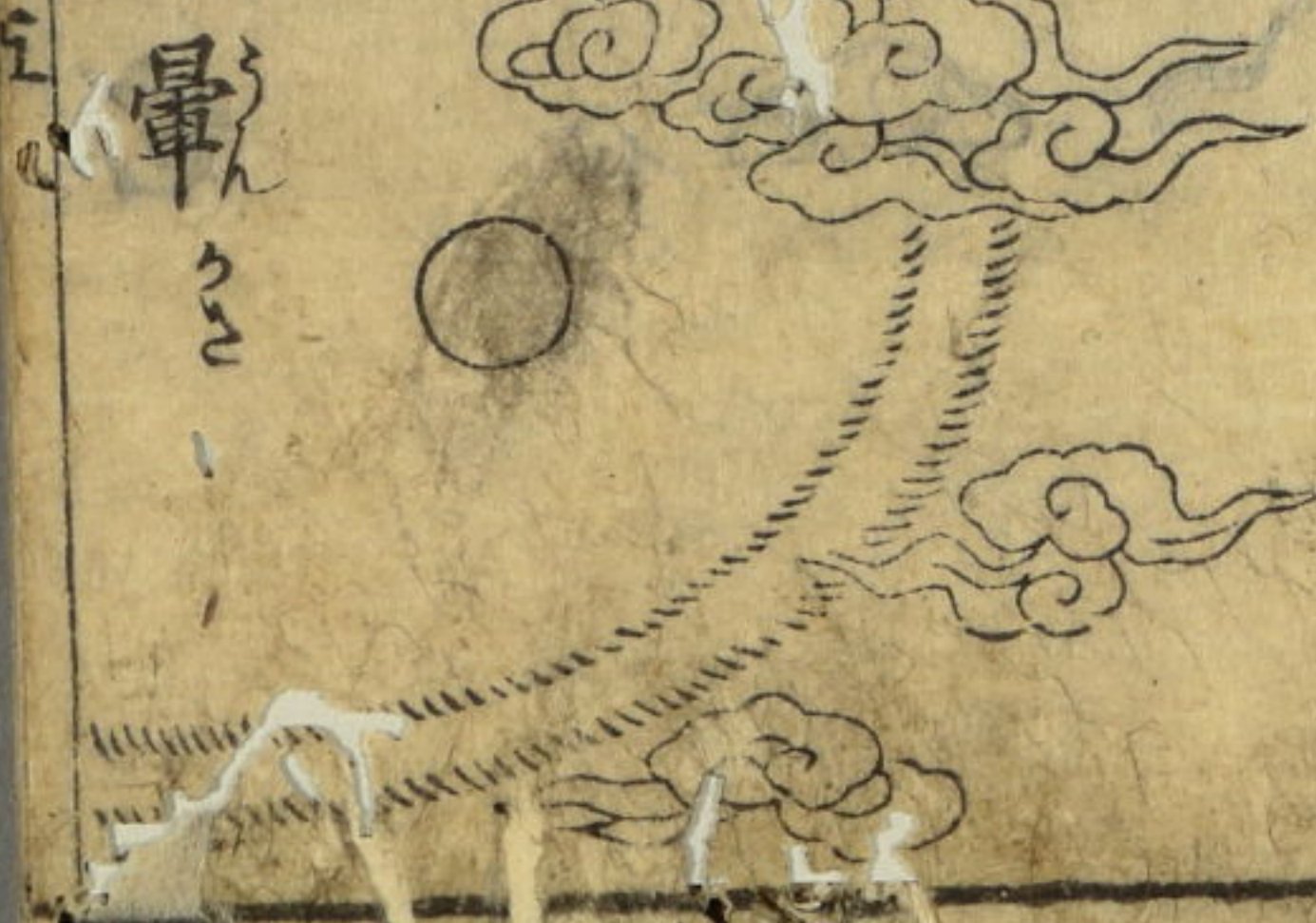
孛

孛星ハ妖星  
ハ  
ハ  
ハ  
ハ  
ハ  
ハ



暈

暈ハ日月  
ハ  
ハ  
ハ  
ハ  
ハ



雷の陰陽の  
激する一多之玉光  
論衡といふ書  
雷乃く一人  
の力ありて  
くさる連鼓と  
りら右に  
ひてうらて  
まかそとらり

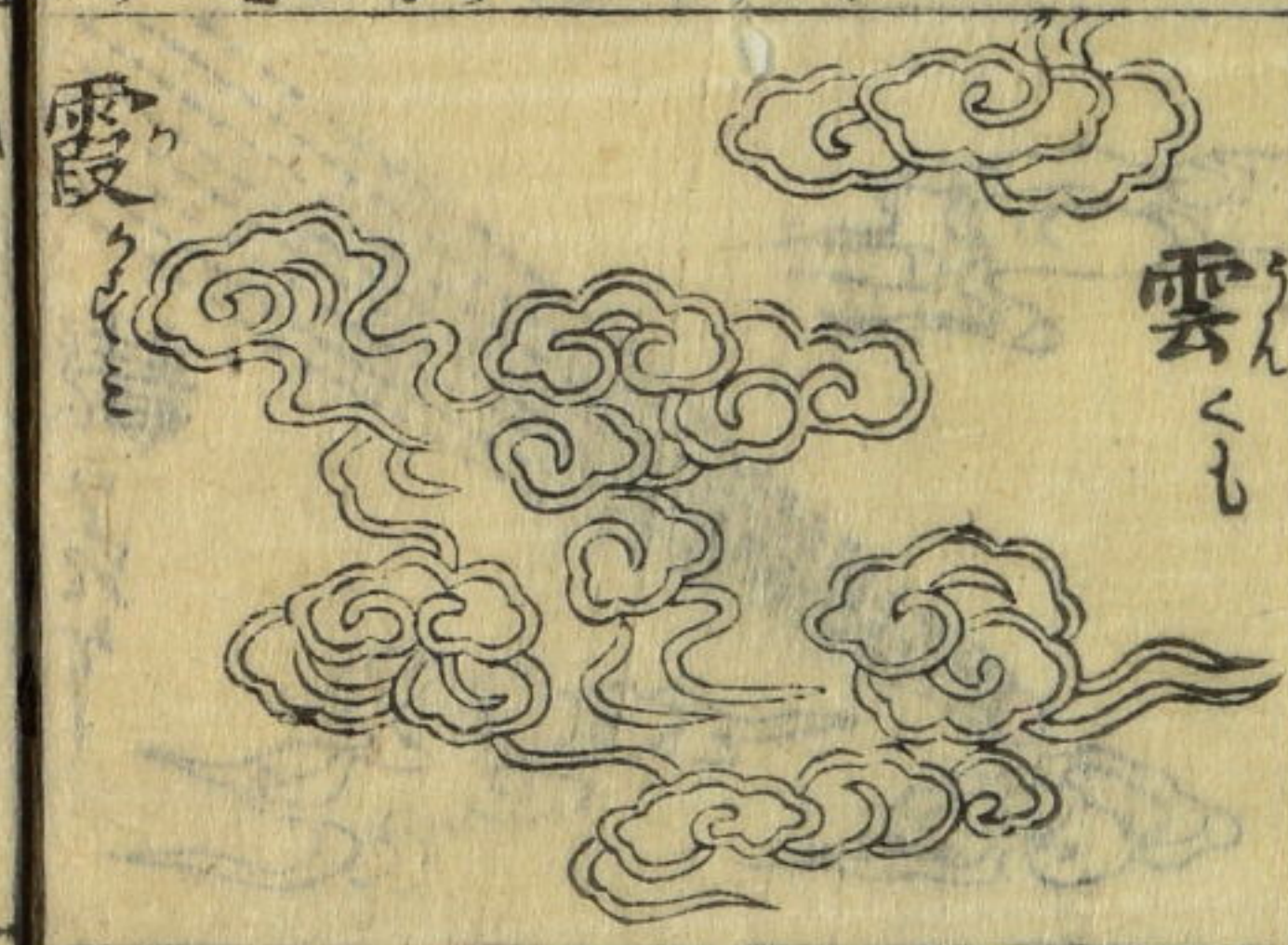
雷



雷のうらら

霧の陰陽の  
あり地をの  
雲とあり天  
ふらそとらり  
霧の陰の  
て陽の用と  
物取湿の

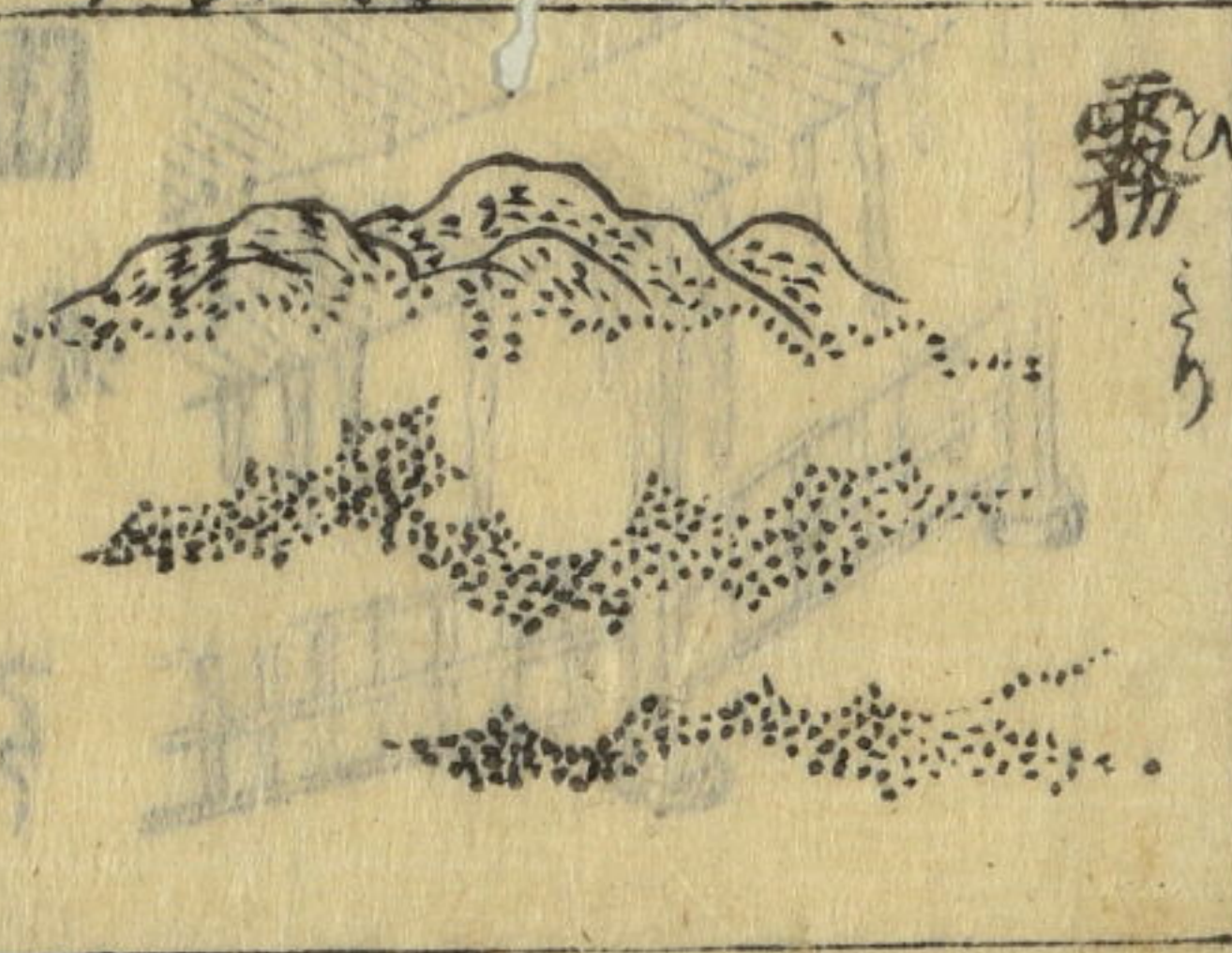
雲



雲

霧の陰陽の  
ふれち生を  
気のかつ天  
急せると霧  
天とくると  
急せると霧  
同く土と  
そと霧といふ

霧



霧

風ハ大塊の  
氣の陽の  
けて散りて  
用と好らる  
小風と死  
多るはく又  
凡風ハ

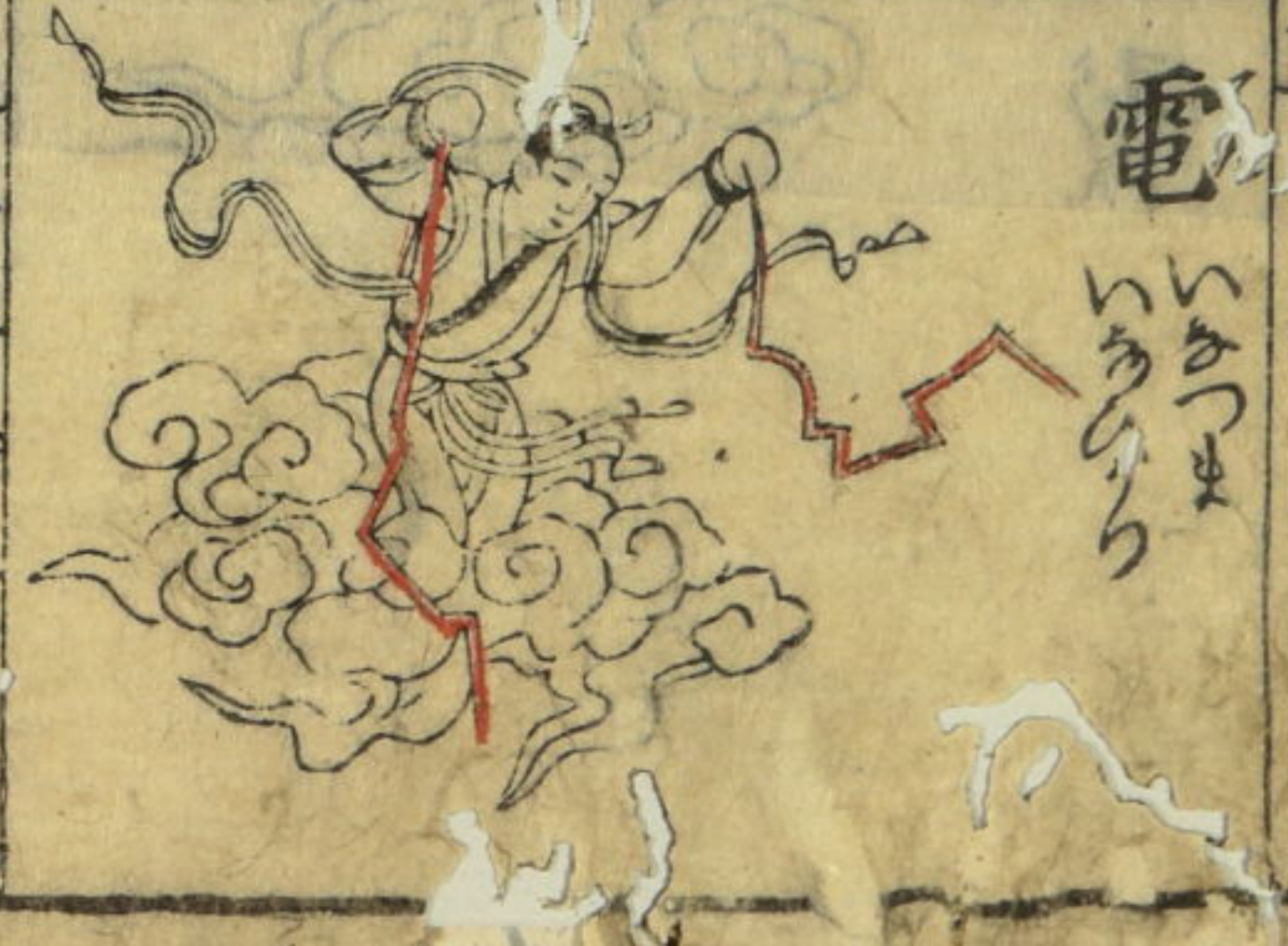
風



風の

電の二月  
この月陽気  
らんけて  
とらその  
びりと電  
俗いとい  
と雷神と  
とら

電



電の

煙の火の  
きり煙月  
ふらそとらり  
とら民の  
はとら  
又水は

煙



煙

露の夜  
とら陰の  
白虎通と  
霜の始り  
とら  
とら

露



露

雨の木蒸  
とら  
とら  
とら  
とら

雨

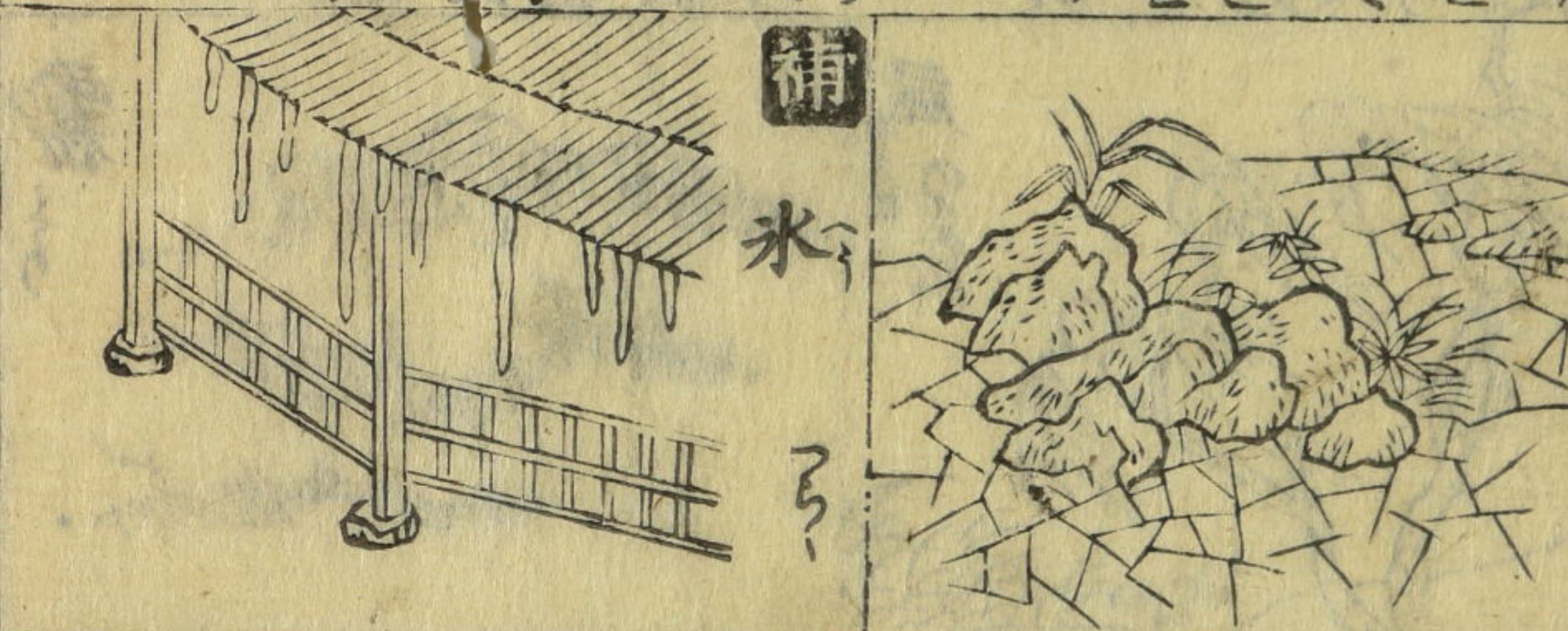


雨

○氷の陰気のお  
つまるふりまきり  
時ハ氷と氷と  
あり氷と氷のま  
まりん氷とか一  
氷つらぬつと凌と  
いふ氷と氷と  
と凍と氷の氷か  
る多と斯といふ  
粒とろうと氷と  
いふ氷と氷といふ  
氷柱  
雪をいひてむ  
まろぬこの  
うりさりりて氷  
柱とくつ氷筋  
氷條ともすし  
又氷笋ともいふ

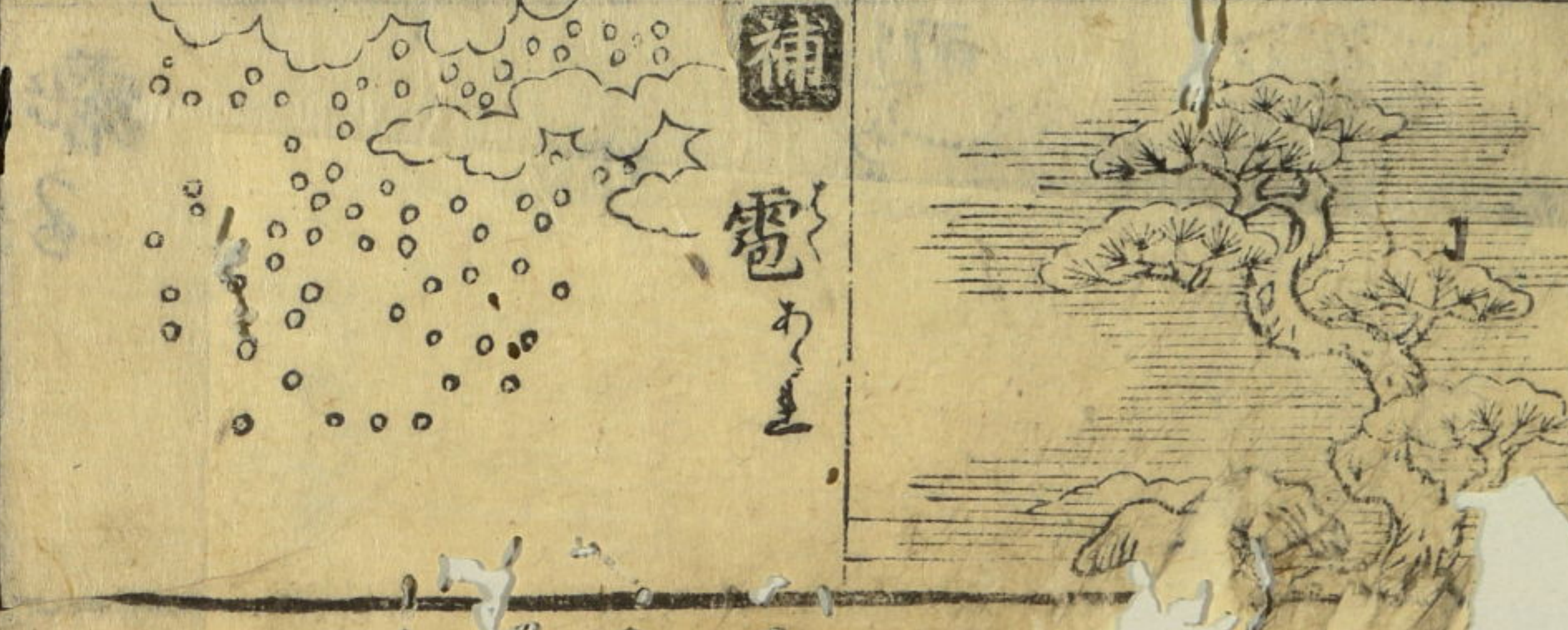
水

補 氷



○雪の雨  
雪とりの天の  
積陰わさう  
ふと死の雨とあり  
とじこと死の雪  
とあつたてあり  
雪とのい雪が  
ふと雪とのふ  
銀花とも六花  
とも雪屑とも云

補 電



雪

頭書増補訓蒙圖彙卷之二

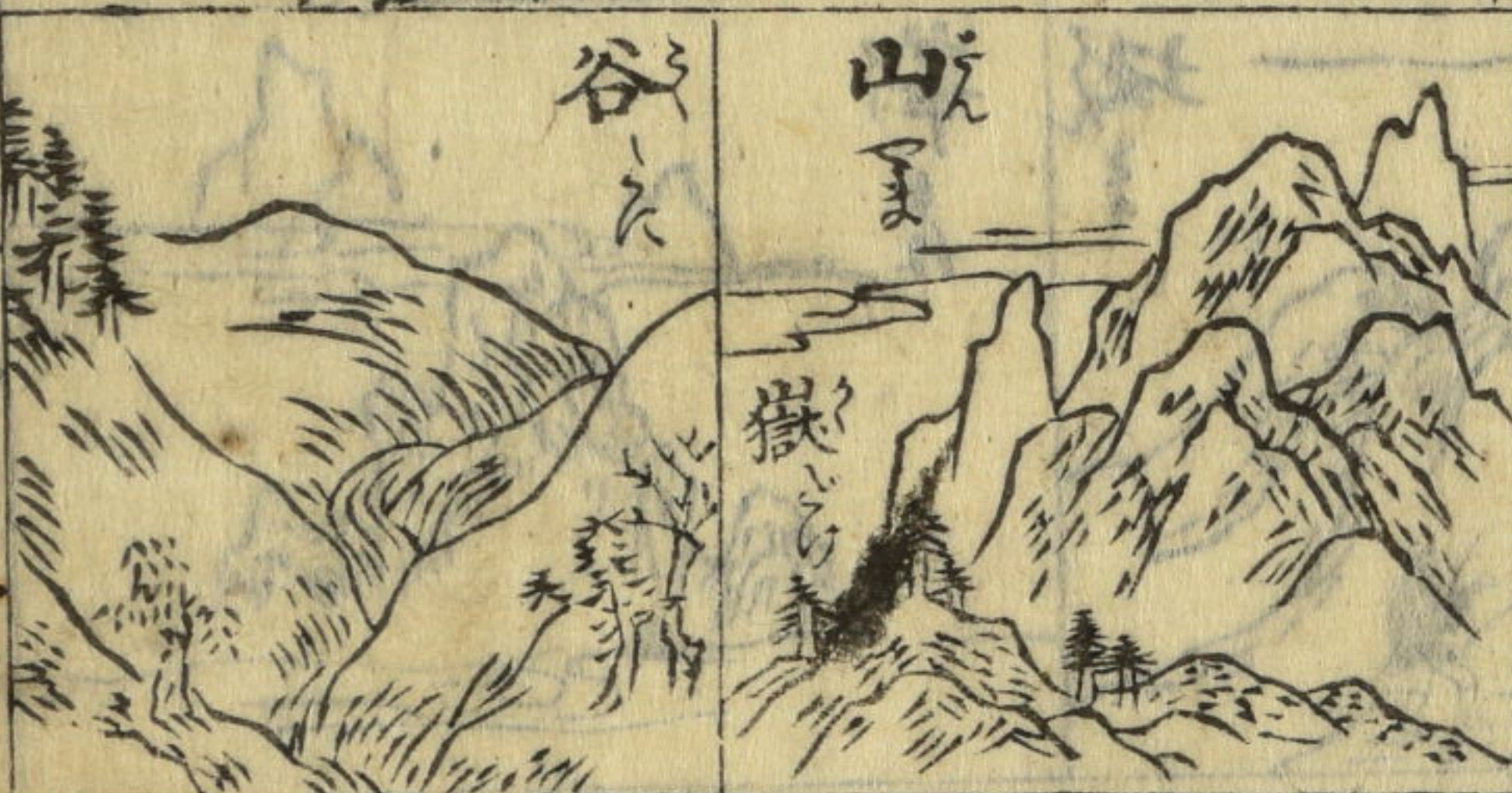
地理

此地部は山川田園林丘村市ありなごいふ  
此の條理あり易云俯察於地理

○山のふたがてふ  
わらふ山廣雅云  
山の産ありて山  
物と産るるあり  
説又山の宜也  
○谷ハ山の中  
の流水あり溪  
谷とも水谷とも  
谷とも山の中  
と洞ともあり

谷

山



○麓ハ山の  
麓とも山麓とも  
のまとも麓ハ鹿  
ゆハ字鹿もふ  
鹿ハこのて林  
とありあり

麓



岬





磐 いし  
磐の大石あり大石  
と磐石といふ俗  
に大磐石といふ  
重言あり一又  
大磐石は石といふ  
いへく重言

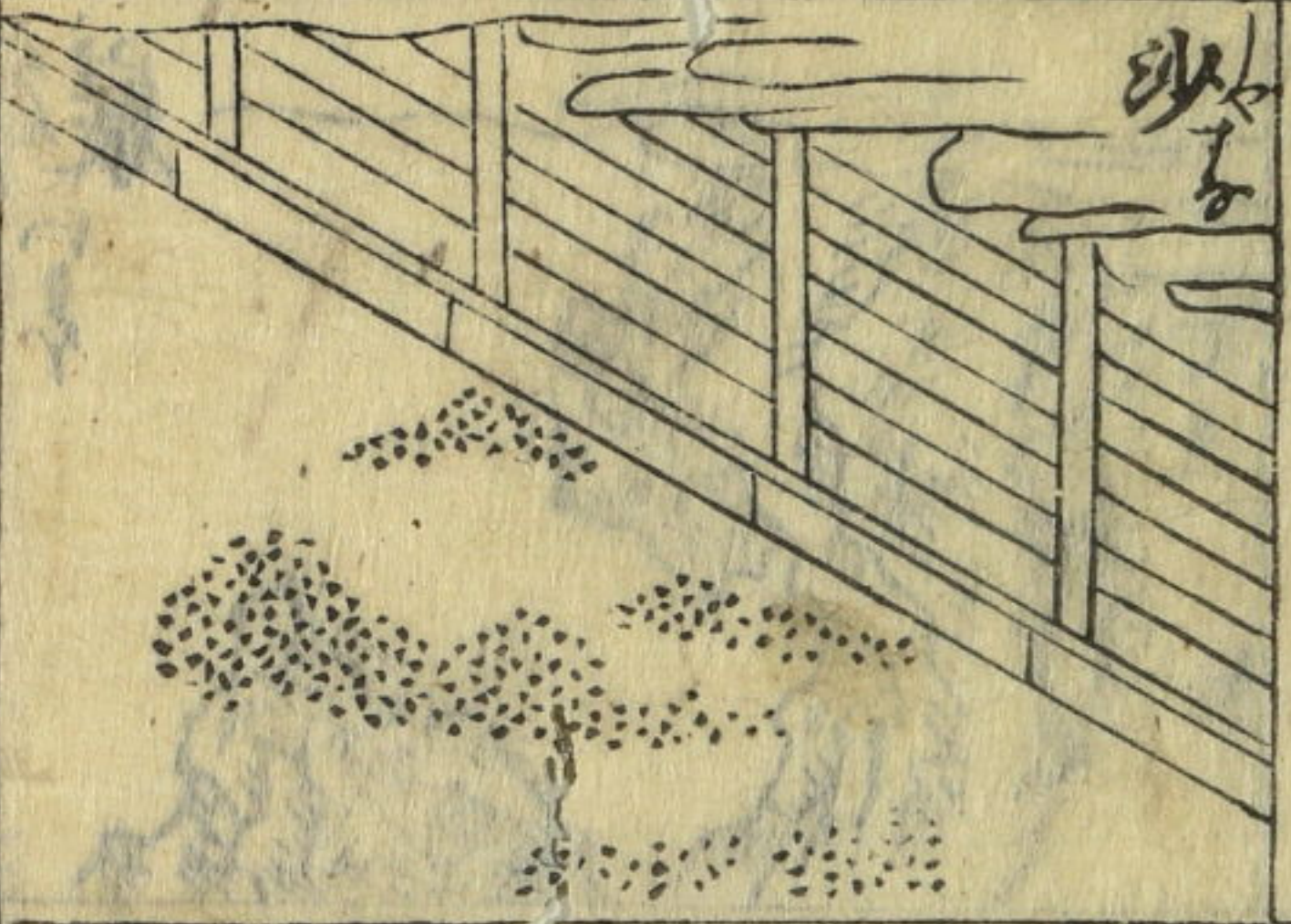
沙 すな  
沙の細散のり  
別子砂といふ  
水少子とて  
水状といふ  
ららるるあり  
織沙の海あり  
と曰く

野 の  
郊外を野といふ  
野といふは  
平野といふ  
くして平野を  
野といふ  
野といふ  
野といふ  
野といふ

田 た  
田の土を耕す  
名曰く田の四方  
のまはりの中  
十の字に田  
田といふ  
田といふ  
田といふ



磐石



沙



野



田

礫 れき  
礫の小石あり  
まじり  
又つふて  
いへくその  
礫といふ  
礫といふ

石 いし  
石の山骨あり  
塊あり  
金銀銅鉄を生  
星といふ  
石に怪あり

牧 ぼく  
牧の六畜を  
外を牧といふ  
六畜を  
と曰く

園 えん  
園の果を  
と曰く



礫



石



牧



園

場じ

○場の五穀とか  
さしり圃とらん  
と草と藪と  
ゆんじと陰と場  
とらふ井とす  
ふ正しく市場  
賣場かきり文  
場とをす  
畔ら

畔ら

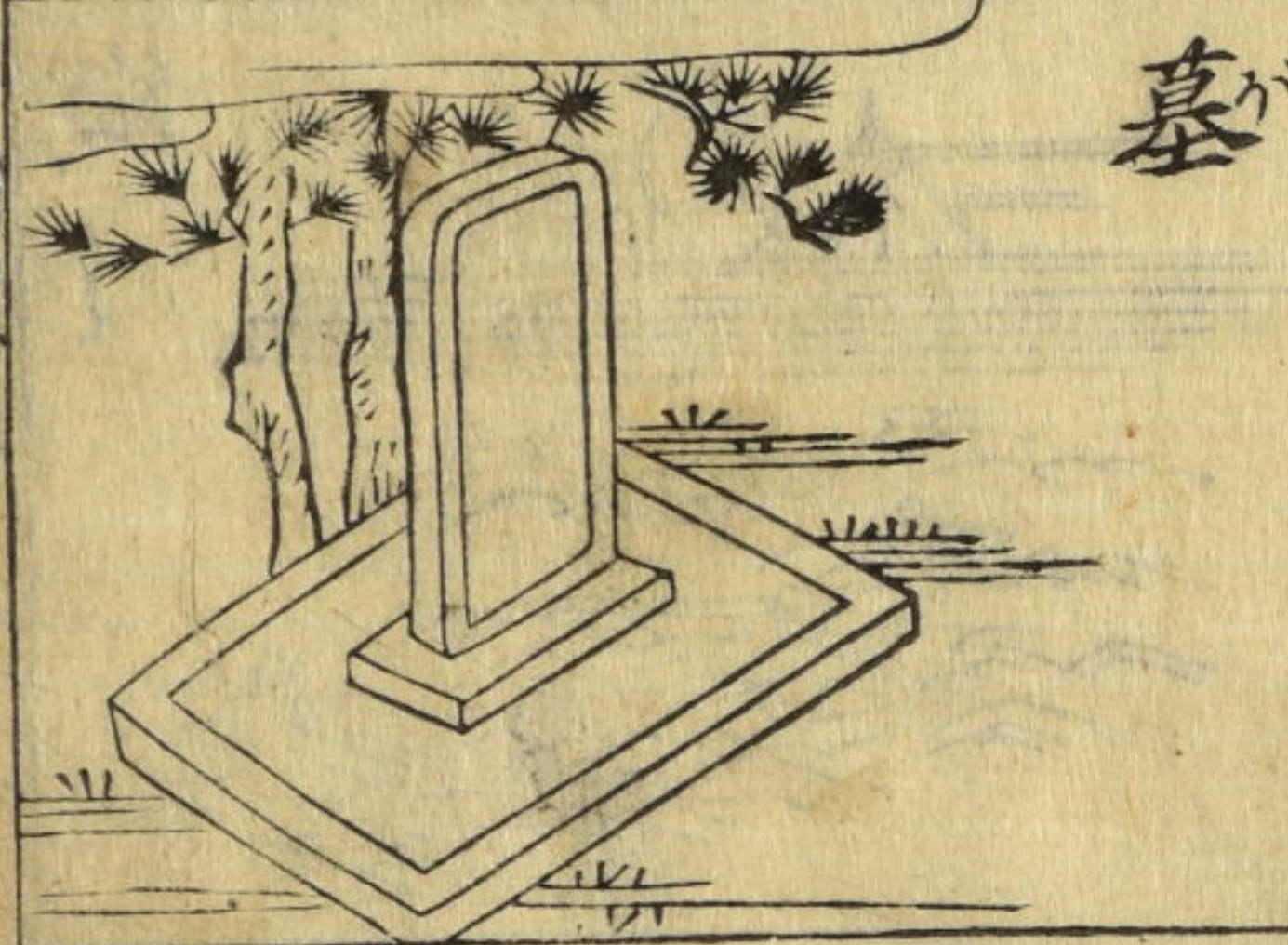
○畔の田の界ん  
くらとを又いわ  
でくをいひ  
又隣と畔と  
圃のまの耕を  
ら畔と讓と云

樹ら

○樹の平地よ  
て叢木あつた  
と樹ら又野外  
と樹ら樹林松林  
竹林をら本  
と樹ら草と  
薄ら

墓

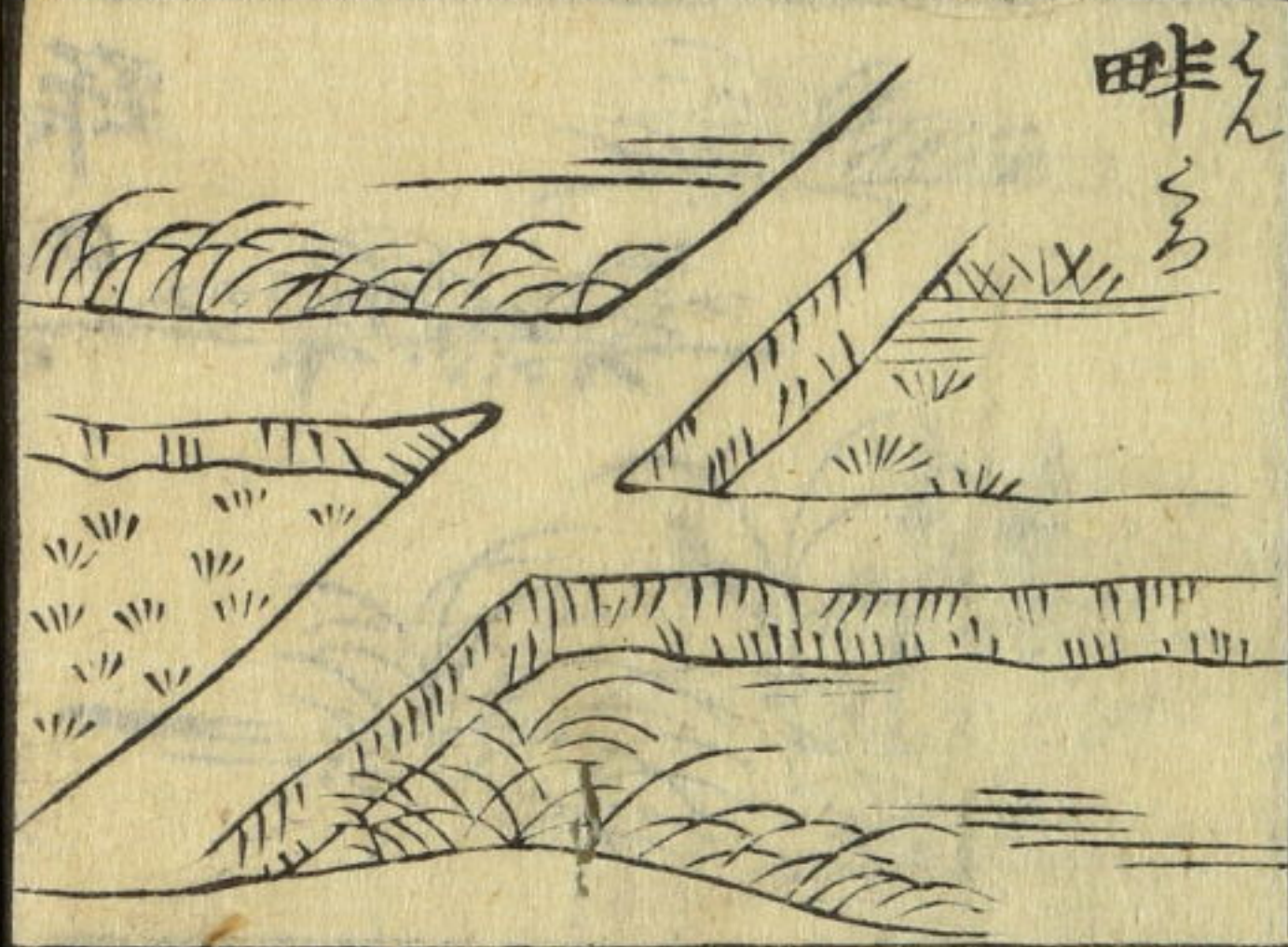
○墓ハ墓のま  
ふはくま  
を思慕らん塚  
もり天子の  
と陵とふ笠と  
の墳つるわ



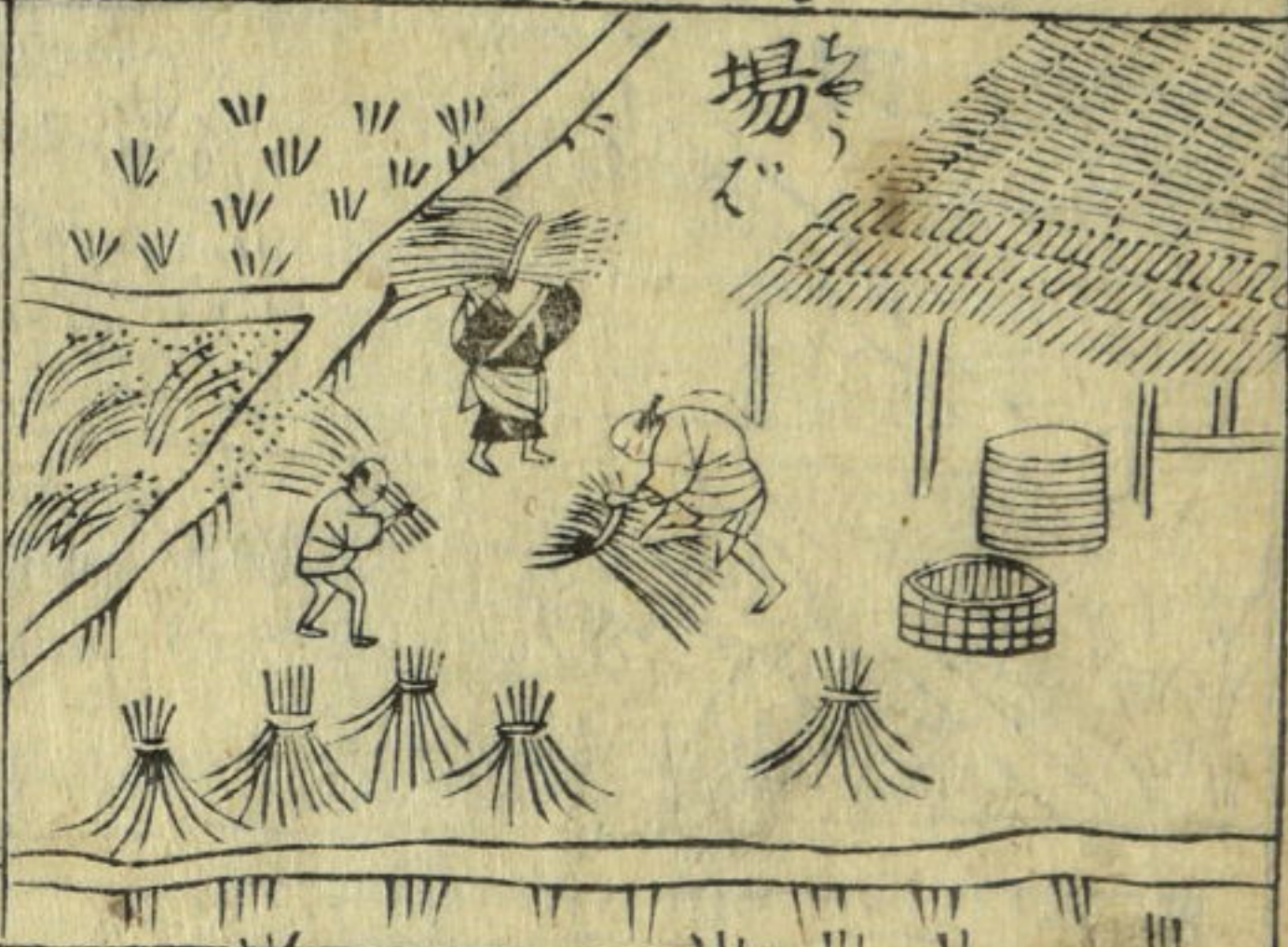
墓



樹



畔



場

圃その

○圃ハ菜とら  
ふふとらふん果  
瓜とらゆと圃  
ふともり又  
しとけあり我  
知巻圃と孔子  
このふふ論  
語とて  
○畔の田の界ん  
みちありあて  
とととととと  
直とれあり

畔

塚

○塚ハ平の  
墓とらふと  
とらと塚とら  
とととととと  
墳とらふとら  
あり塚とら  
とらとらとら  
とらとら

丘

○丘ハ土の  
ふとらふ又四方  
とらとら中央  
いくたと丘とら  
とらとらとら  
丘とらとら



丘



塚



畔



圃

海、海の晦かりを、  
遠くを、又海の様、  
と、く、その水、  
取、て、海、の、こ、  
湖、の、つ、う、を、り、  
削、り、う、り、り、  
波、を、  
凡、水、と、う、り、の、波、  
水、波、の、水、紋、あり、  
浪、の、波、と、う、り、同、じ、  
又、波、と、う、り、同、じ、  
又、連、り、と、う、り、同、じ、  
又、濤、と、う、り、同、じ、  
又、瀬、と、う、り、同、じ、

海

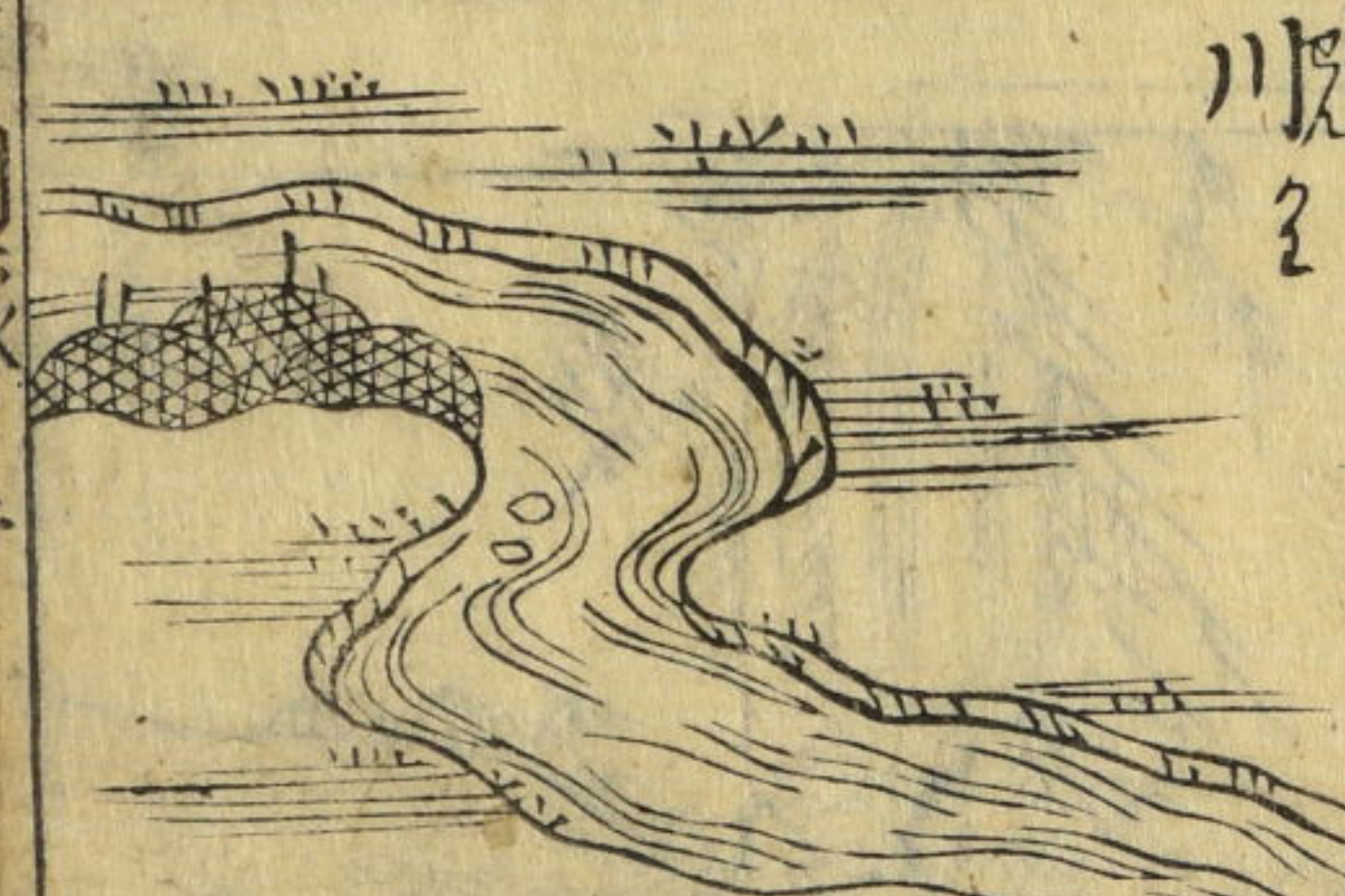


湖、湖、の中、居、る、  
死、ん、だ、り、の、  
つ、ま、り、息、あり、  
小、湖、と、う、り、  
水、の、清、く、  
わ、か、と、う、り、  
い、そ、水、の、上、に、  
う、く、と、う、り、  
端、同、磯、あり、  
川、川、の、狭、い、地、を、  
穿、て、う、り、の、ん、  
く、く、川、の、名、を、  
又、河、と、う、り、  
江、の、名、あり、

湖



川



島、島、の、海、中、に、  
あり、て、う、り、  
あ、ら、う、り、の、  
島、の、名、を、  
蓬、萊、が、島、  
湖、と、海、中、の、三、  
島、と、う、り、  
湖、の、水、の、  
水、の、う、り、  
又、池、と、う、り、

島



濱

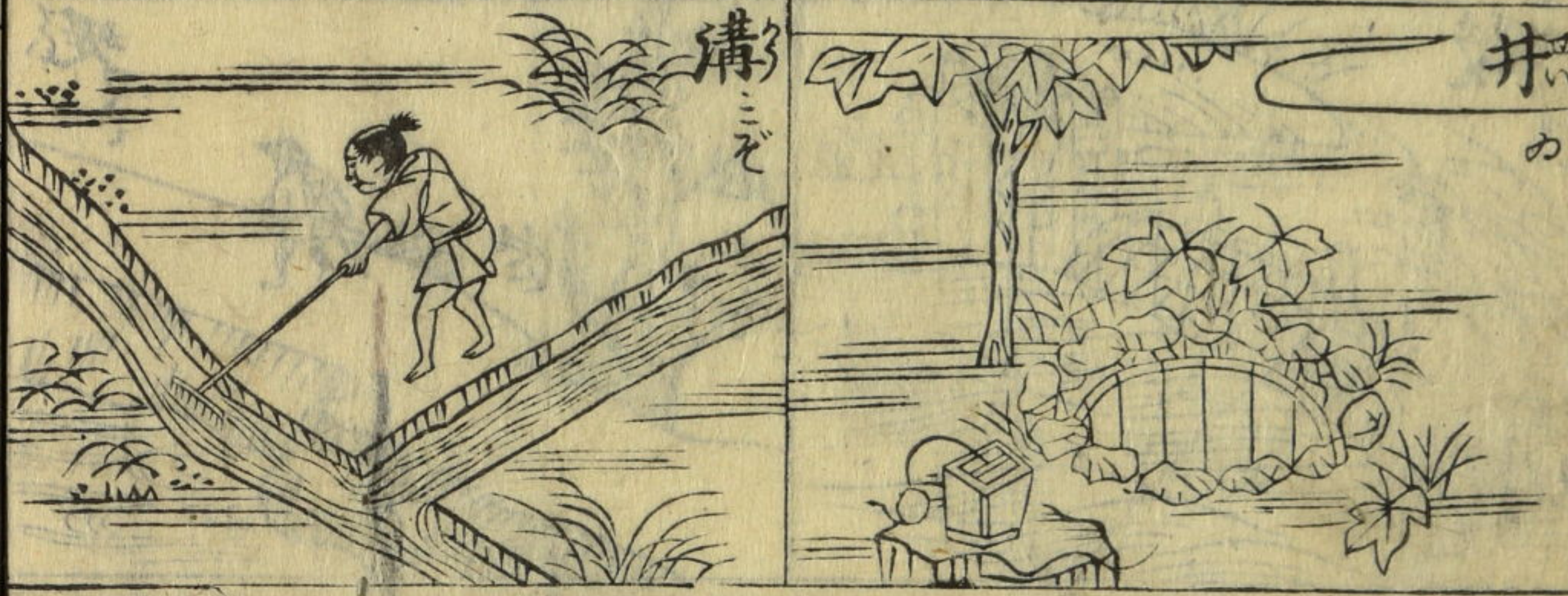
濱、水、の、際、を、  
い、か、つ、り、  
並、り、水、際、  
の、平、水、と、う、り、  
又、そ、の、海、濱、あり、  
河、濱、と、う、り、  
澤、澤、の、水、の、  
澤、の、水、の、  
澤、の、水、の、  
澤、の、水、の、

澤

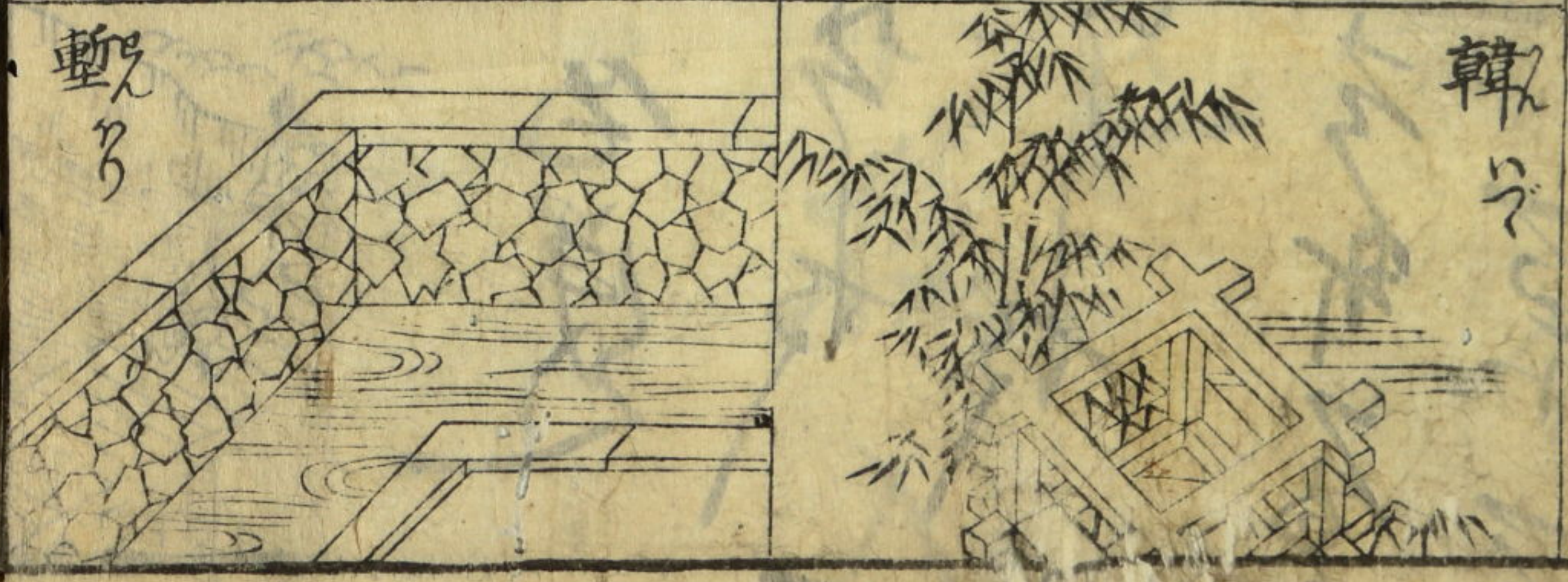




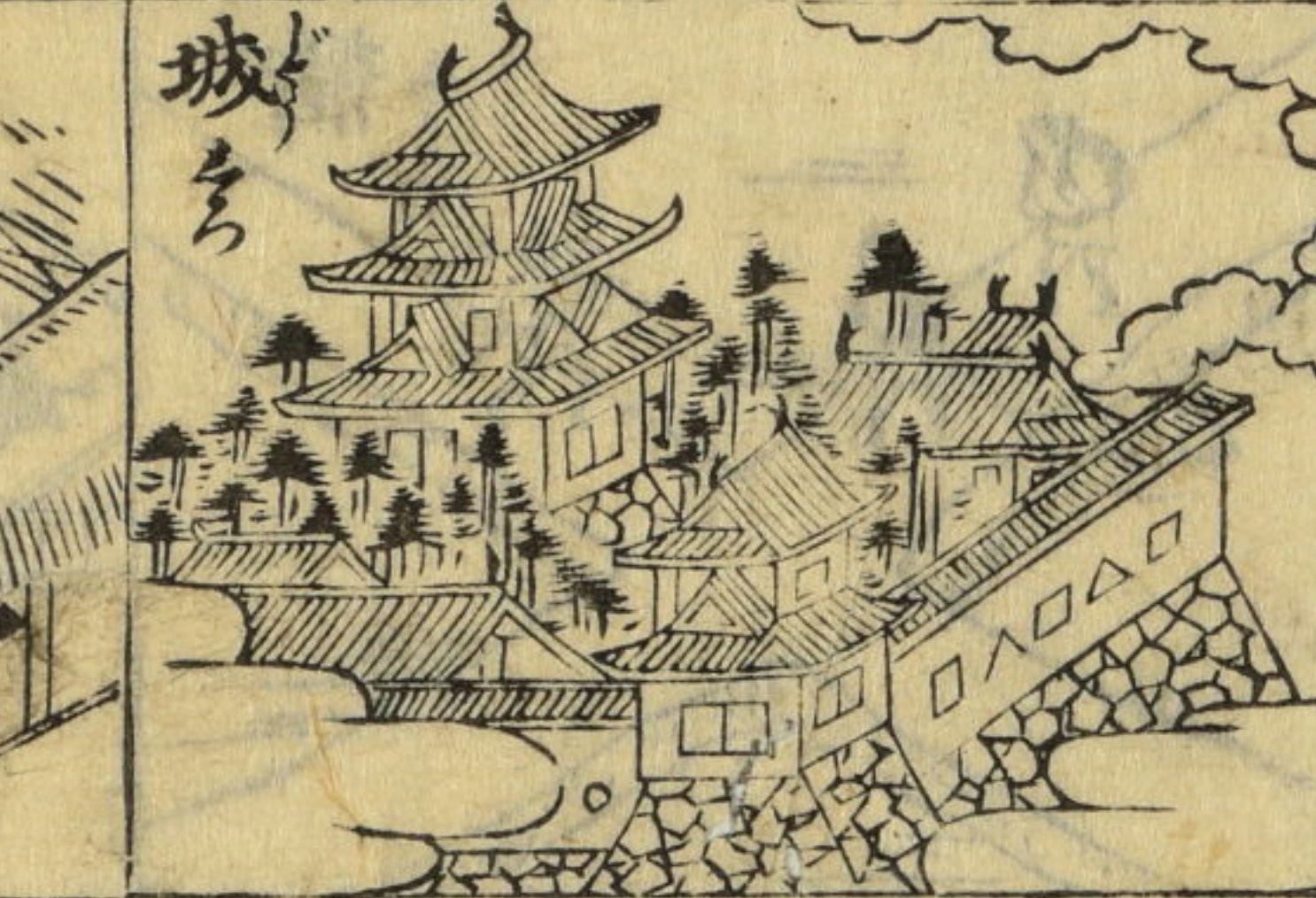
○井ハ伯益と云  
 人つらり始りて  
 樹ハ毒を以て井  
 の心よりあつて人  
 それ水とのあつて  
 ともて井に相と  
 名を以て鳳凰と懼  
 鳳凰ハ梧桐と云  
 いものあれい鳳  
 うめんとと樹  
 かそれめんとと  
 溝と云  
 溝ハ田間の水あり  
 溝ハ構ありとて  
 よこあつてつる  
 ころあり渠同



○韓ハ井垣あり  
 とあり俗にいけ  
 ぬつとつる井  
 竹と云べし  
 韓のころころに  
 竹と云べし  
 圓ハ竹實と云  
 ふとのあれは樹と  
 かろつとつるあり  
 塹と云  
 ○塹ハ城とめぐる  
 水あり又坑塹と  
 坑壕ありと云同  
 城郭のりり



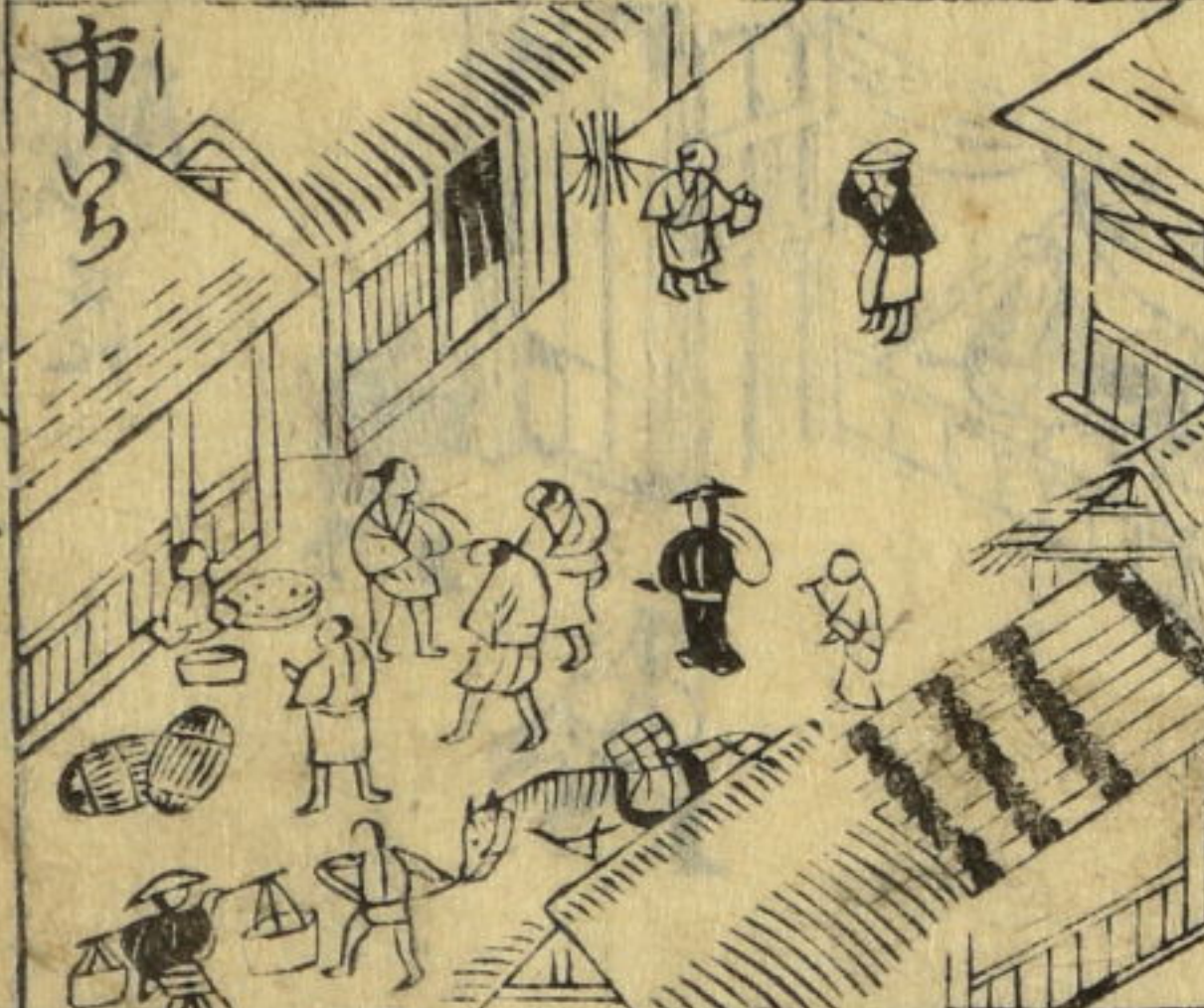
○城ハ黄帝の  
 らのあつた又  
 とつて人けり始  
 らつてとつて門と  
 城と云外と云  
 とつて天守杖同  
 多門武者也  
 槽大走虎魚



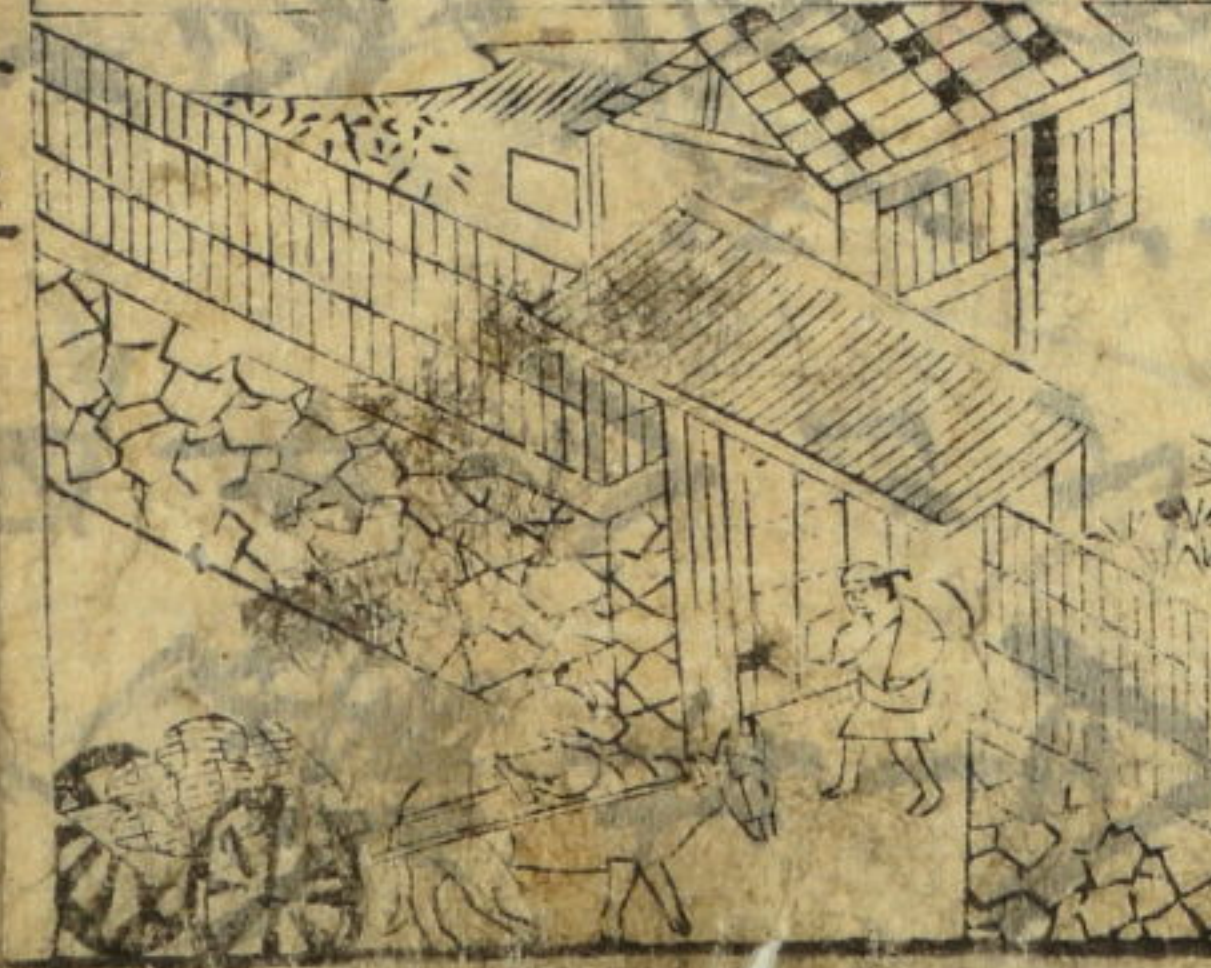
○村ハ人のあつる  
 ふあり村と云  
 字通ハ經史に村  
 のまのハ村と云  
 にハハハハハハ  
 村とつらり非あり  
 今通トつらり  
 邑ハ



○市ハ神農  
 といふ又祝融  
 始りてとつて  
 賣買の所と市  
 と云



○問ハ里門あり  
 今ハハハハハハ  
 門と云又家ニハ  
 五ハハハハハハ  
 所と問と云  
 問巷と云



關

關ハゆきぬらこ  
かきく人として  
ひつとりの比叡の  
關鈴麻比國邊  
坂の國らしと天  
下の三國とらふ  
今ハくさくさ  
官根の國とらふ

衢

衢ハ四達の衢  
あり、ゆて十字  
街とゆらちと  
俗ハ辻乃字と  
街衢洞達と立

封疆

封疆ハ土と封  
し、疆とゆら  
とゆら俗ハ土と  
どてとゆら洛陽  
といふ、大岡秀  
吉公のとら東西  
に封疆とらして  
作とらふ今  
ハあり

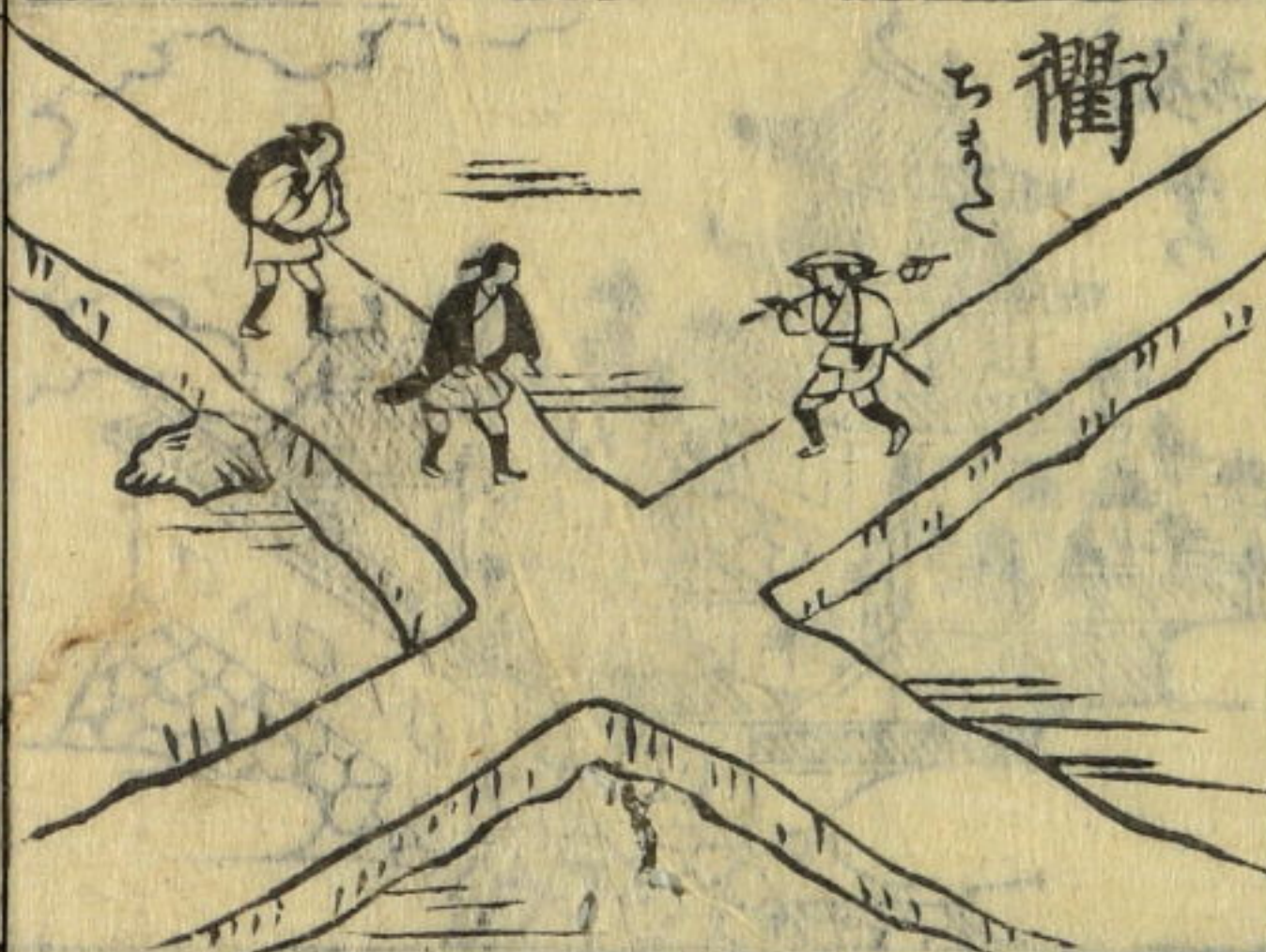
獨梁

獨梁ハ木梁  
ともゆら、又  
孤橋ともゆら

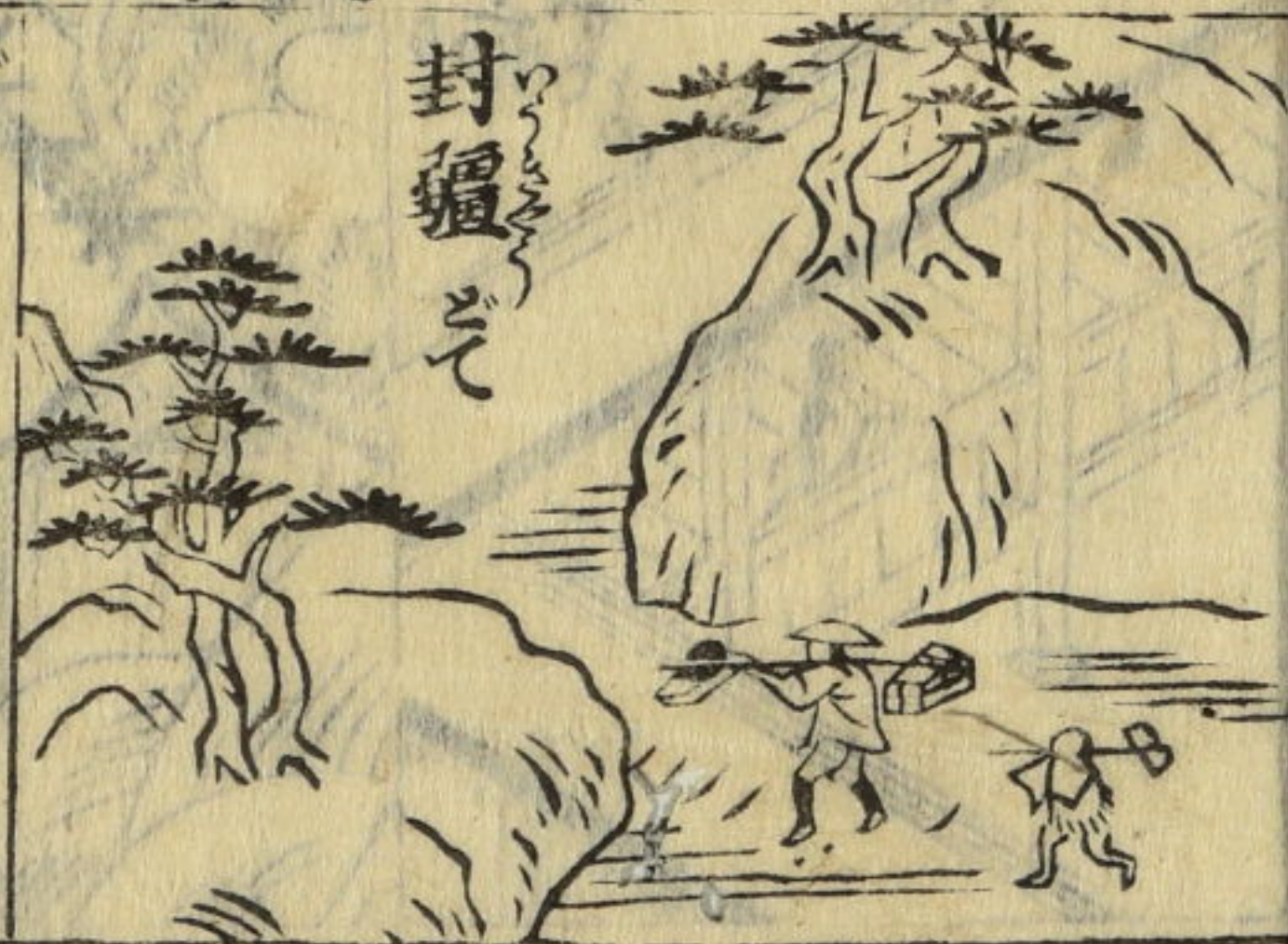
關



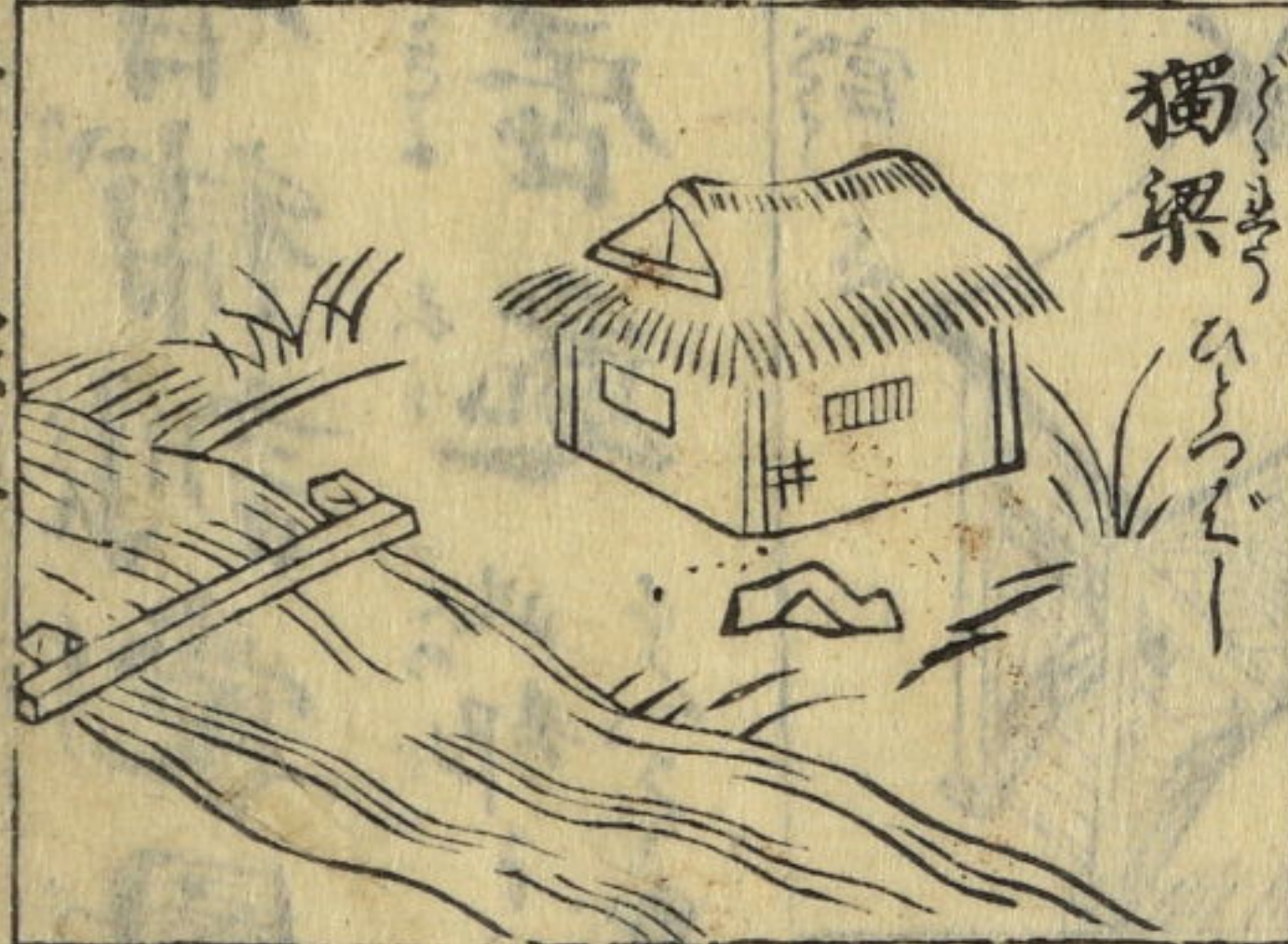
衢



封疆



獨梁



道

道の道路あり  
途同ト徑ハこ  
えりあり  
用明天皇のよら  
五歳七通とらふ  
文武天皇のよら  
六十六ヶふとら  
り

津

津ハ木の齧  
とらあり、  
難波津、大津  
今津、平愛津  
えらふらふら  
伯ハありん

水柵

水柵ハ竹木と  
わんでしらとら  
る水とゆらあり  
山川、凡のゆら  
あゆら、あゆら  
わぬ、あゆら  
とらあり、あゆら  
とらあり、水柵あり

浮橋

浮橋ハうら  
又浮梁とも  
ゆら、又ゆら  
づ、船とらふ  
あゆら、ゆら

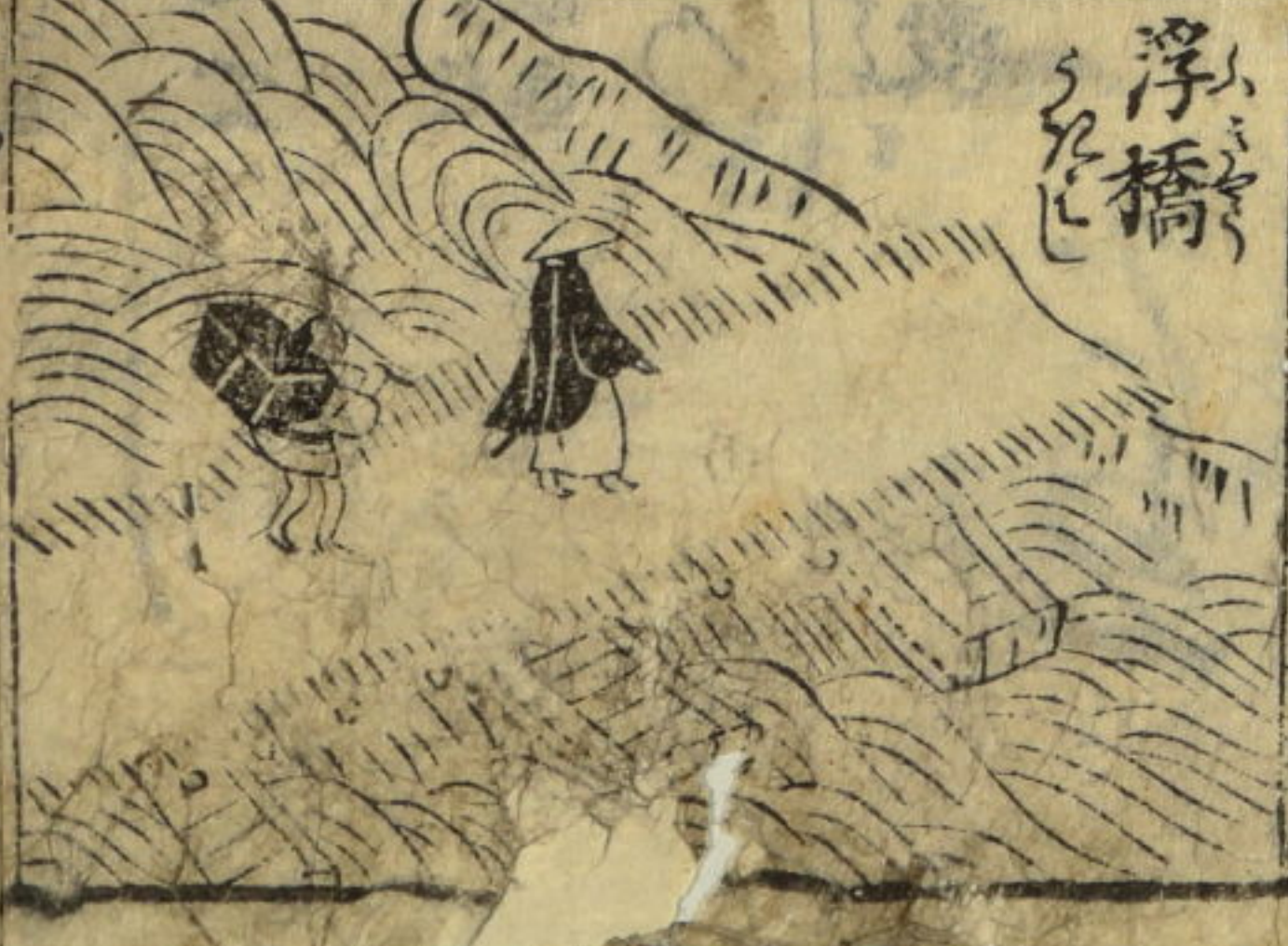
道



津



浮橋

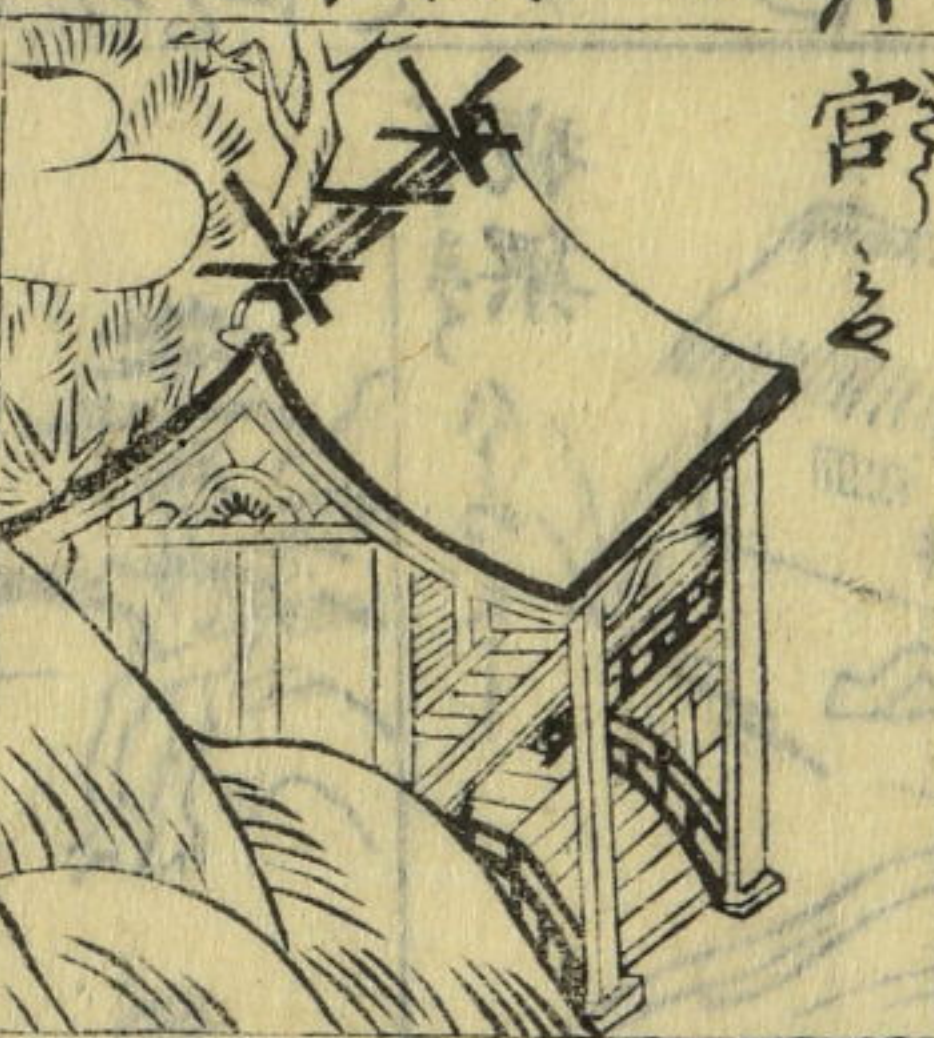


頭書增補訓蒙圖彙卷之三

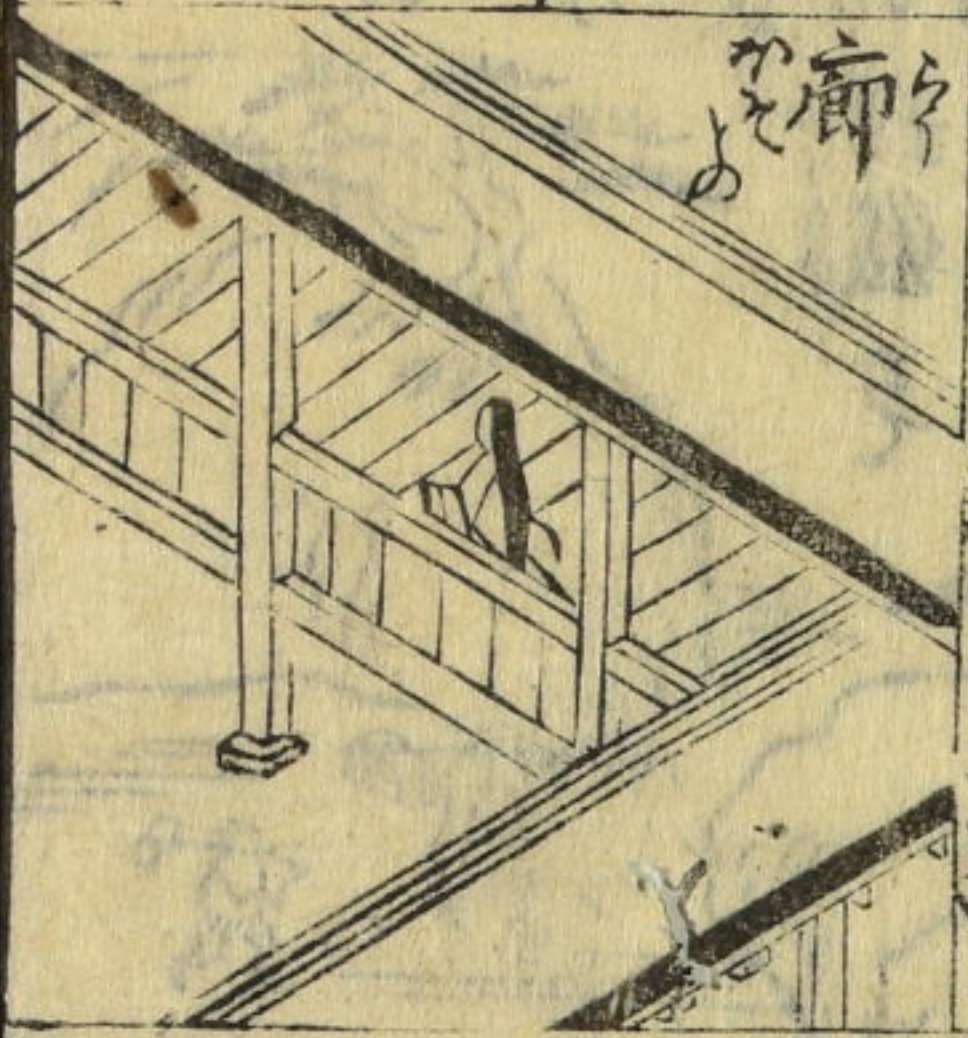
居處

此部は家敷門や壁楯庭窓のよそへ  
 といふ家居をあらわして文をあらわす

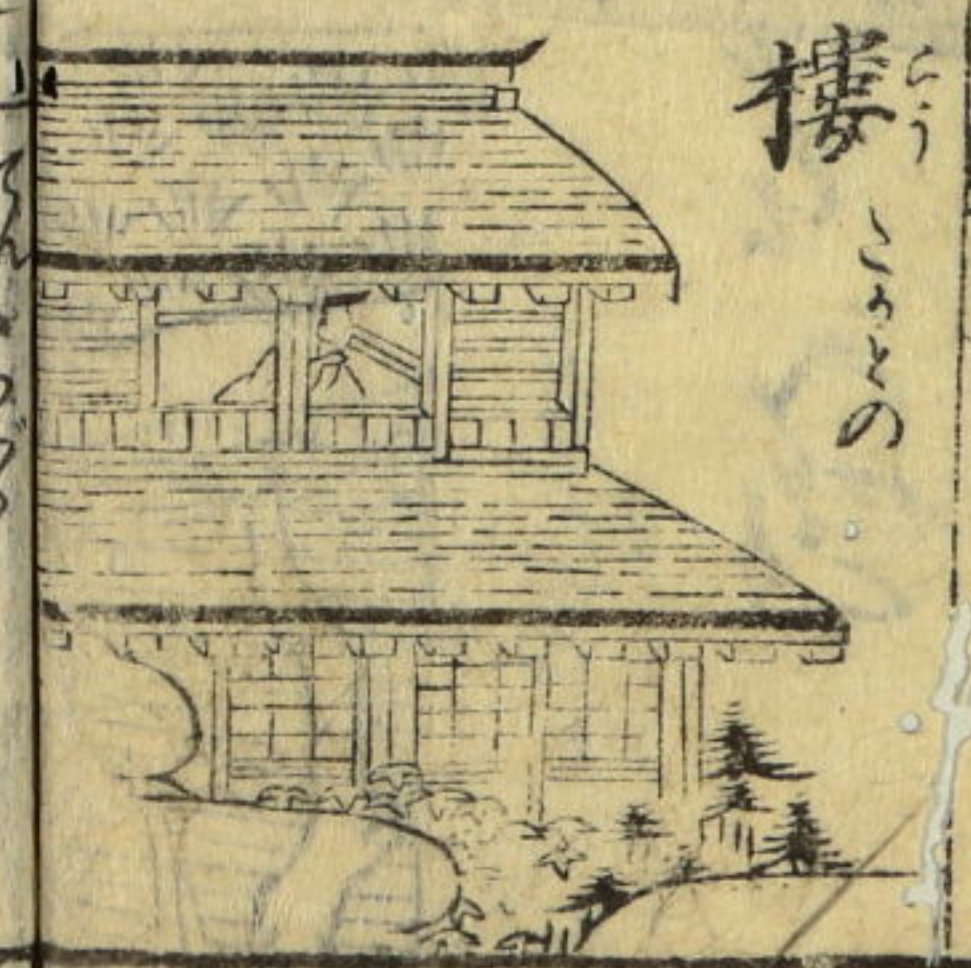
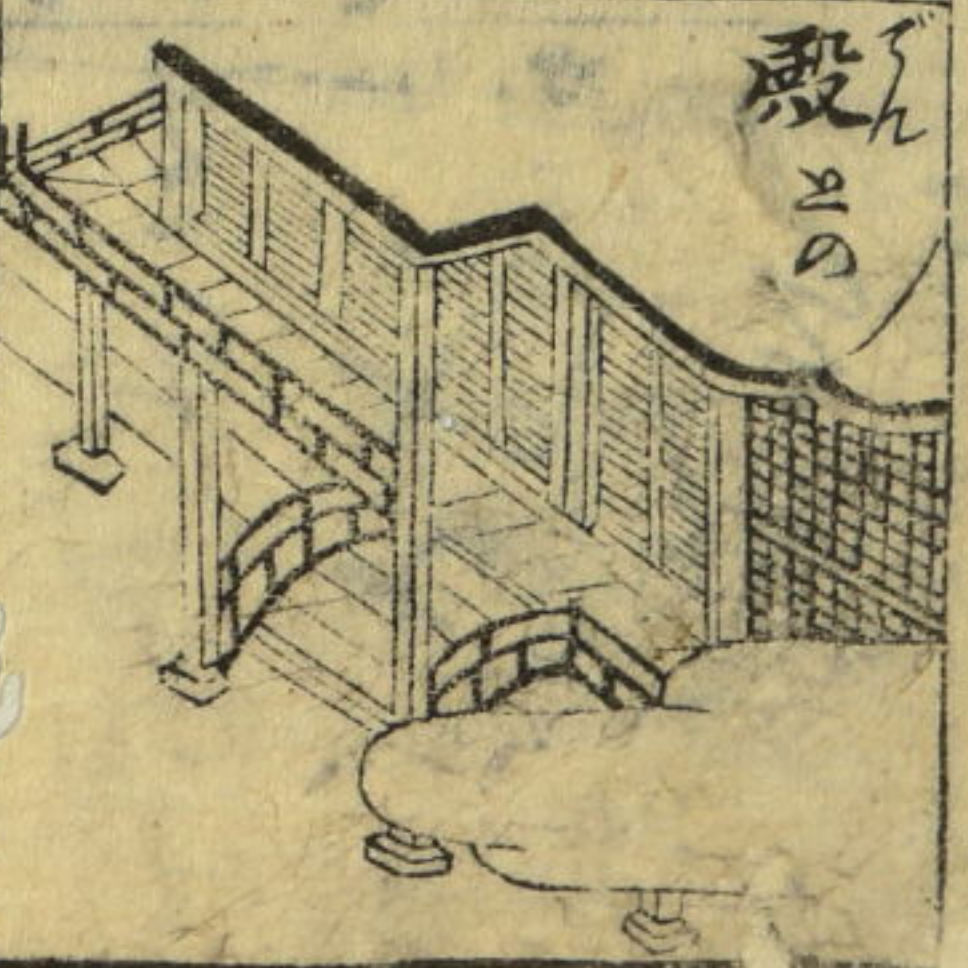
○宮の唐にての  
 至るの居所と  
 宮といふ和物小  
 ての林の居所  
 不を宮といふ又  
 社とも祠とも云



○廊の殿下乃  
 外屋へと云ふ  
 下廻廊あり  
 本敷のありあり

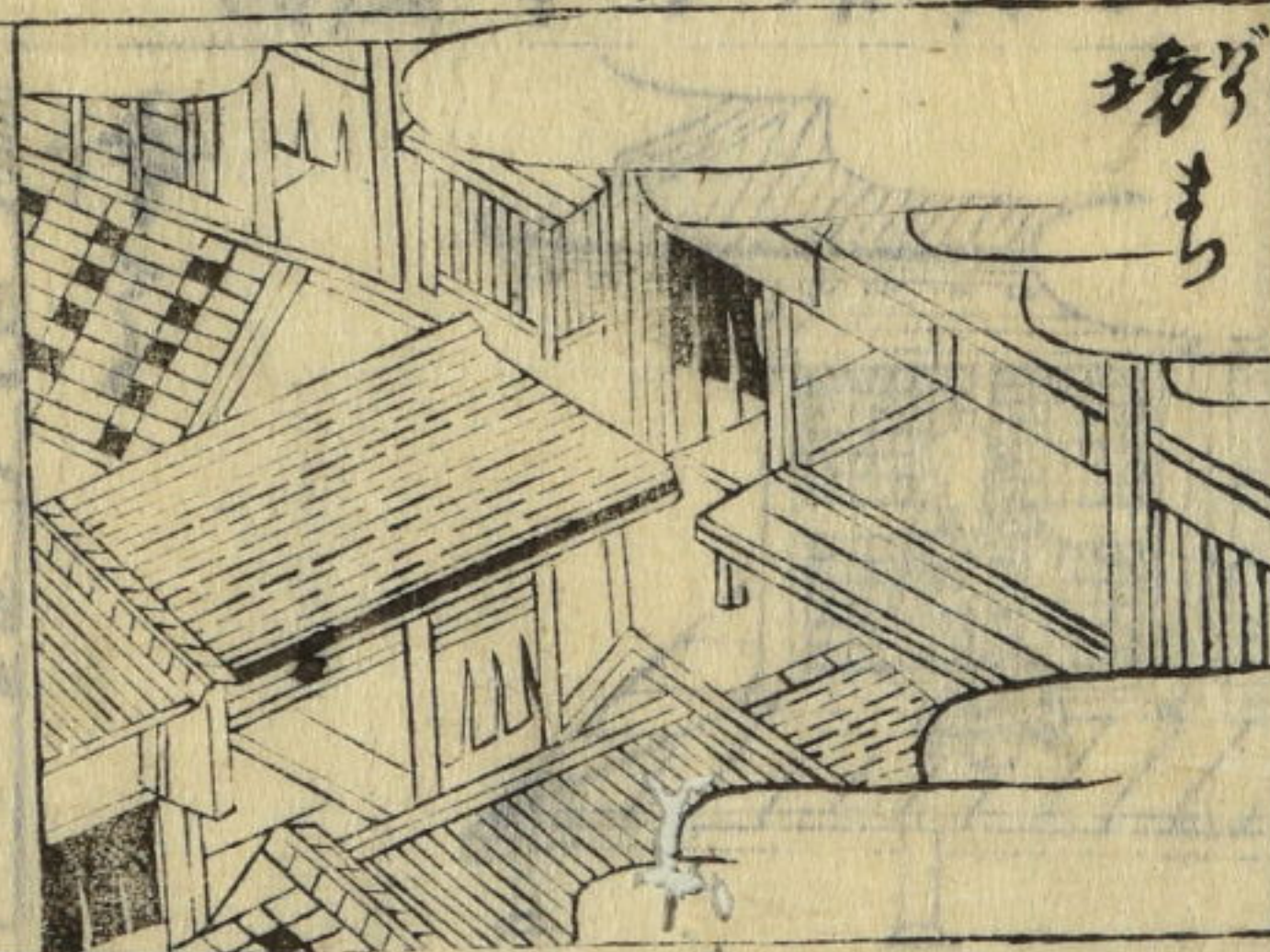


○殿の堂のまぐ  
 して大つらめ  
 天子の居所  
 殿の下の天  
 井に藻をまぐ  
 藻の水草のい  
 火災とさるる  
 天井といふも  
 ○樓の重屋あり  
 て物をとらへ  
 今信ちらん云



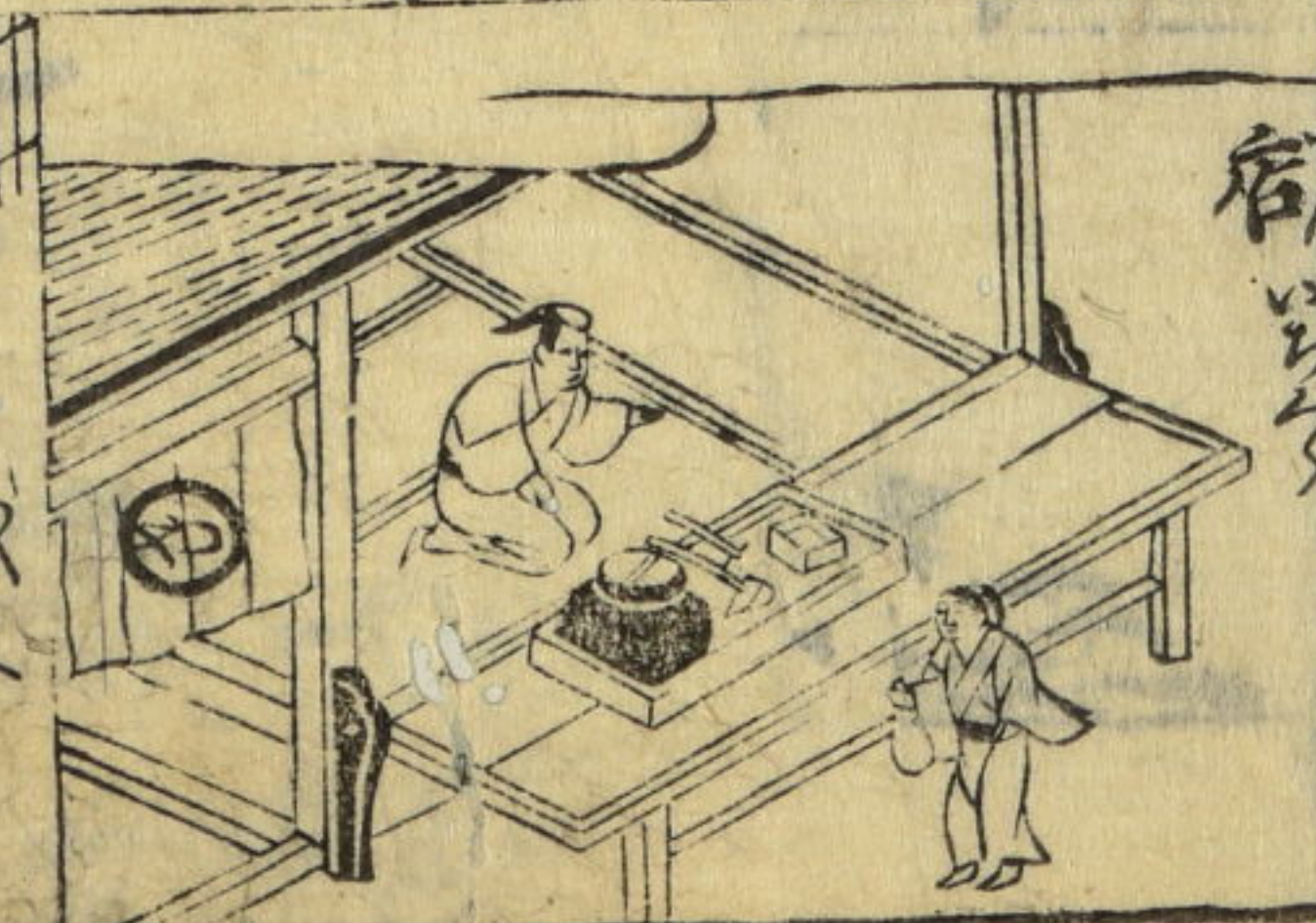
坊

○坊の町屋の  
 ちまの町屋  
 二条通と銅駝坊  
 といふ町屋又  
 別屋と坊といふ  
 増坊と坊といふ



店

○店の扱といふ  
 店ありといふ  
 店ありといふ  
 店屋物ありといふ  
 肆屋舗あり  
 あり



廬

○廬の田中此屋  
 あり欄あり  
 といふ草に  
 てやぬと云ふ  
 屋といふ菴同  
 ありの廬のといふ  
 廬の字をとり



宅

○宅の擇といふ  
 宅と擇といふ  
 宅といふ又人  
 能といふ又人  
 もありの宅家  
 屋といふ同  
 第宅



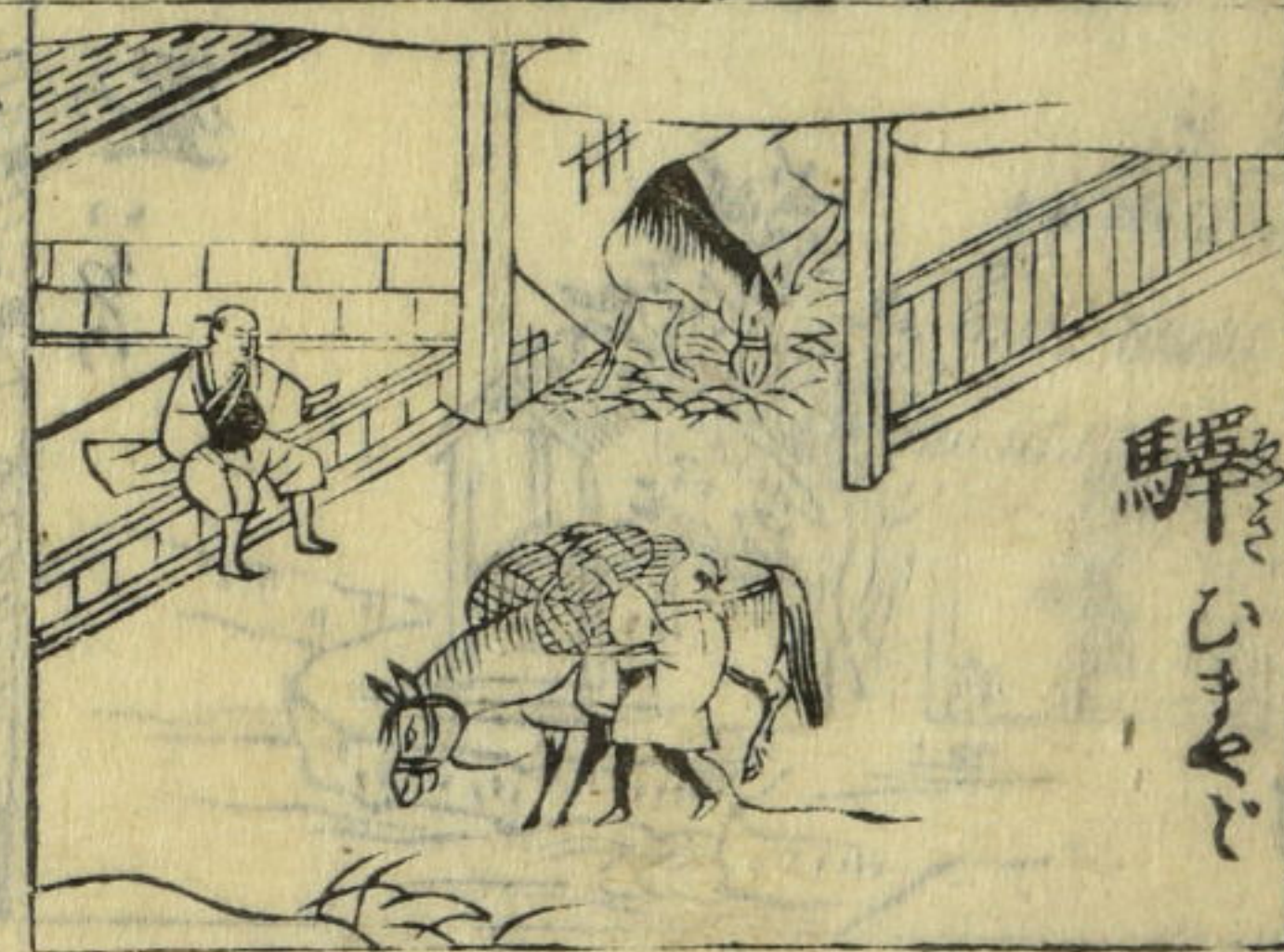


驛 いまじ

○驛の通平を  
こゝろあつたこと  
驛館とも又驛  
舎とも驛舎  
いふこともいふ

寺 ぢ

○寺ハハシ  
わらふの名ハ天竺  
より佛經と自ら  
かきて佛經寺  
よふ名ハ之の  
にありしハ佛氏  
の居ハの名守



驛 いまじ

寺 ぢ



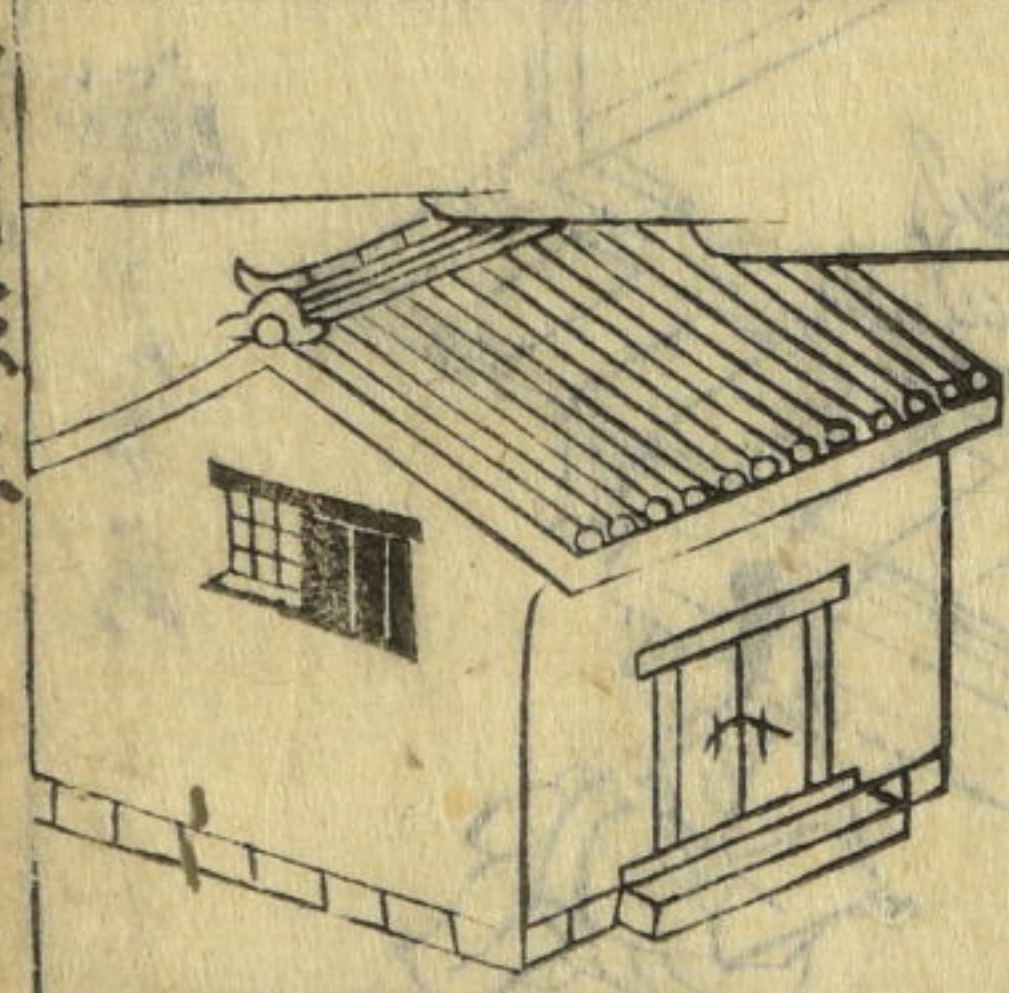
○廡ハ  
廡の堂下の周  
廊より大屋凡四  
多の重櫓あり  
いふあり

廡 いまじ

倉 ぢ

倉ハ  
倉のらりあり  
こゝろと倉と倉  
のふ米とつと  
倉のふ財宝と  
つとと倉とつと  
書物とつとと  
庫とのふ土庫  
ハありありあり  
府もつとあり

倉 ぢ



亭 わらわ

○亭ハ  
亭ハ又行旅宿舎  
の館ともいふ  
りりりりりり  
りりりりりり  
りりりりりり  
りりりりりり  
りりりりりり  
りりりりりり

塔 わらわ

○塔ハ  
塔ハ又行旅宿舎  
の館ともいふ  
りりりりりり  
りりりりりり  
りりりりりり  
りりりりりり  
りりりりりり  
りりりりりり

臺 うてま

臺ハ  
臺ハ又行旅宿舎  
の館ともいふ  
りりりりりり  
りりりりりり  
りりりりりり  
りりりりりり  
りりりりりり  
りりりりりり

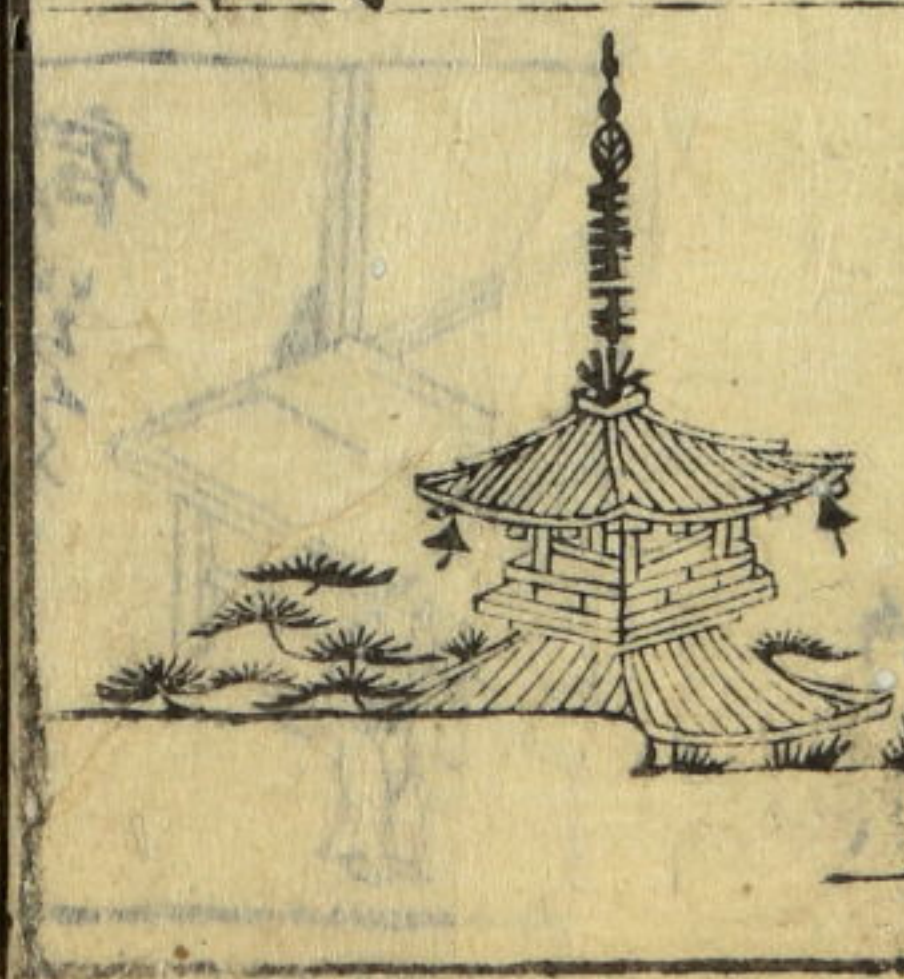
階 まさり

階ハ  
階ハ又行旅宿舎  
の館ともいふ  
りりりりりり  
りりりりりり  
りりりりりり  
りりりりりり  
りりりりりり  
りりりりりり

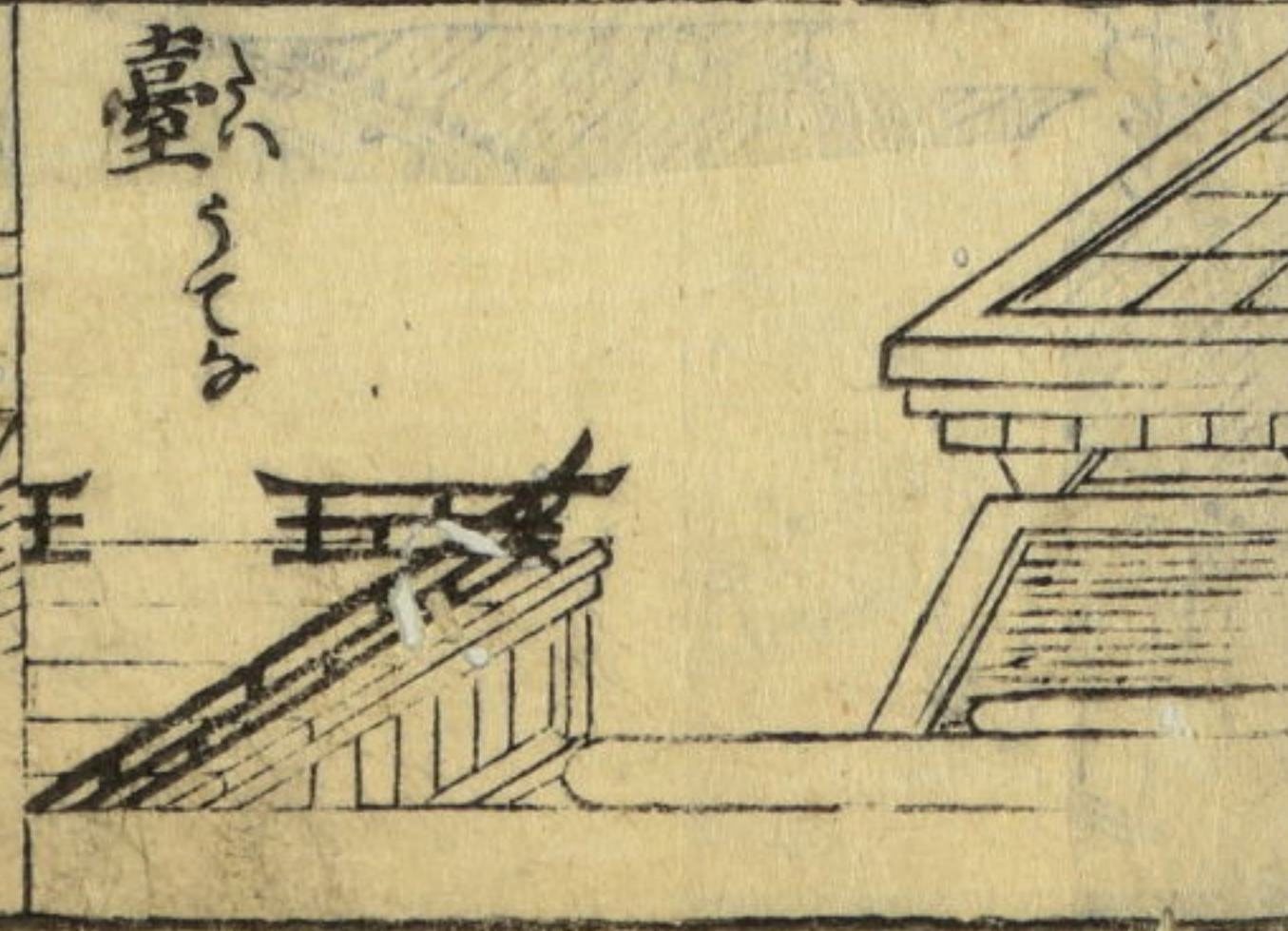
亭 わらわ



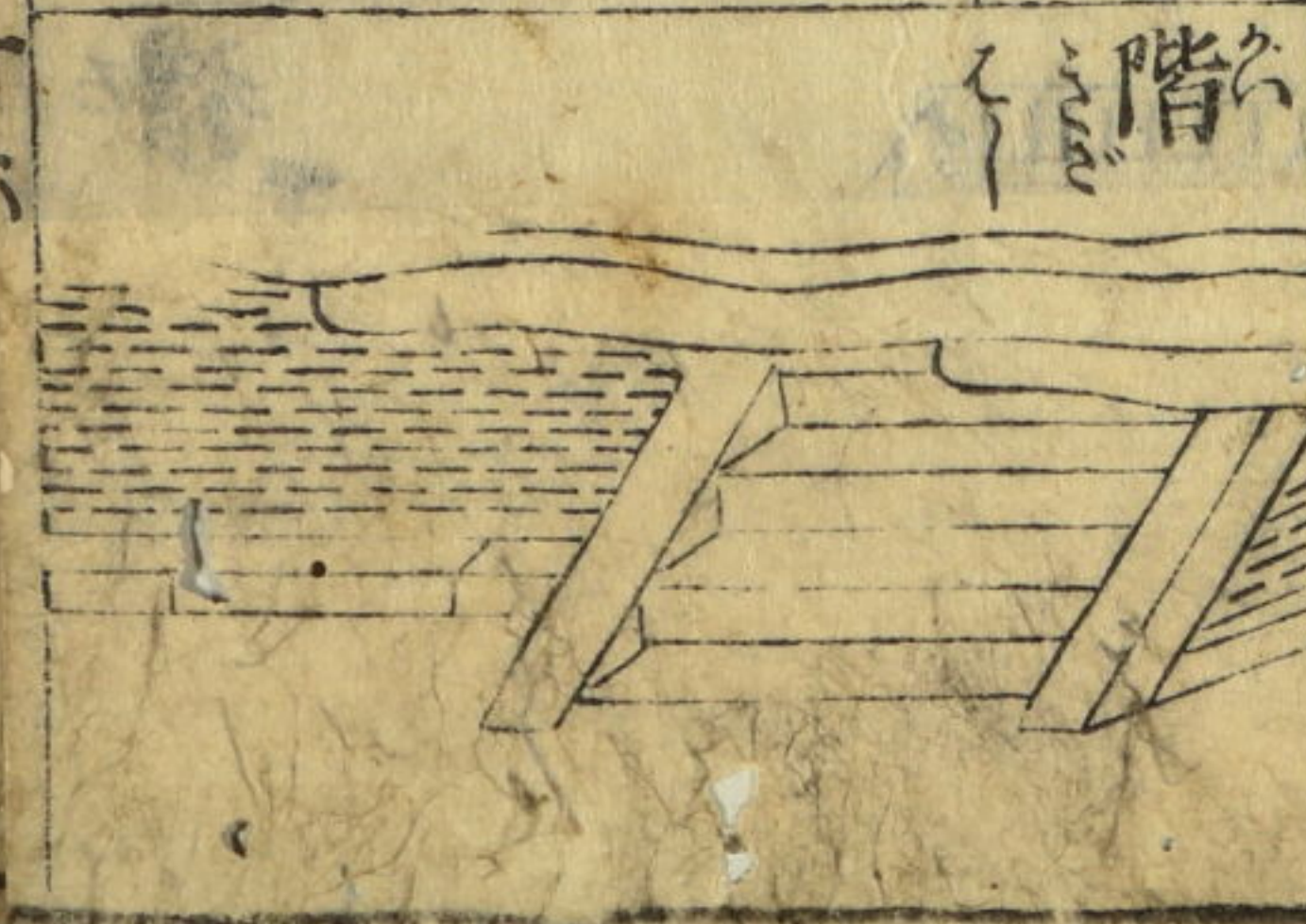
塔 わらわ



臺 うてま



階 まさり



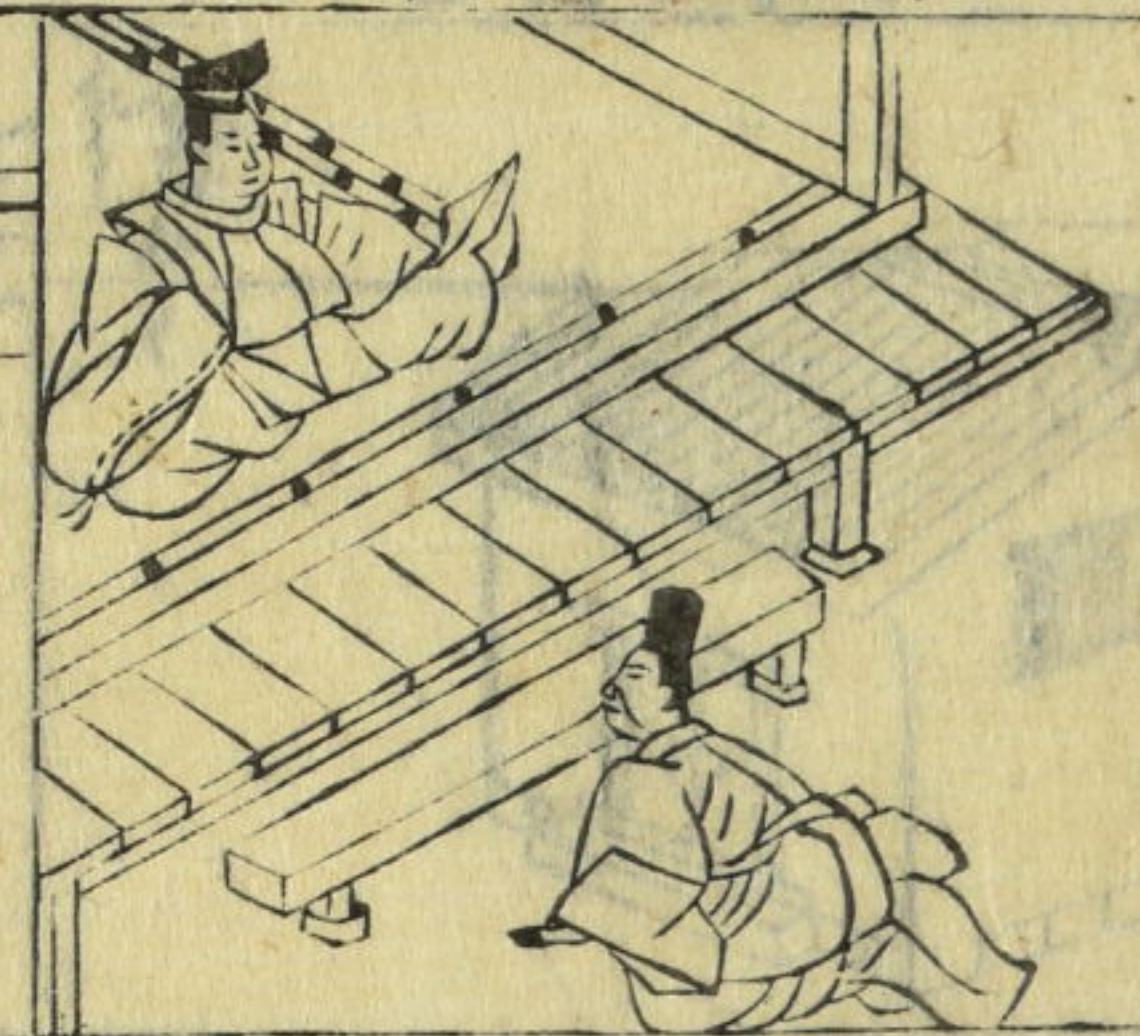
廳とらまんざら  
 廳とらまんざらと  
 廳とらまんざらと  
 あり檢非違使の  
 所託とありとハ  
 同

廁とらま  
 廁とらハ圍とらあり  
 俗とらと雪とらと  
 不潔とらと清除とら  
 釋とら名とら雜とらあり  
 人とらの上とら雜とら廁とら  
 あり

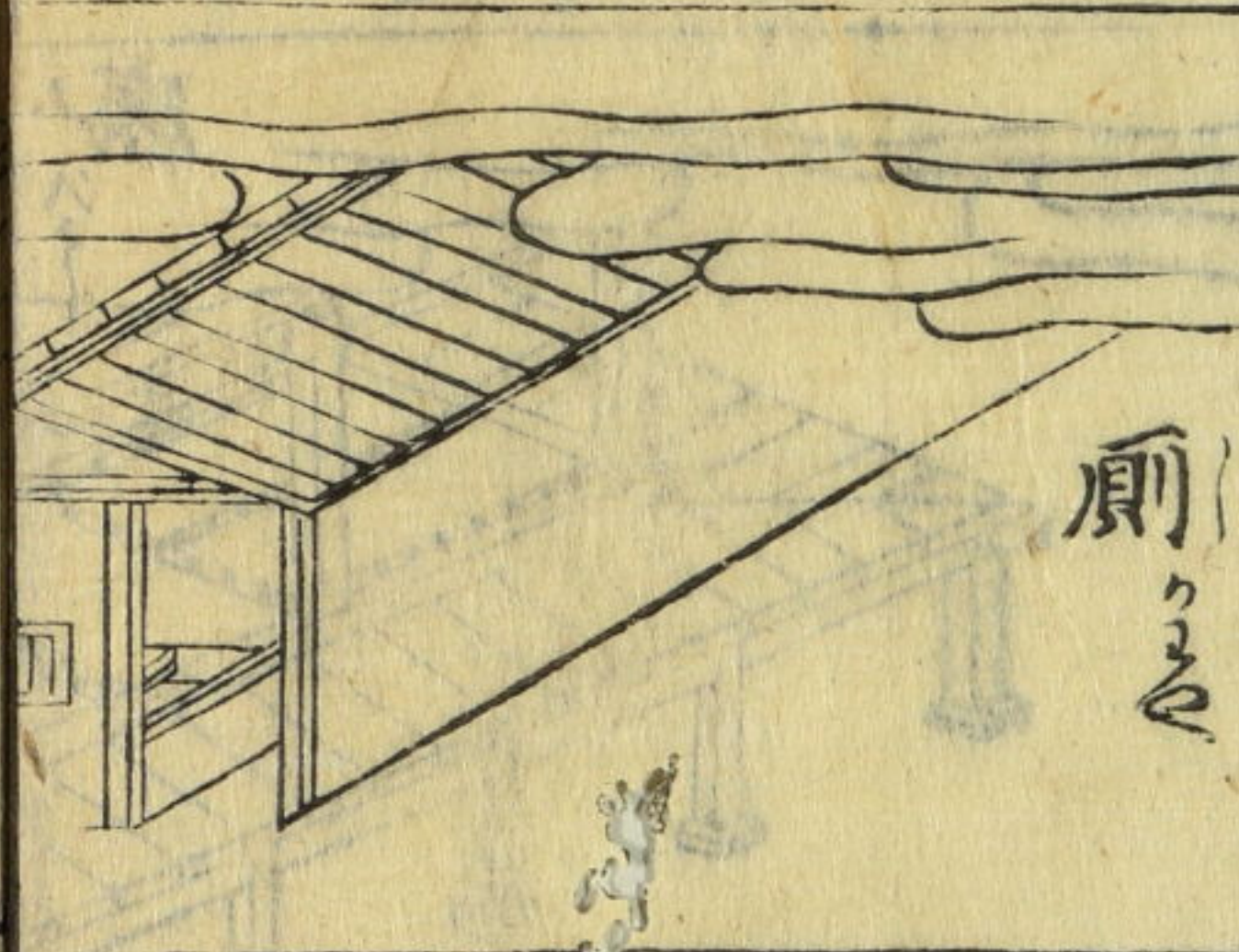
窓とら  
 窓とらハ釋とら名とら窓とら  
 外とらとあり  
 の美とらあり  
 紙とら窓とら 紙とら窓とら

庭とら  
 庭とらハ門とら屏とらあり  
 門とらと庭とらとあり又  
 庭とらとあり

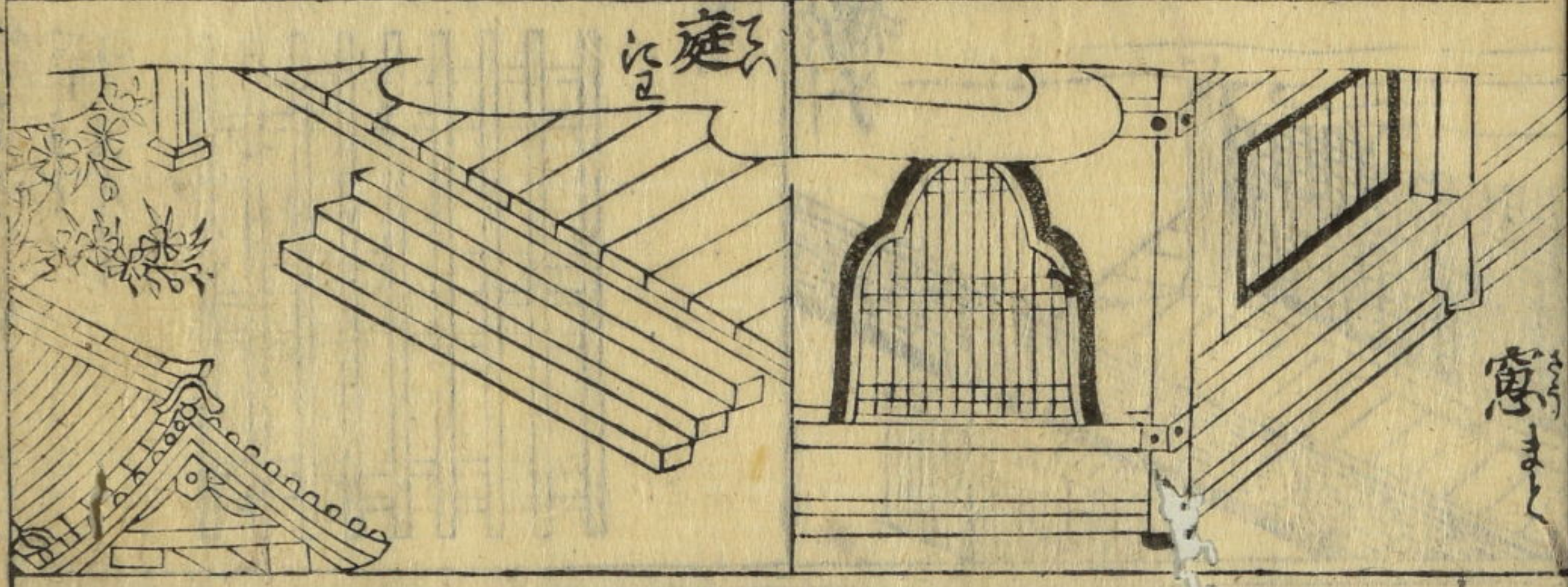
廳とらまんざら



廁とらま



窓とらま



庭とらま

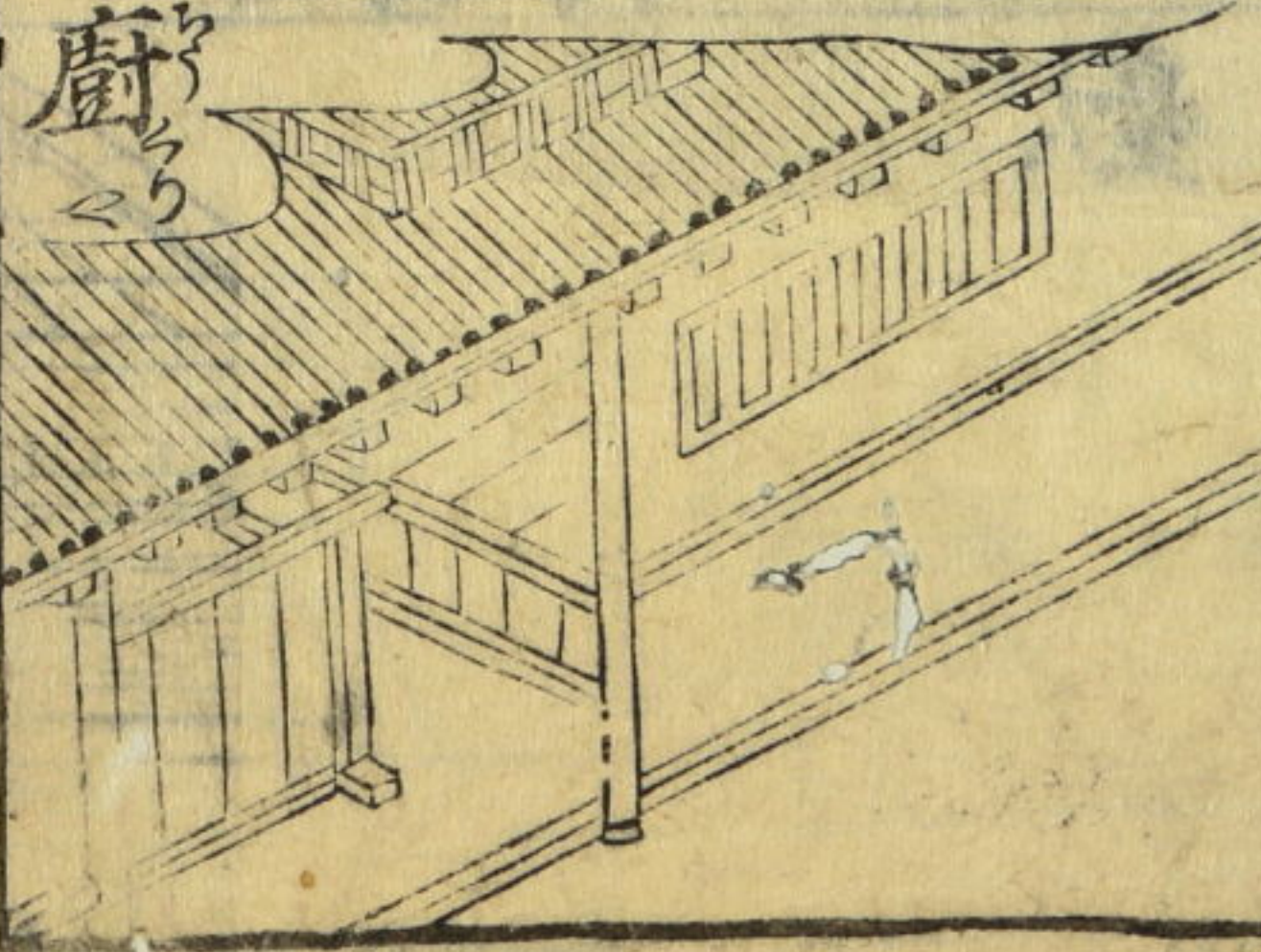
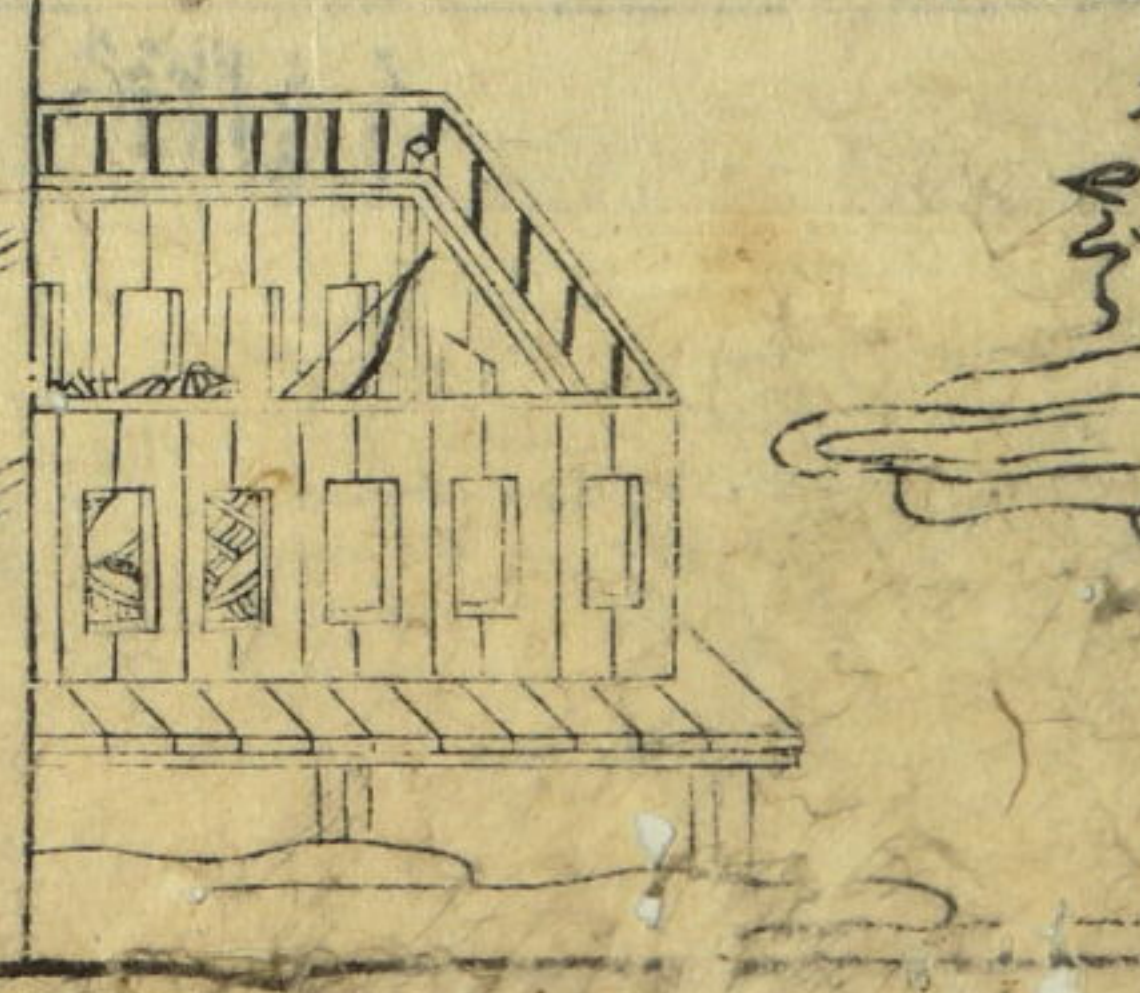
櫓とらハ屋とらぐらあり  
 城とらと望とら樓とらあり  
 戦とら間とらとあり敵  
 の多とらとあり  
 のとあり鉄とら炮とらと  
 戦とら櫓とらとあり

廚とらハ烹とら飪とらあり  
 間とらありとあり  
 厨とらとあり

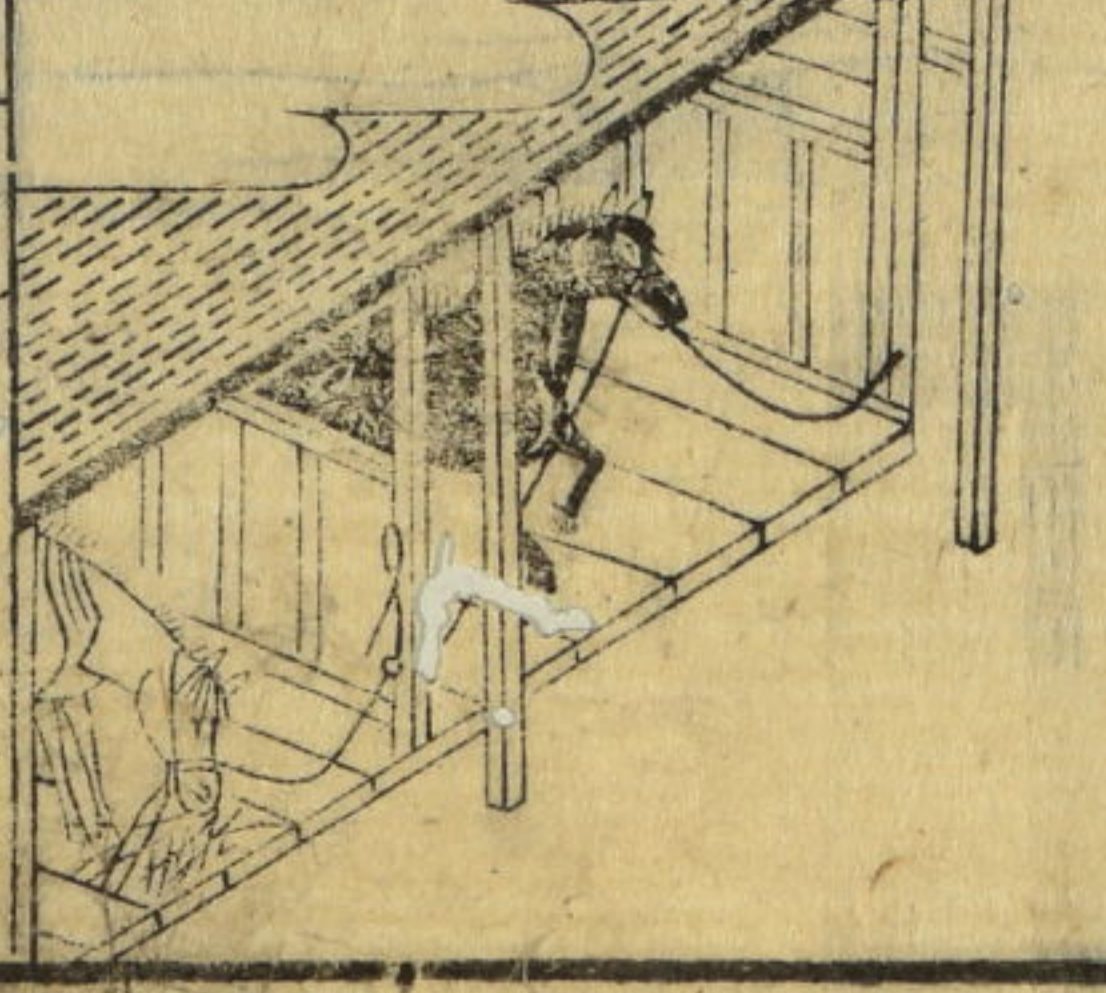
廐とらハ馬とら舎とらあり  
 櫓とらの屋とらとあり  
 櫓とらとあり  
 櫓とらの上とらとあり

門とらハ  
 門とらとあり  
 門とらとあり

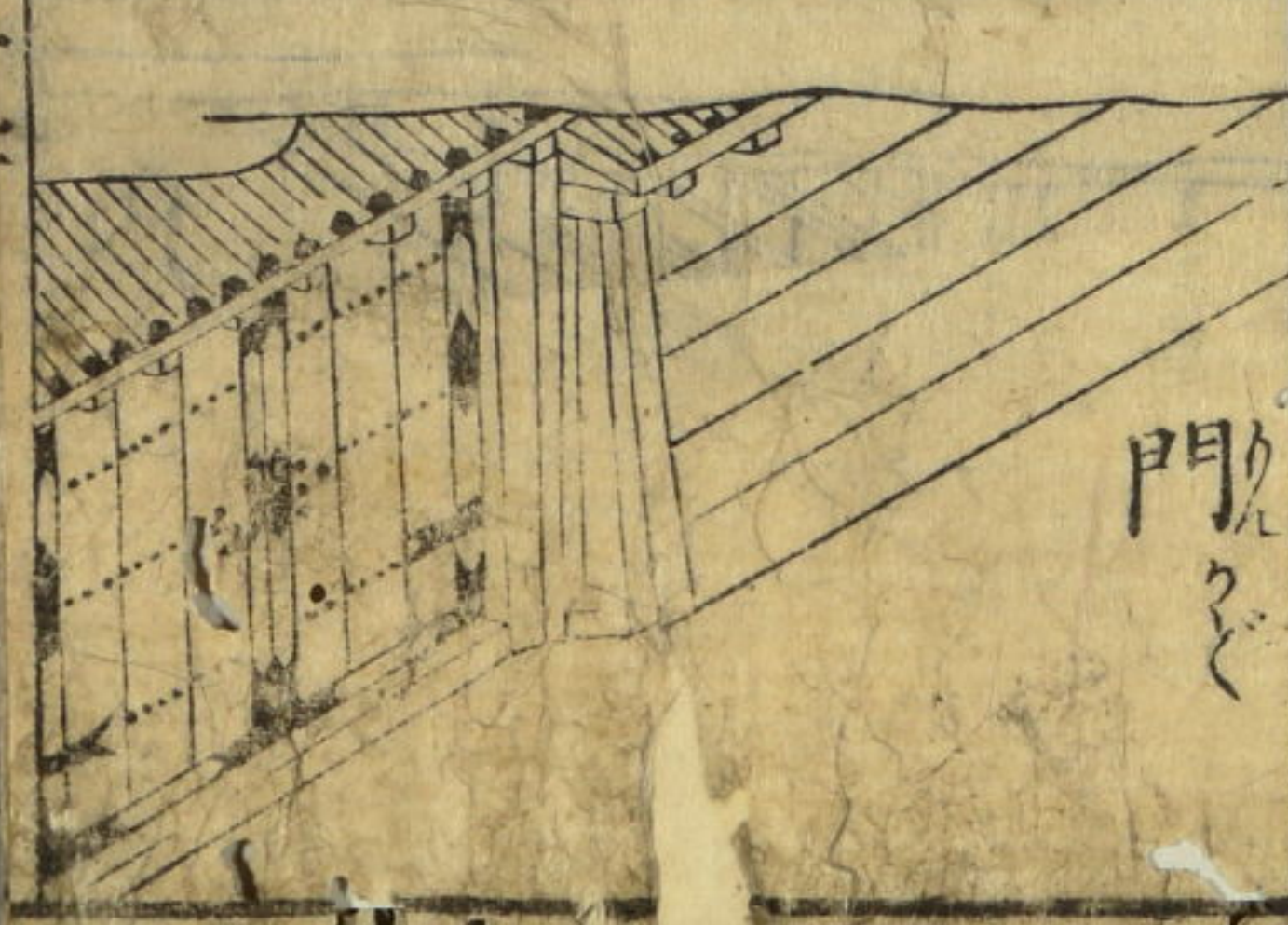
櫓とらま



廐とらま



門とらま

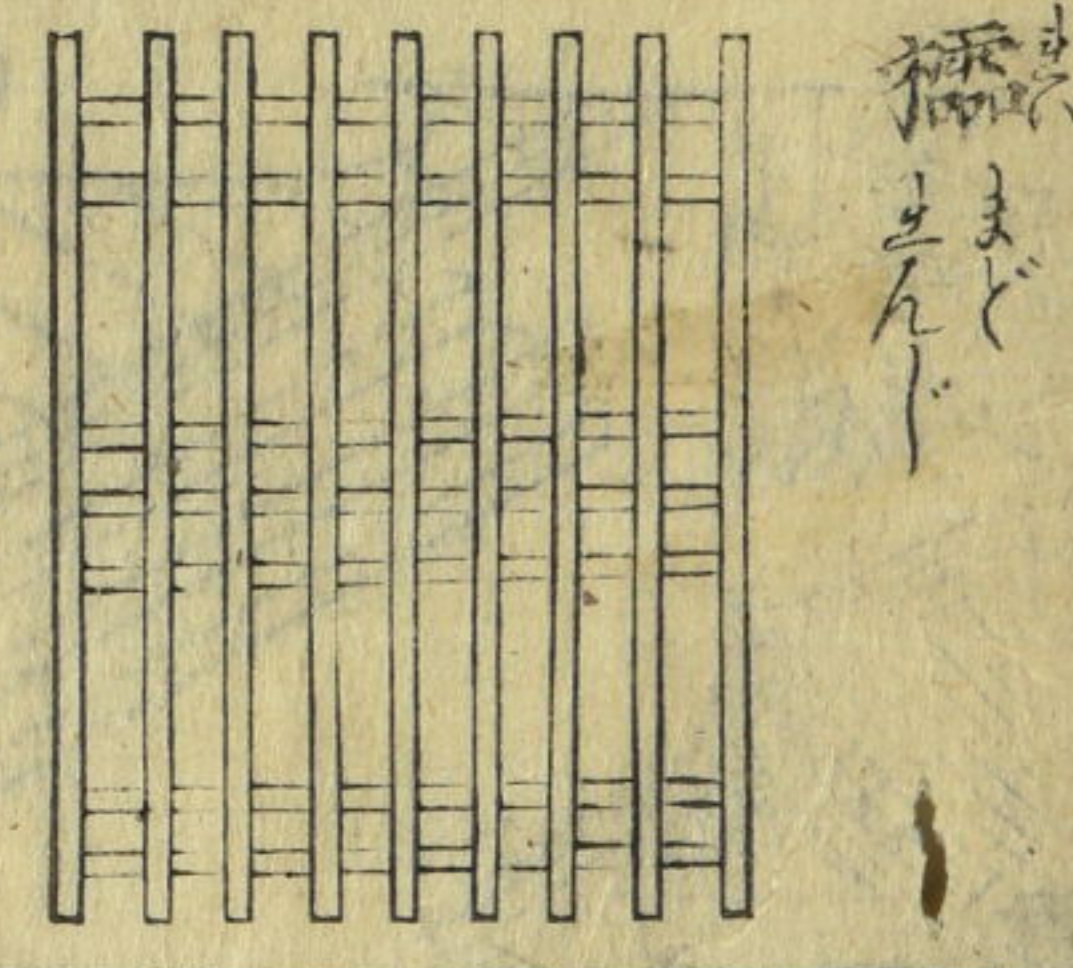


欄 へ 隔 子 の 欄  
 子 の 後 小 け  
 こ の 小 木 の ま だ  
 と 欄 子 と の 出  
 の ぬ ど と 土 窓 と  
 又

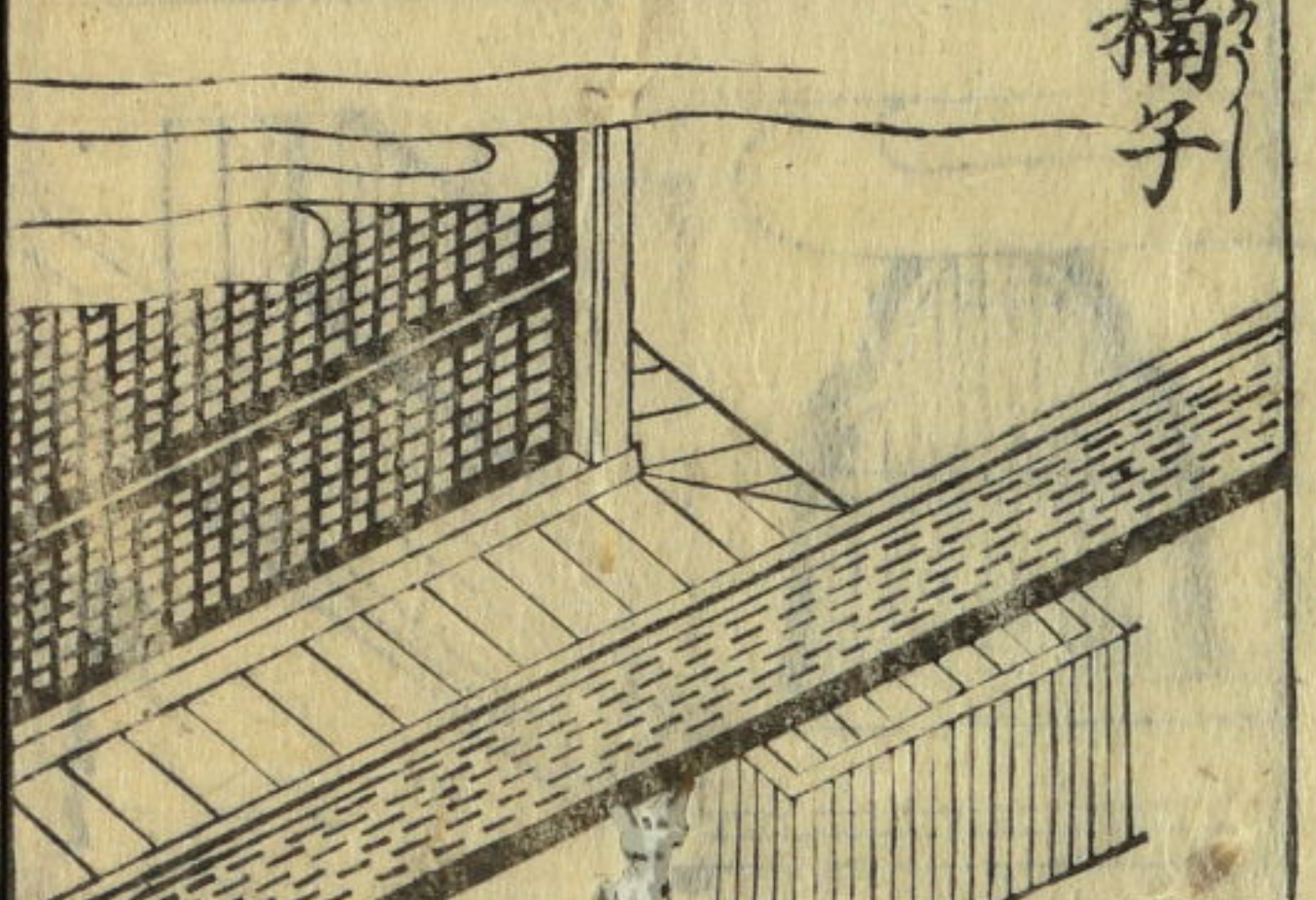
又 欄 子 と 格 子  
 と 小 け の 組  
 入 欄 子 狐 欄 子  
 釣 欄 子 臺 欄  
 子 の じ ゃ り 欄  
 裏 又 の 寺 社 等  
 は あり の 欄 欄 子  
 あり

扉 へ の び ぐ あり  
 木 へ の び ぐ あり  
 扉 と の び ぐ あり  
 つ ぎ と 扉 と の び  
 門 扉 戸 扉 柴 扉  
 竹 扉 あり の び

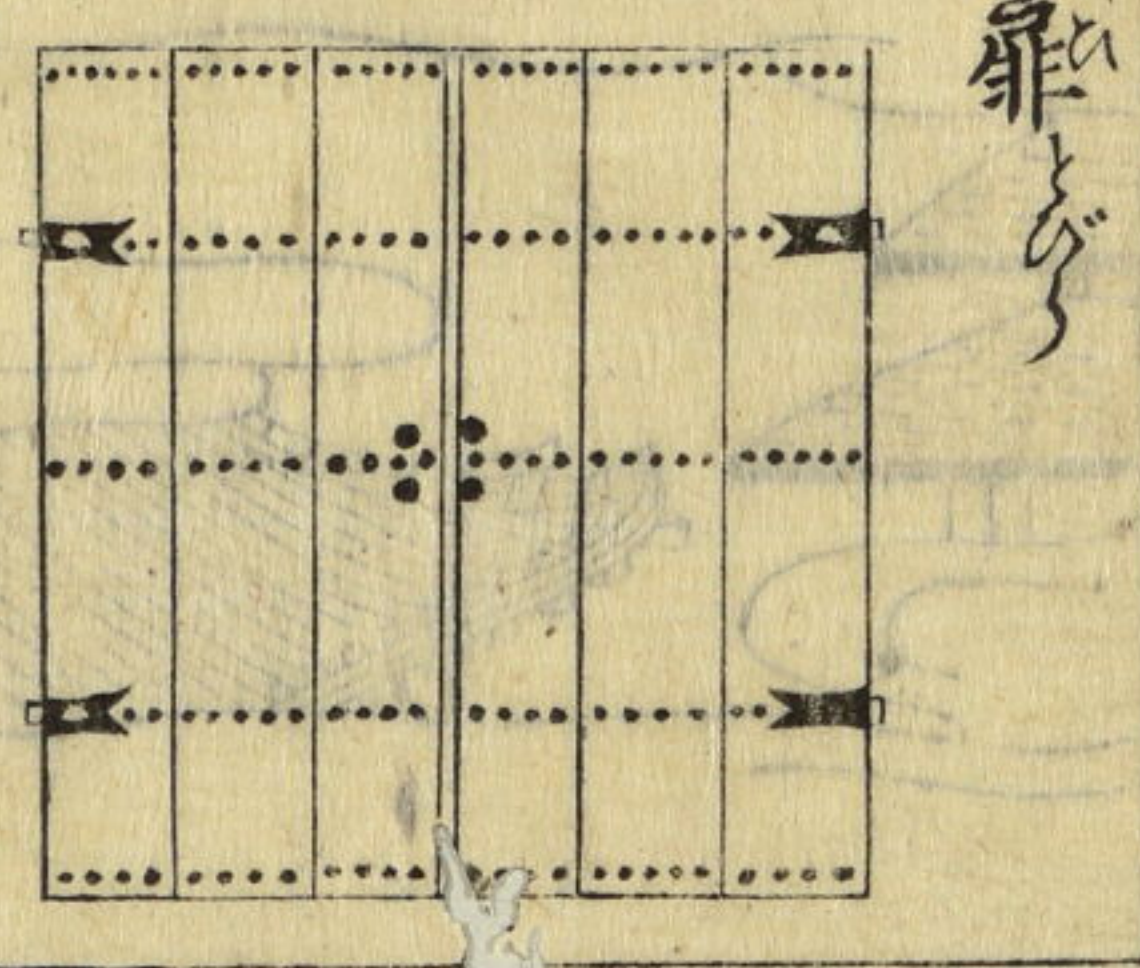
欄 へ の び ぐ あり  
 行 の 君 子 の 欄 機  
 あり の び ぐ あり  
 の び ぐ あり  
 の 門 欄 戸 欄  
 扉 欄 あり の び



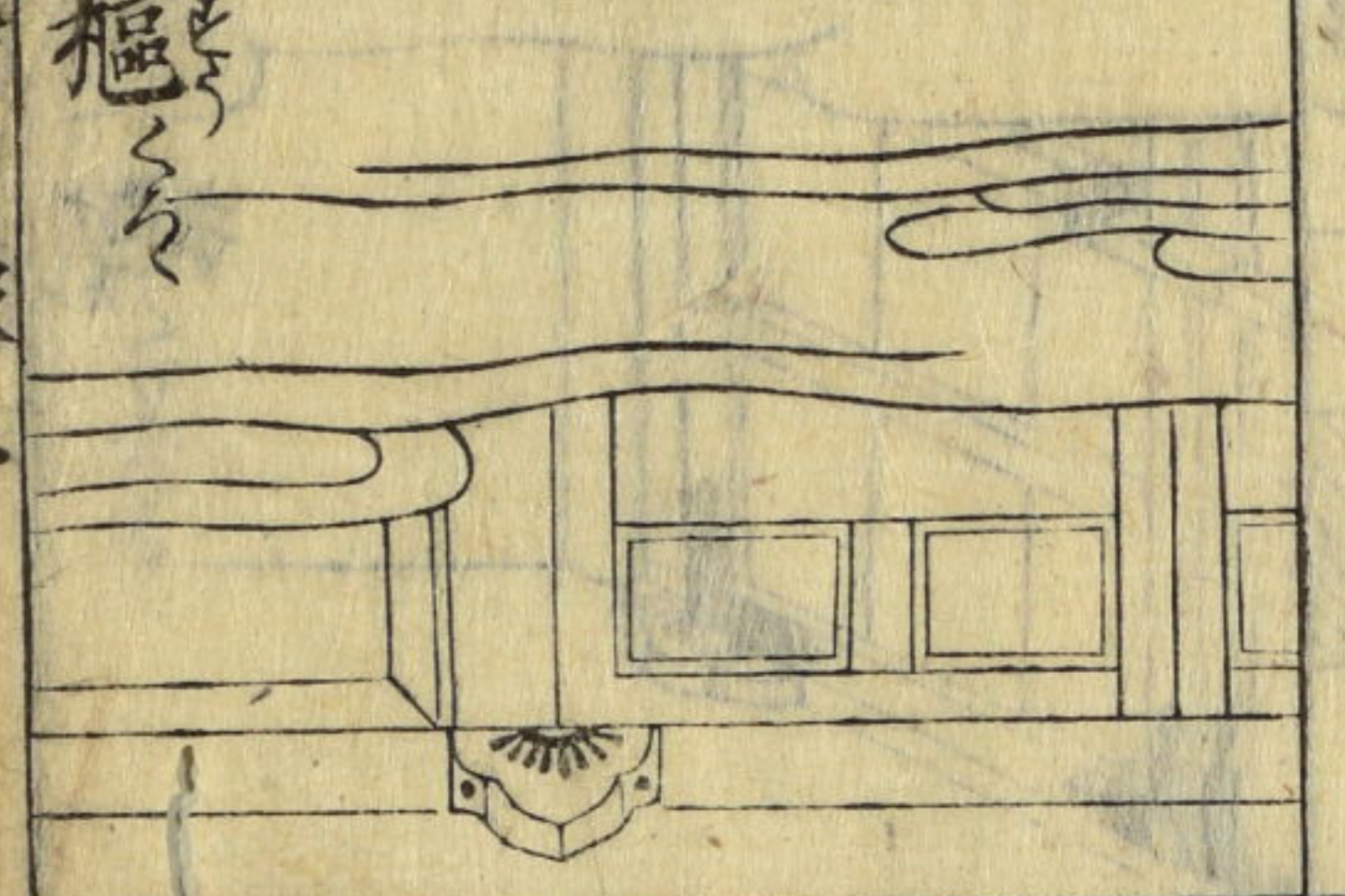
欄 へ の び ぐ



欄 子



扉 へ の び ぐ



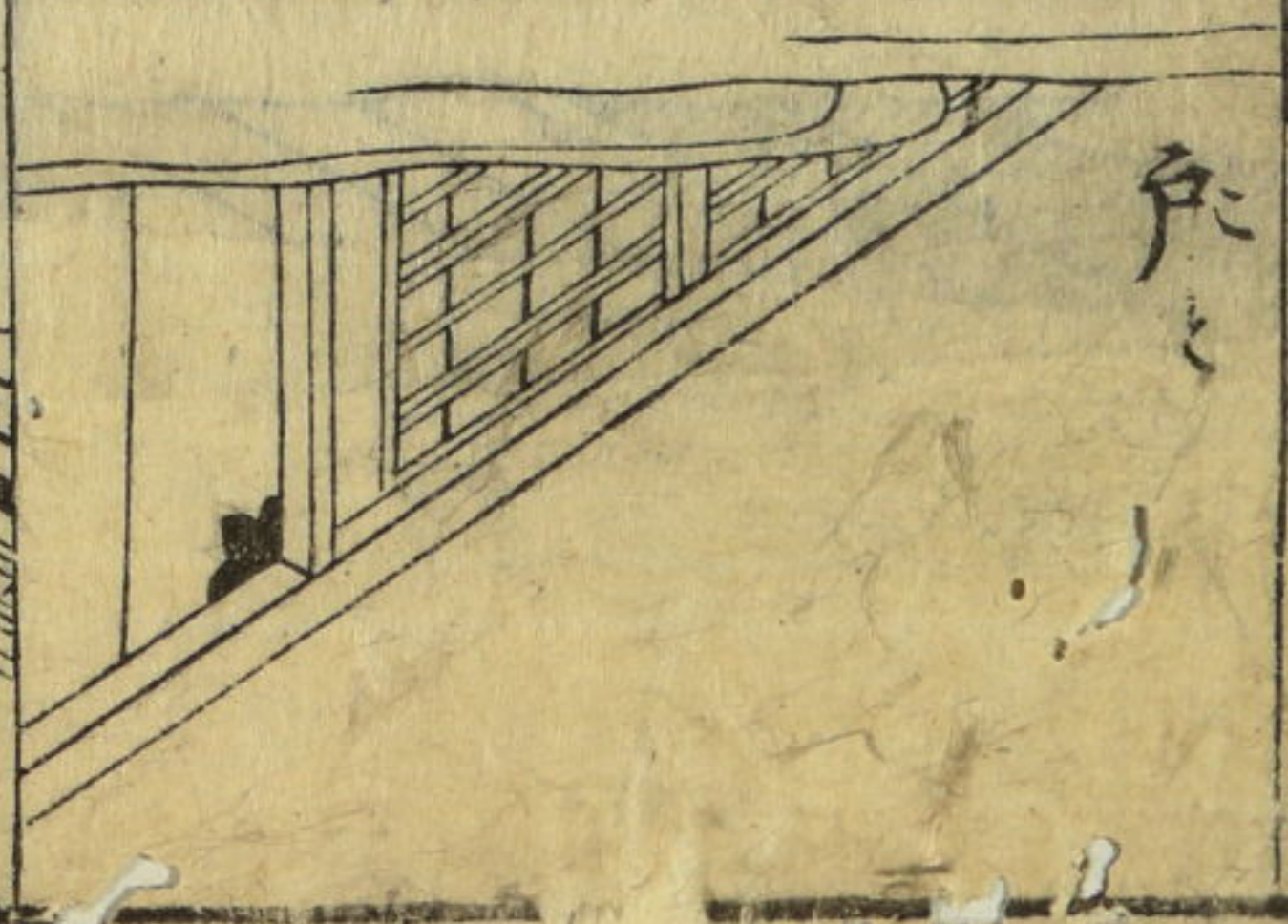
扉 へ の び ぐ

一 枚 の 扉 の 門 へ  
 戸 と の び ぐ あり  
 戸 と の び ぐ あり  
 戸 と の び ぐ あり  
 戸 と の び ぐ あり  
 戸 と の び ぐ あり  
 戸 と の び ぐ あり

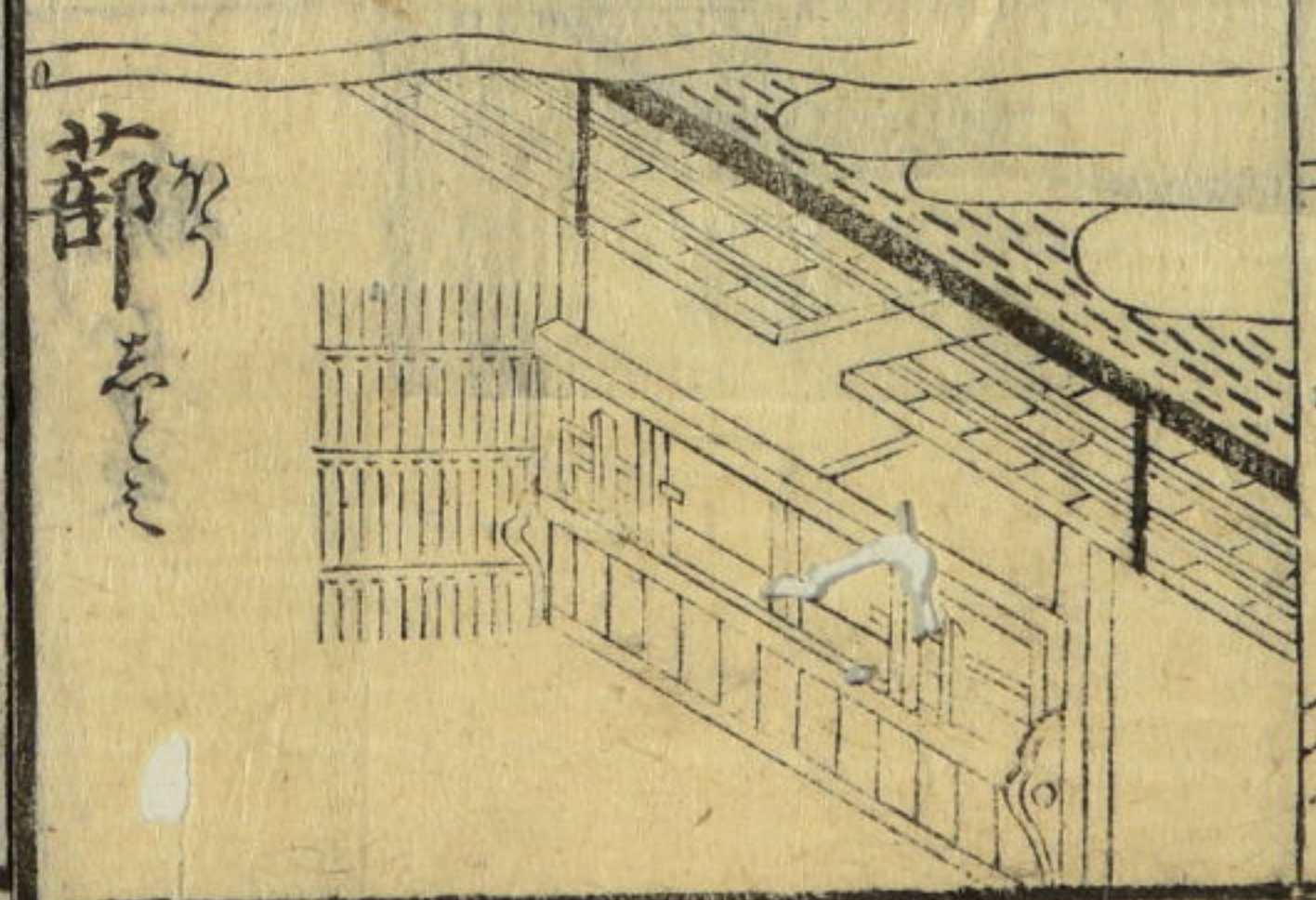
戸 と の び ぐ あり  
 戸 と の び ぐ あり  
 戸 と の び ぐ あり  
 戸 と の び ぐ あり  
 戸 と の び ぐ あり  
 戸 と の び ぐ あり

戸 と の び ぐ あり  
 戸 と の び ぐ あり  
 戸 と の び ぐ あり  
 戸 と の び ぐ あり  
 戸 と の び ぐ あり  
 戸 と の び ぐ あり

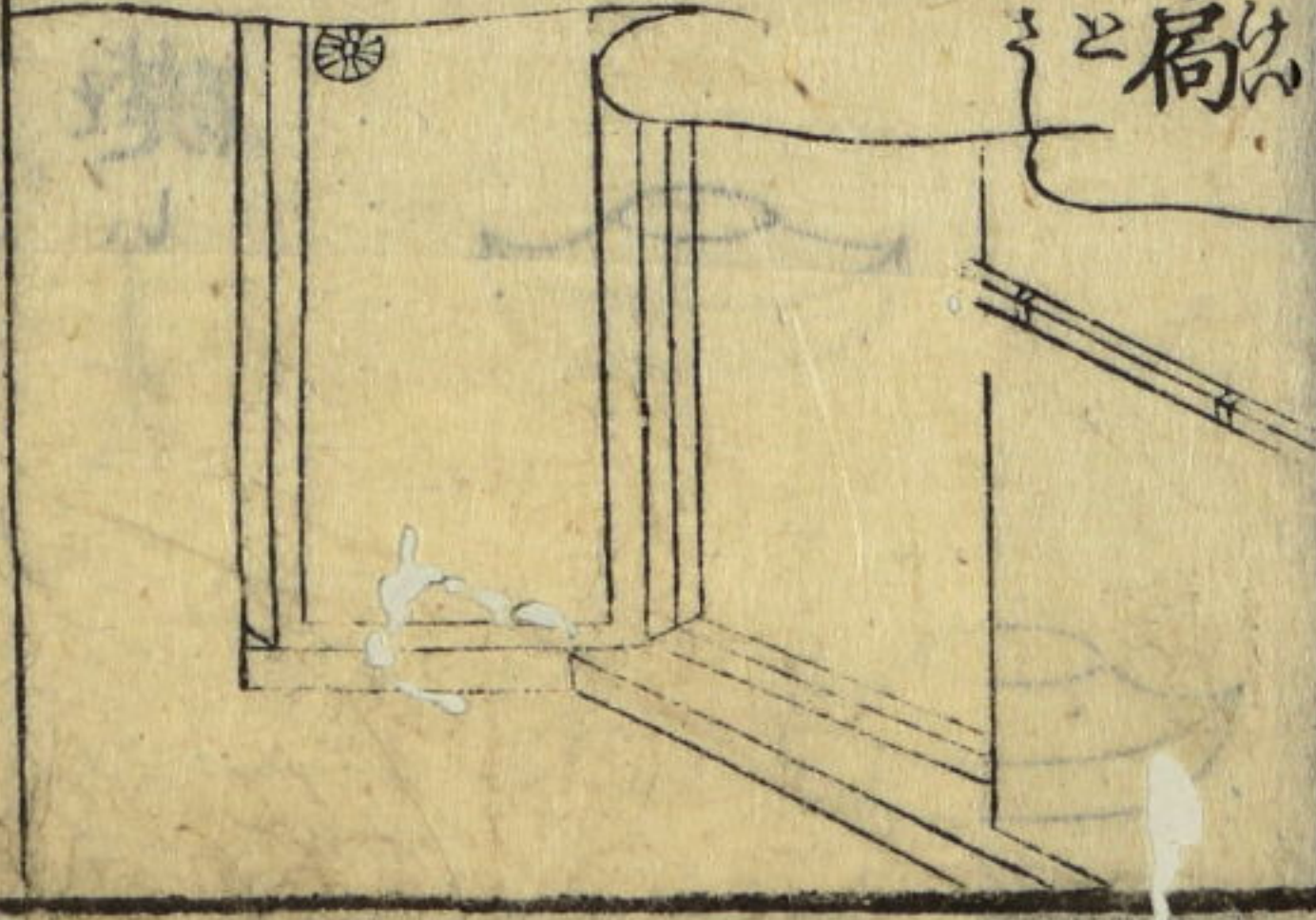
戸 と の び ぐ あり  
 戸 と の び ぐ あり  
 戸 と の び ぐ あり  
 戸 と の び ぐ あり  
 戸 と の び ぐ あり  
 戸 と の び ぐ あり



戸 と



戸 と



戸 と



戸 と

榼けんのき

○榼けんの限かぎ門かど木き  
也なり今いまのきのき  
木きありあり榼けん門かど  
ありあり同どう

榼けんのき

○榼けんのき宇う  
同どうトト達たつ榼けん點てん  
滴たつ如ごと琴こと筑ちく詩し  
にももつつりり又また榼けん  
ののわわめめ榼けんののき  
木きありあり榼けんののき  
ありあり

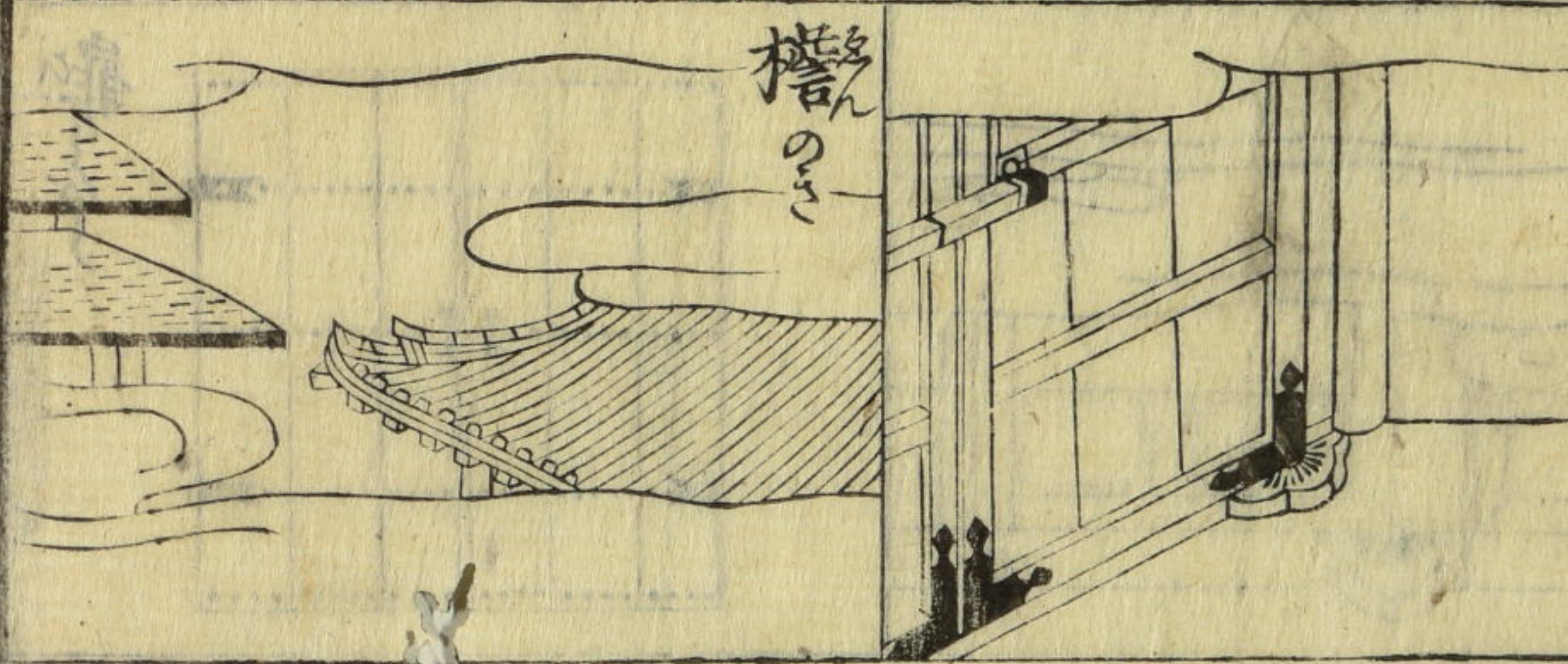
榼けんのき

○榼けんのき階かひ除じゆのの  
木き向むか榼けんのの干かん  
とと榼けんのの榼けんのの榼けん  
榼けんのの榼けんのの榼けん

榼けんのき

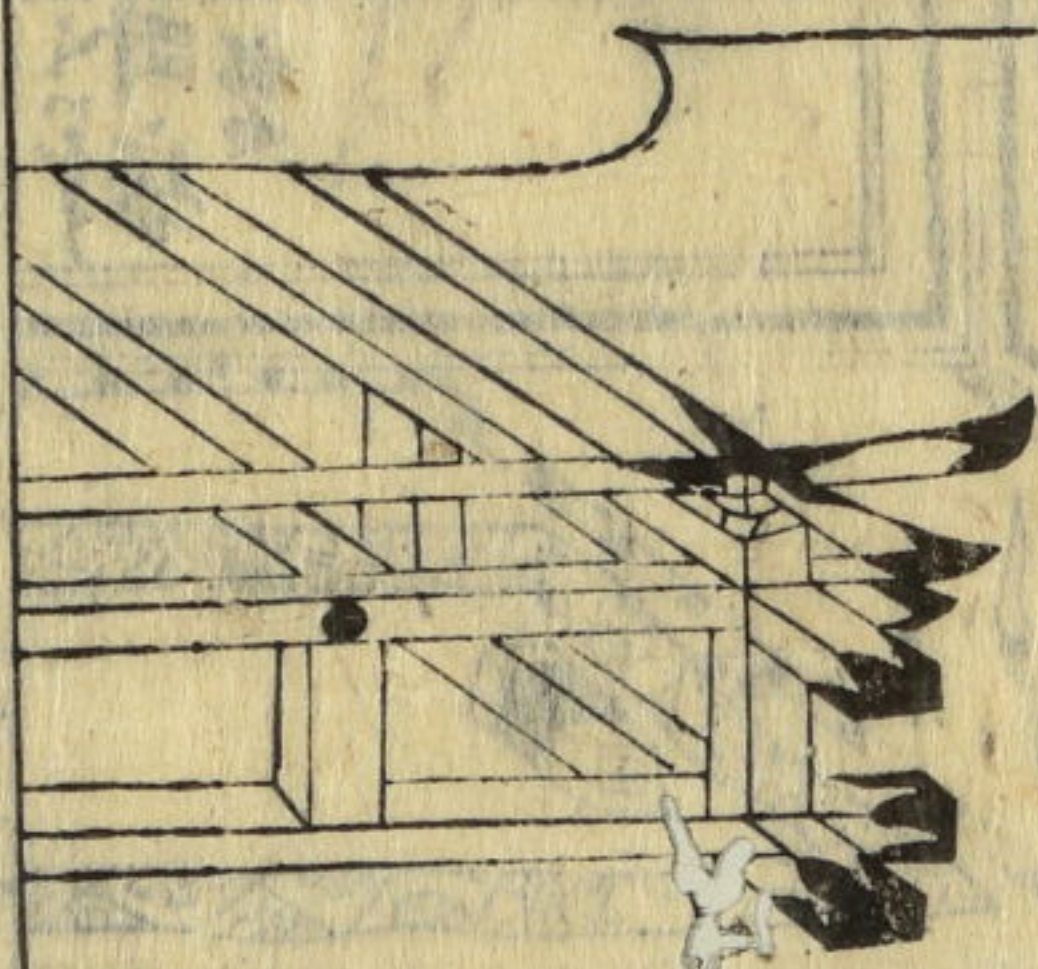
○榼けんのき榼けんのの榼けんのの  
又また榼けんのの榼けんのの  
とと榼けんのの榼けんのの  
わわりり又また榼けんのの  
ららのの榼けんのの  
榼けんのの榼けんのの  
とと榼けんのの榼けんのの  
とと榼けんのの榼けんのの

榼けんのき

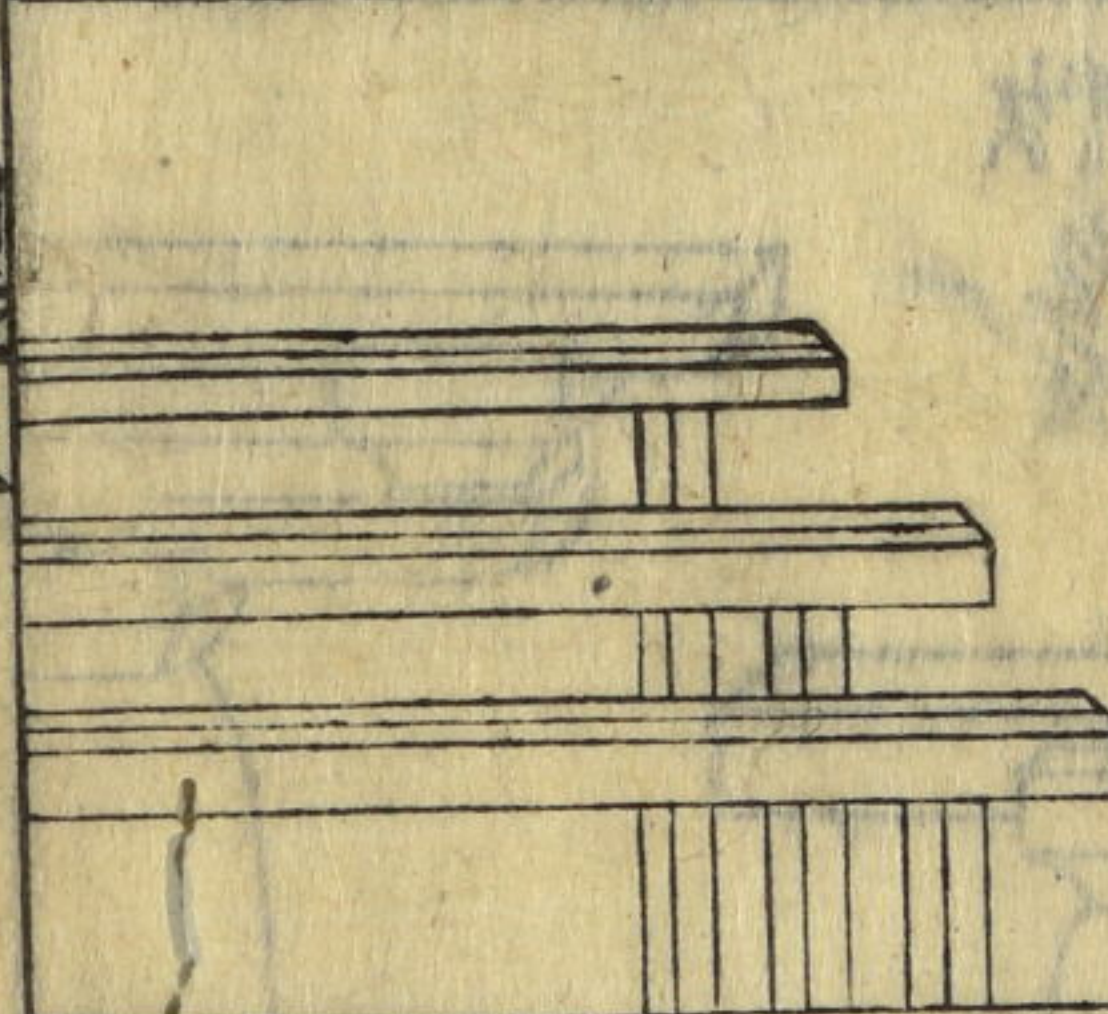


榼けんのき

榼けんのき



榼けんのき



榼けんのき

榼けんのきのの榼けんのの  
榼けんのの榼けんのの  
わわりりのの榼けんのの  
とと榼けんのの榼けんのの  
榼けんのの榼けんのの  
榼けんのの榼けんのの

榼けんのき

○榼けんのきのの榼けんのの  
榼けんのの榼けんのの  
榼けんのの榼けんのの  
榼けんのの榼けんのの  
榼けんのの榼けんのの  
榼けんのの榼けんのの

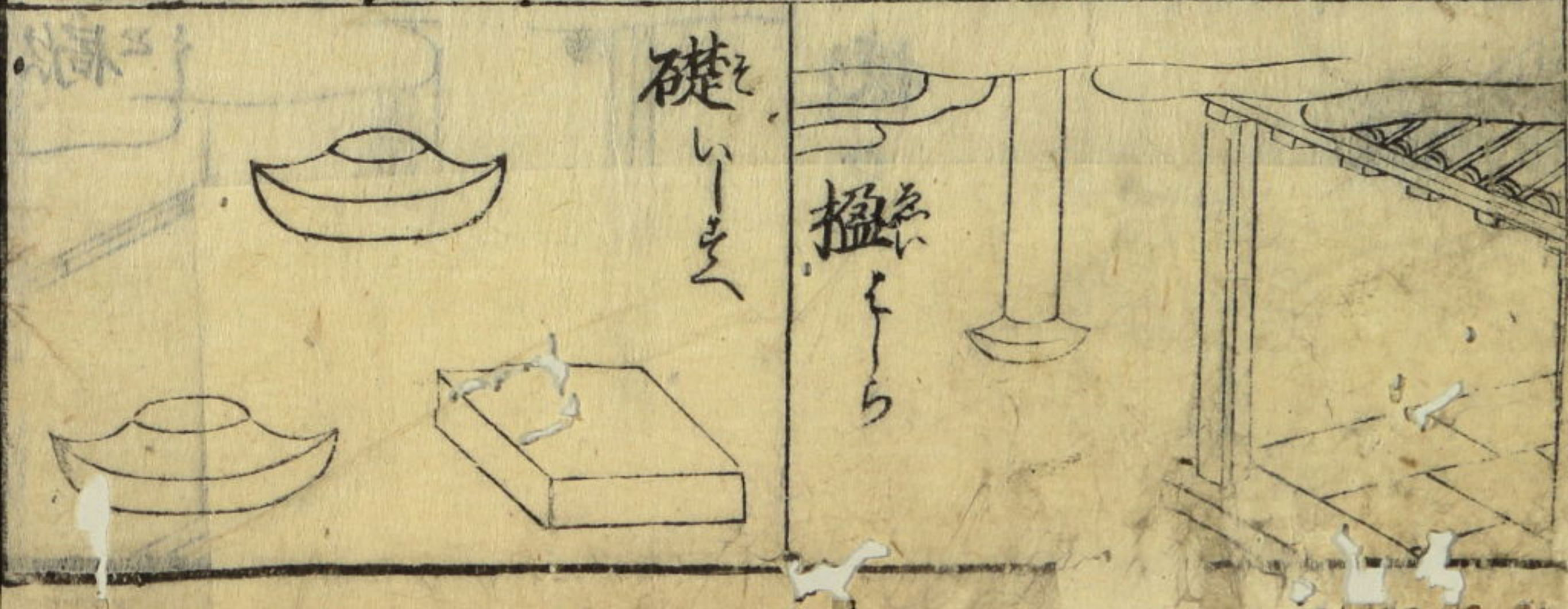
榼けんのき

○榼けんのきのの榼けんのの  
榼けんのの榼けんのの  
榼けんのの榼けんのの  
榼けんのの榼けんのの  
榼けんのの榼けんのの  
榼けんのの榼けんのの

榼けんのき

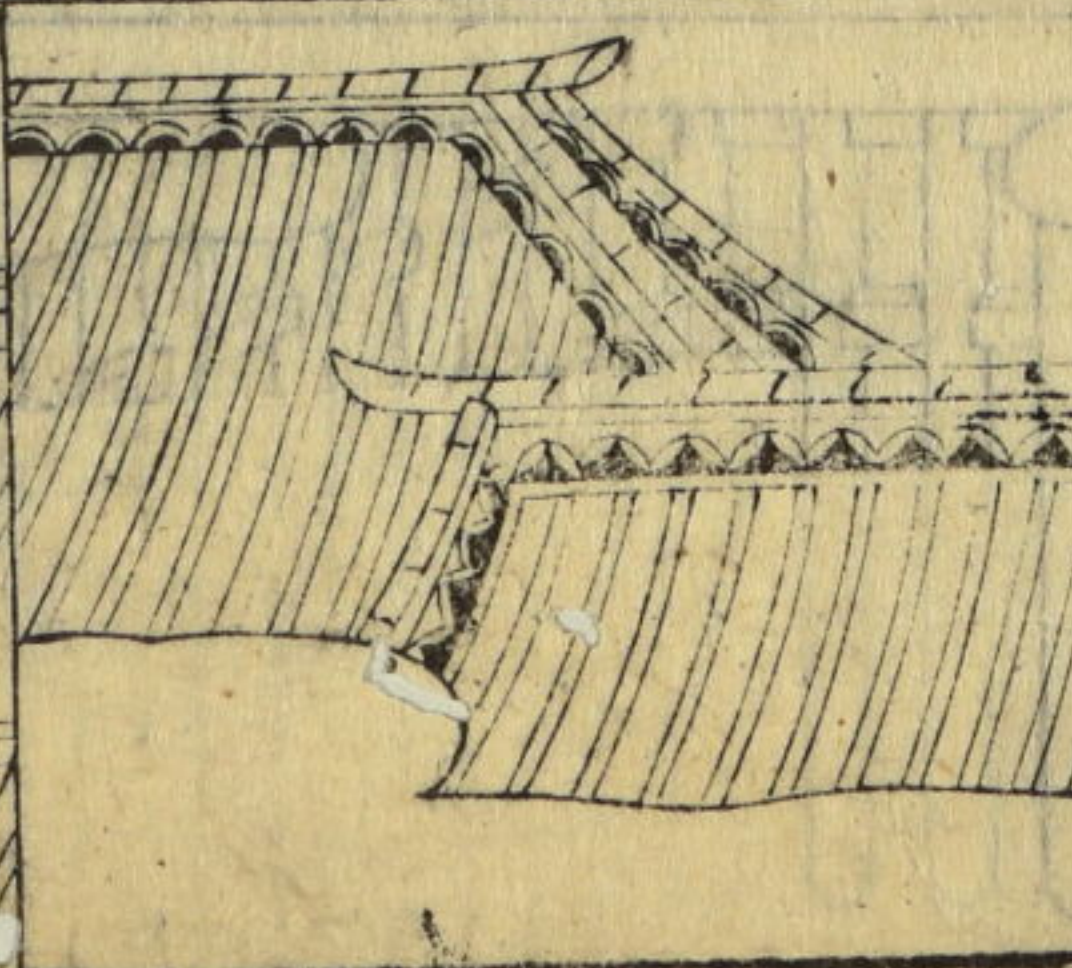
○榼けんのきのの榼けんのの  
榼けんのの榼けんのの  
榼けんのの榼けんのの  
榼けんのの榼けんのの  
榼けんのの榼けんのの  
榼けんのの榼けんのの

榼けんのき

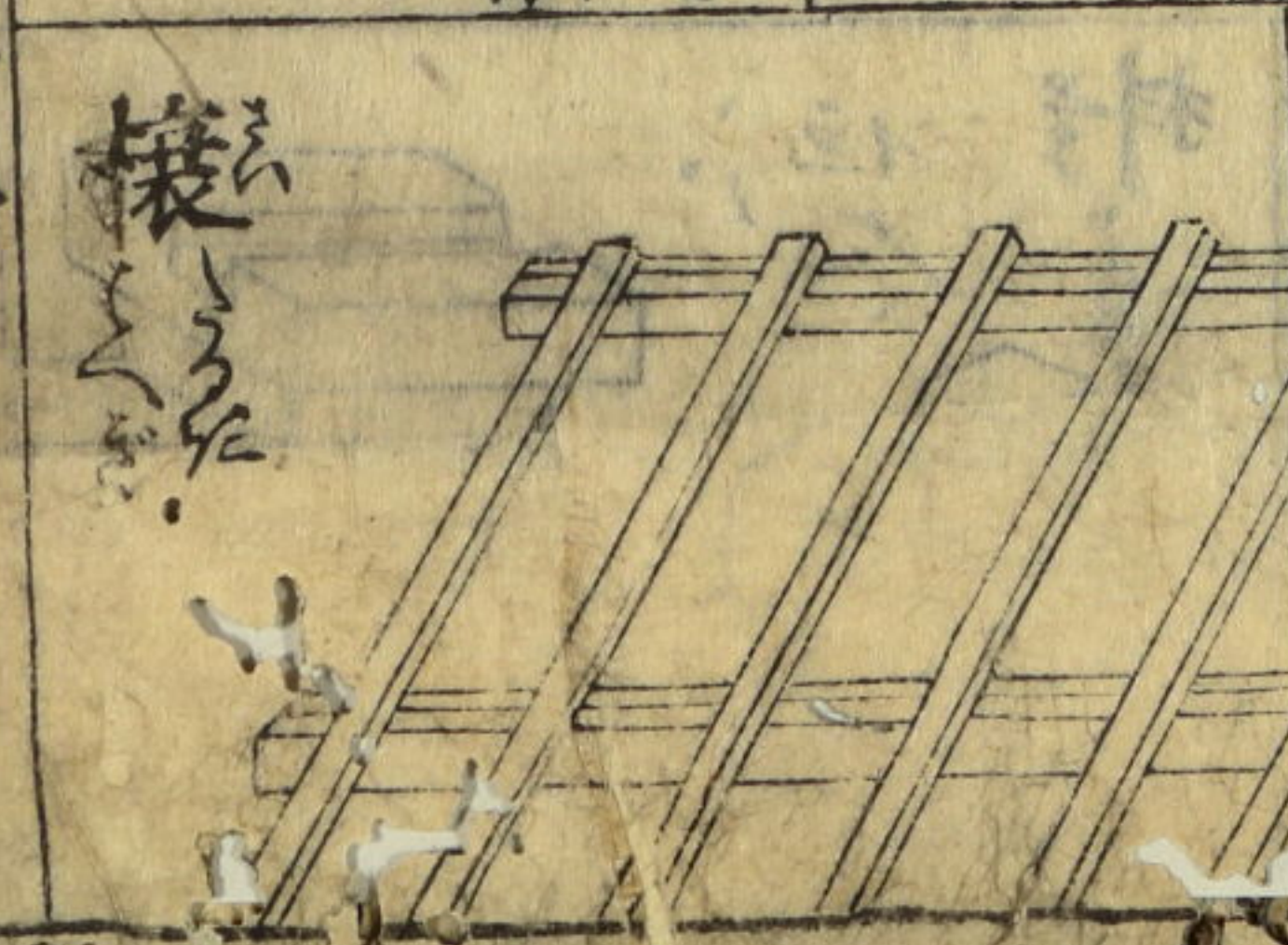


榼けんのき

榼けんのき



榼けんのき

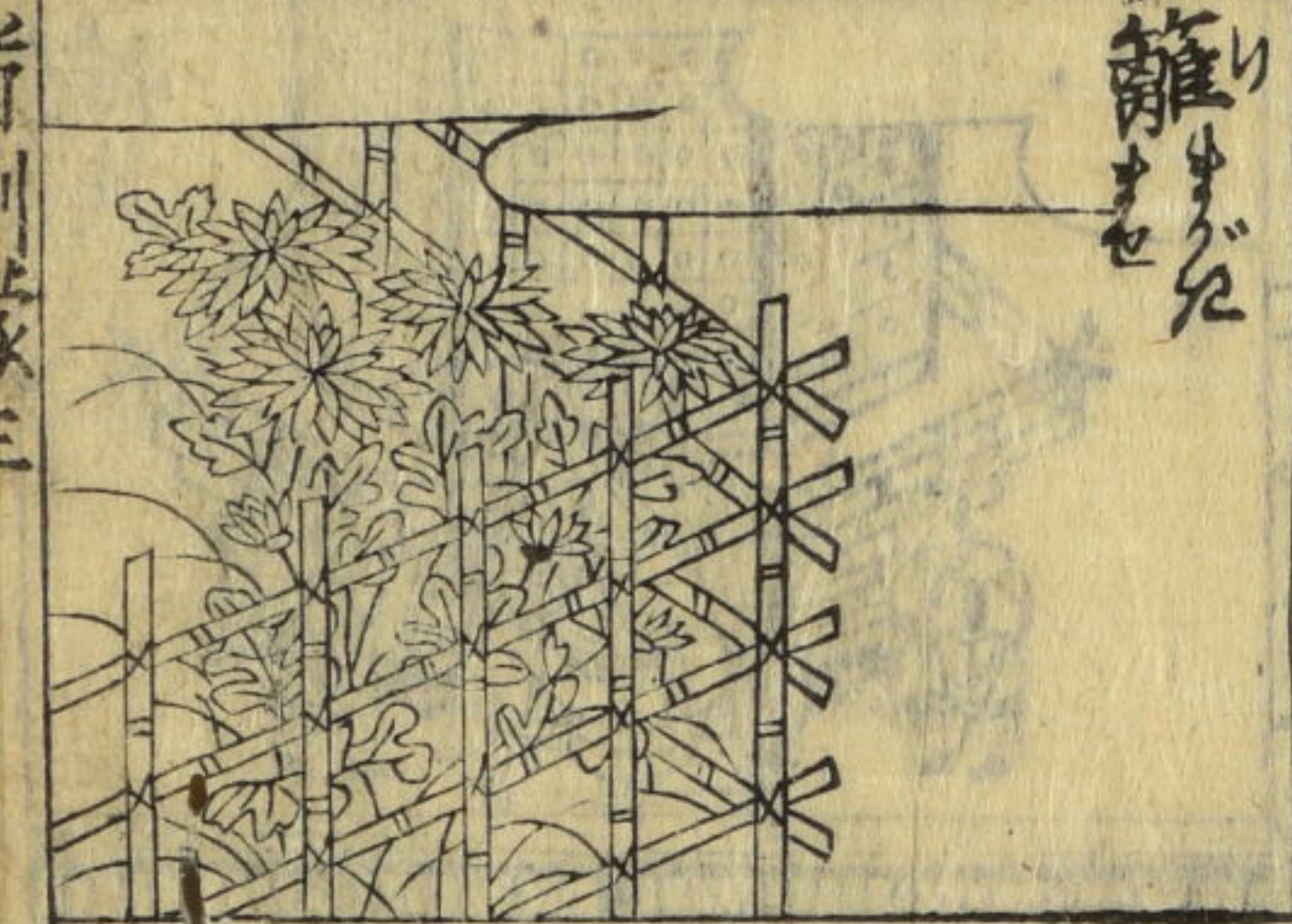
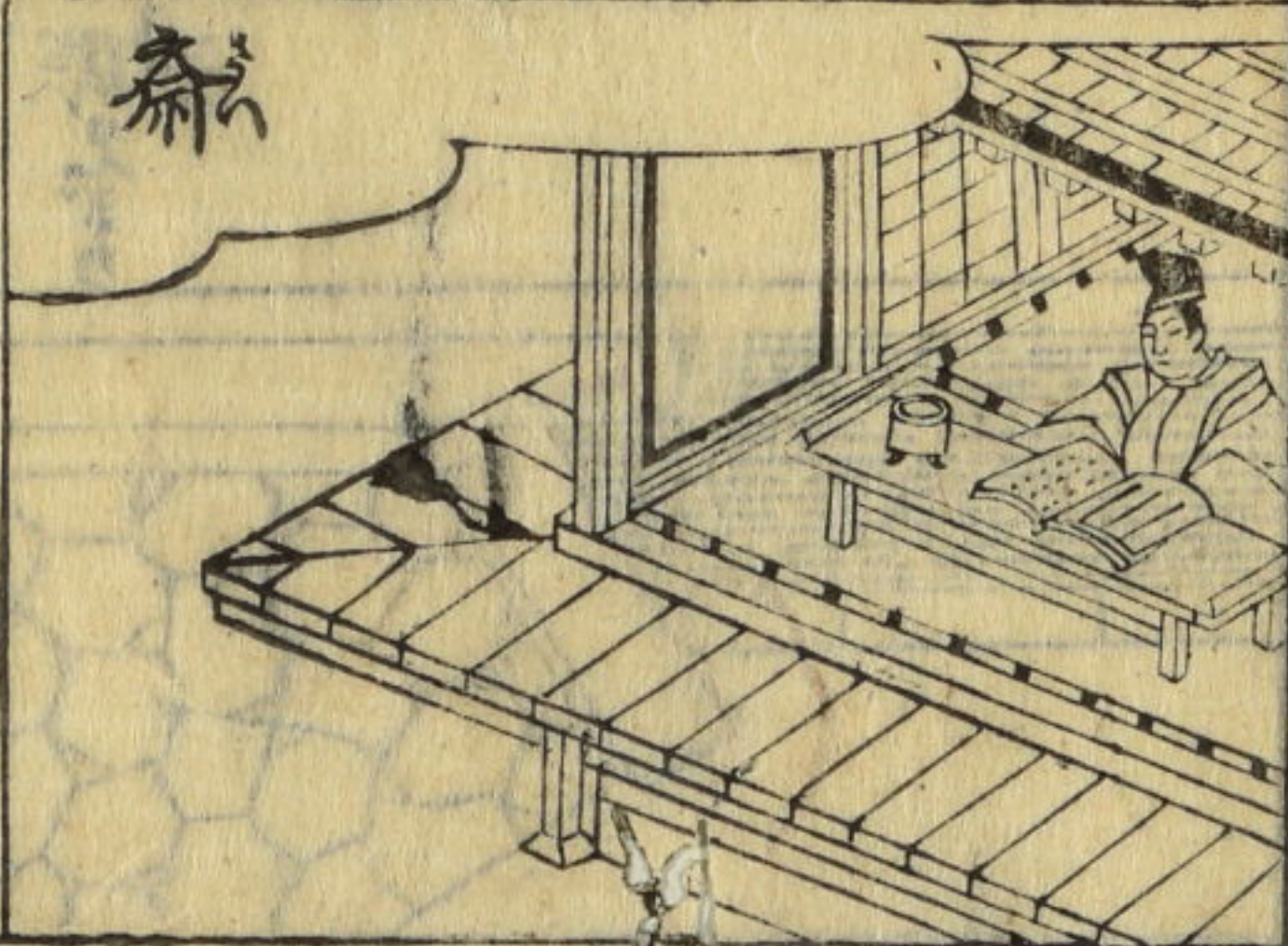
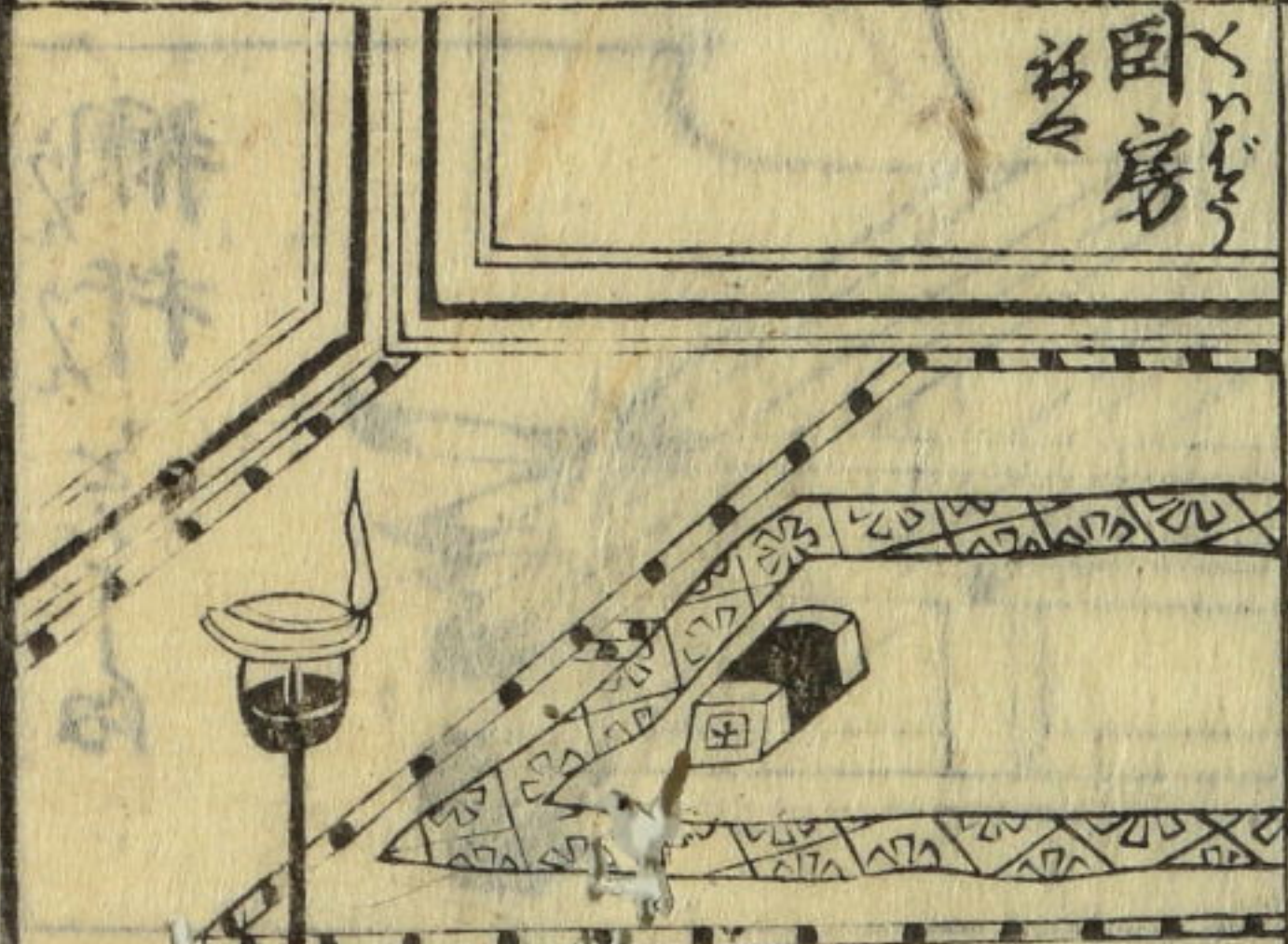
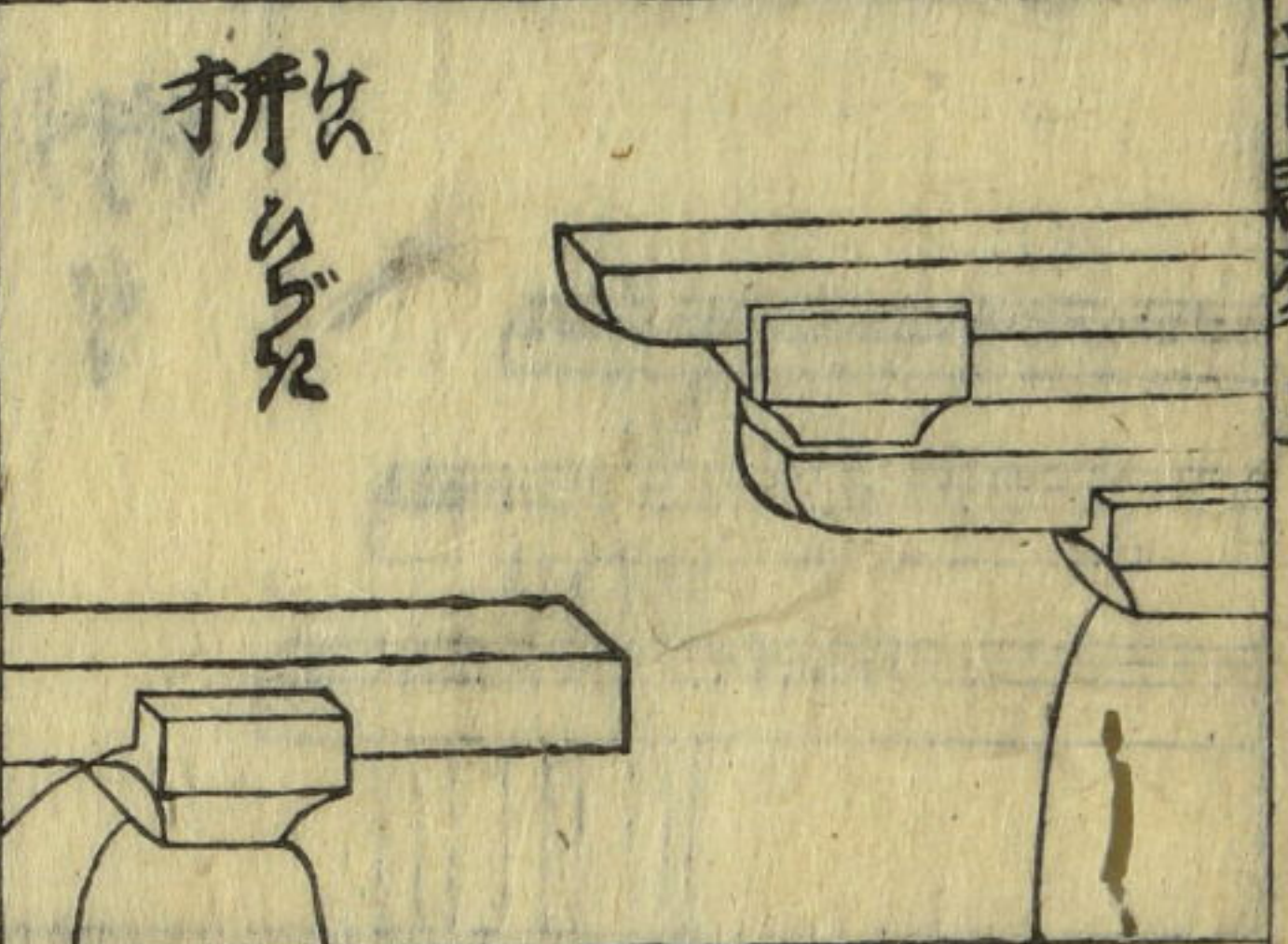


柵  
いんがらあり  
骨木と檜木  
雲ごことり付  
ふゆは雲骨木  
いん曲柵と柵  
とを樂とてふ  
柵ごのり木

柵  
○臥房の柵室  
とを又閨房  
とを天子の  
御寢所と夜  
敷とてふ

柵  
○齋の柵心と  
洗と齋とを  
文所との文燕  
唇の文あり字  
文とを人齋号  
と付とて字  
文所の号とて  
あり

柵  
○籬へ竹にてあ  
るるるん藩  
芭とん同  
陶淵明の詩よ  
採菊東籬下  
悠然對南山

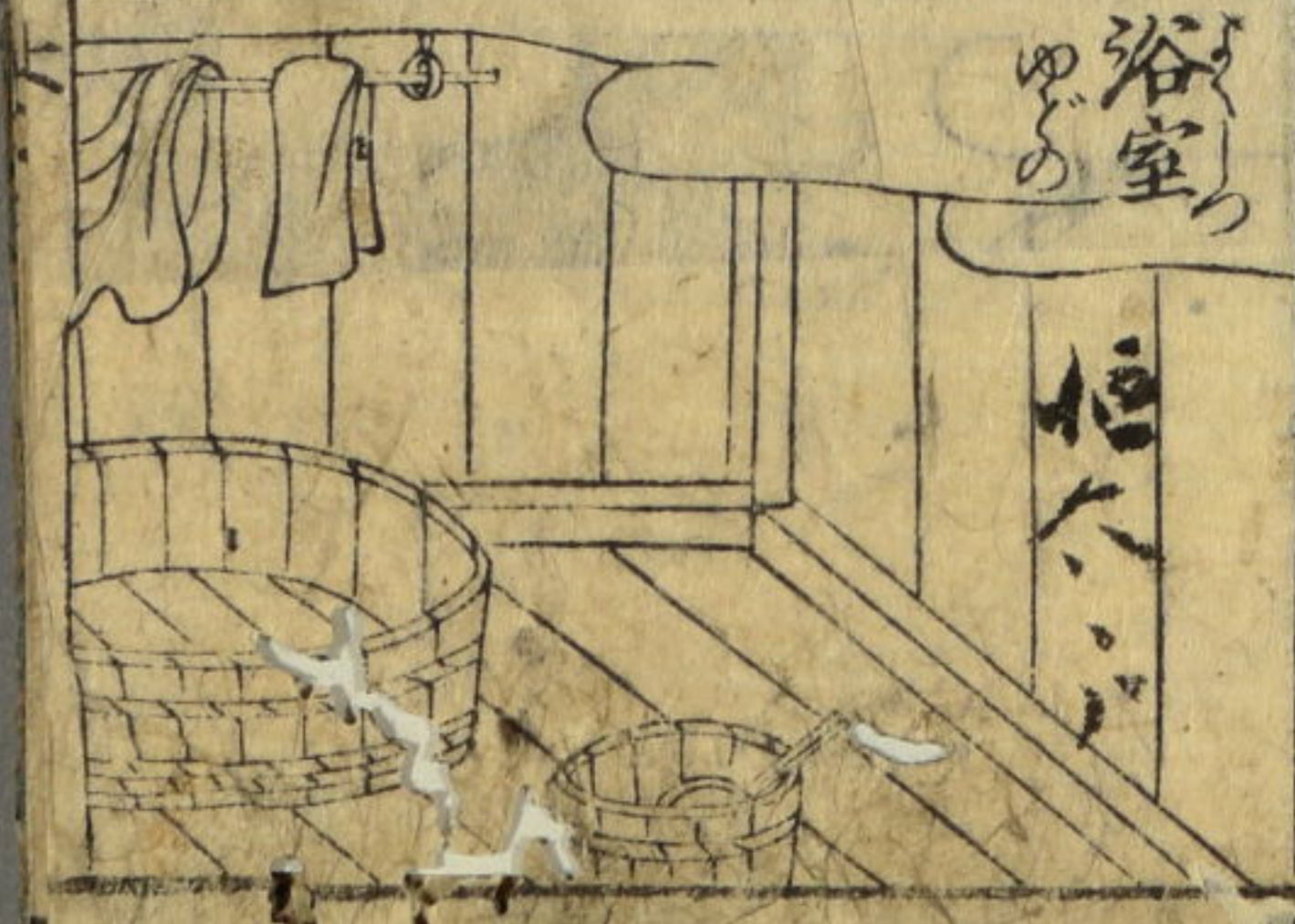
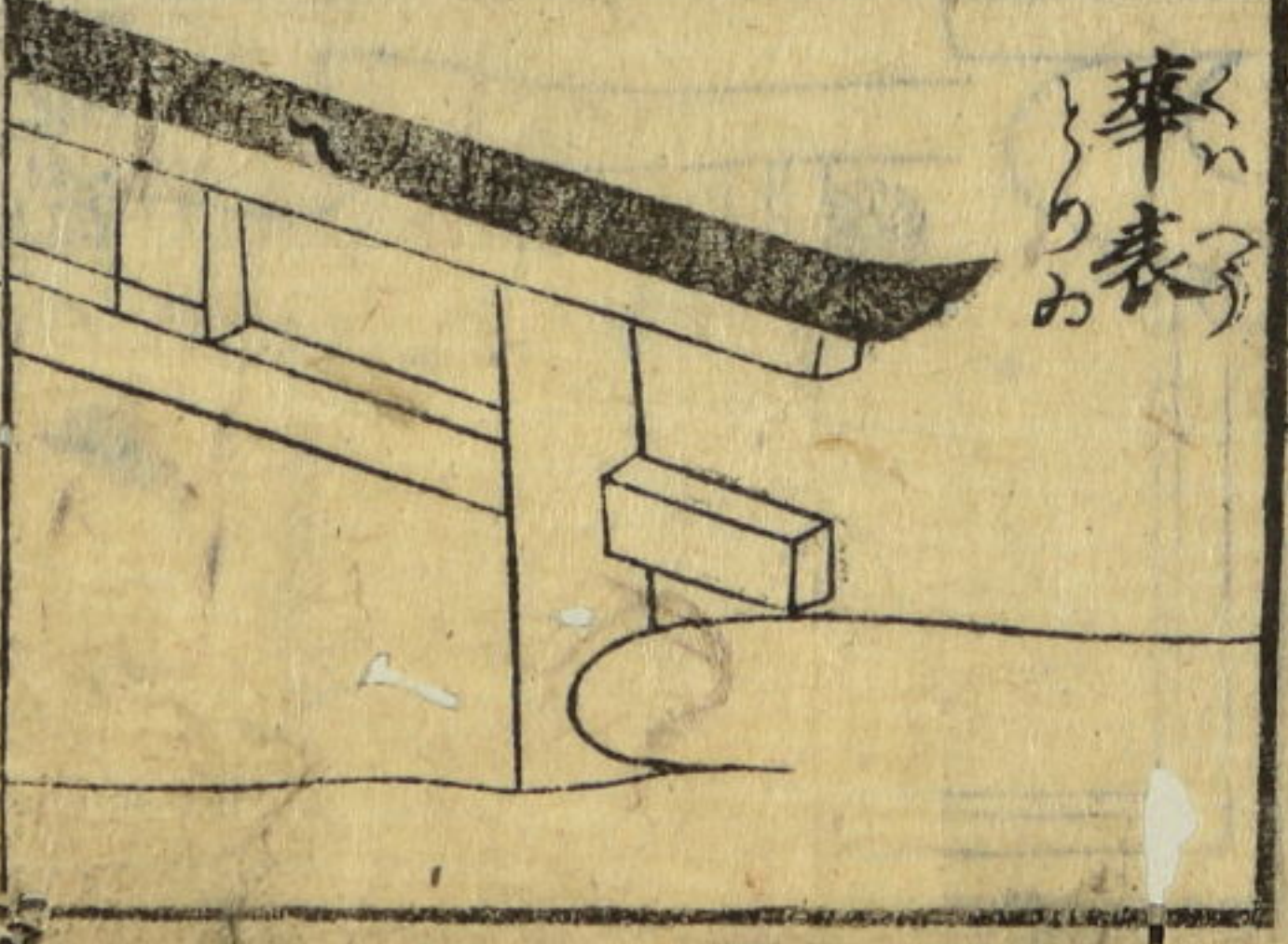
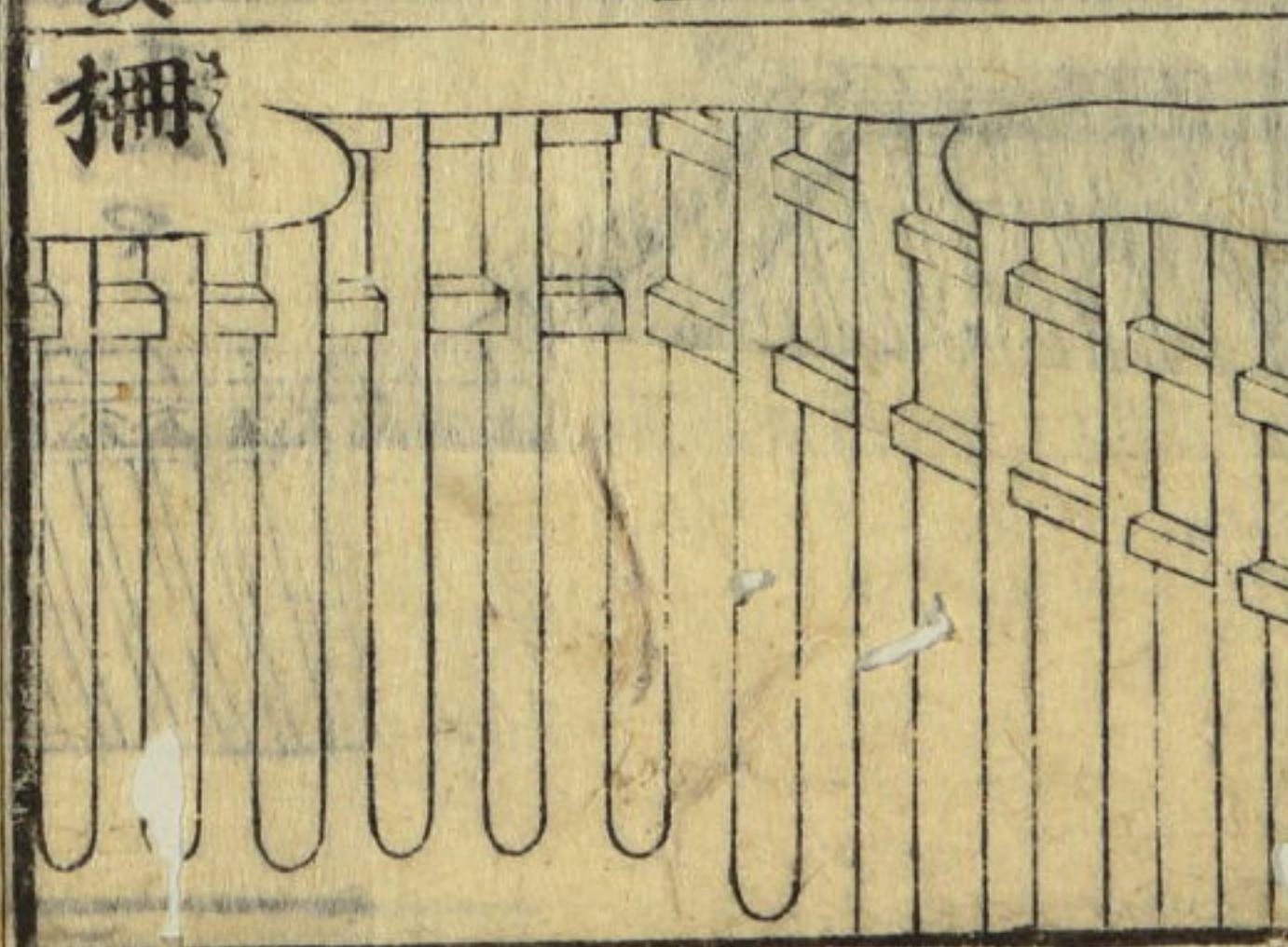
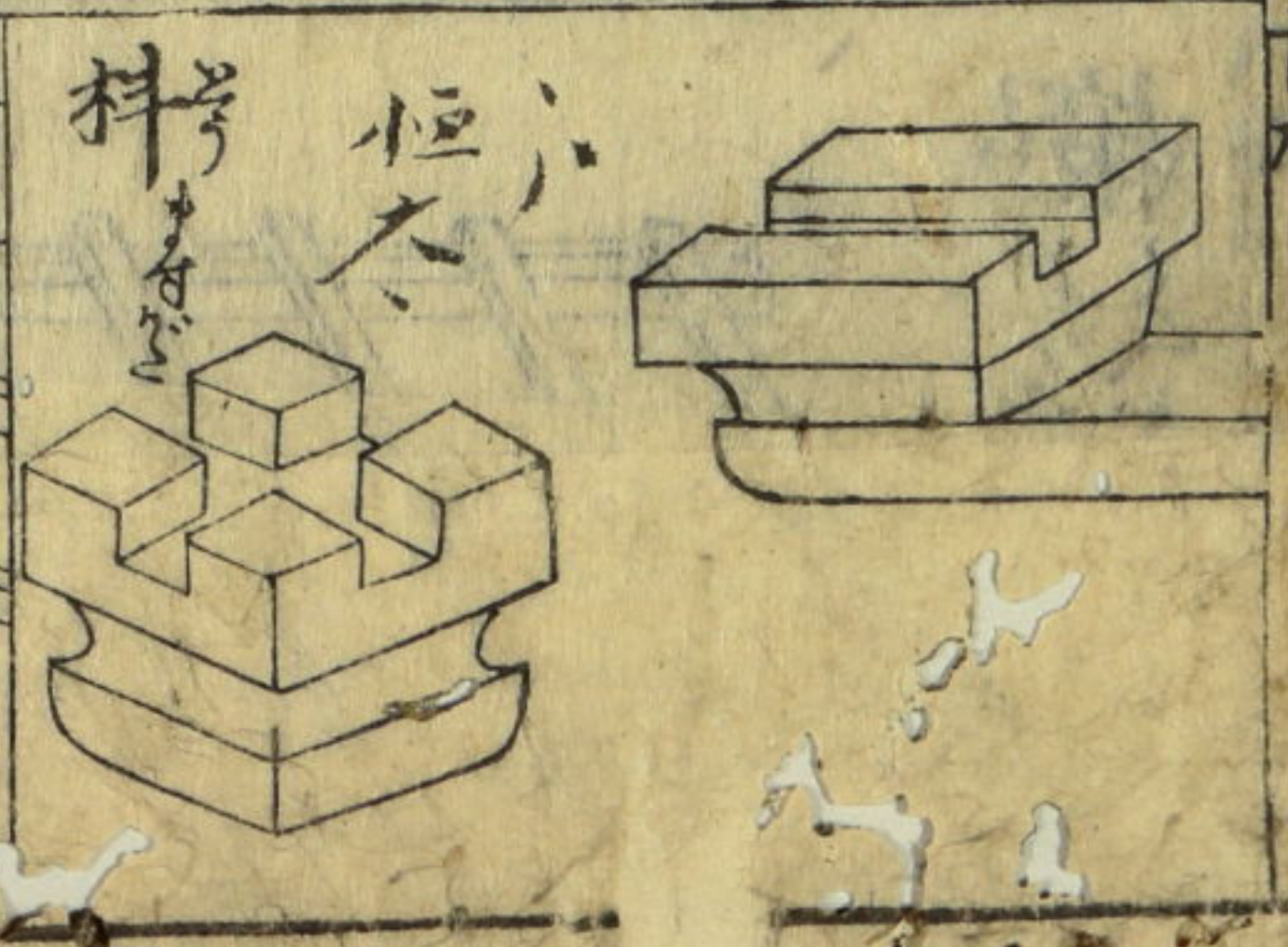


柵  
柵のよの四  
筋の柵あり  
柵柵柵柵  
柵柵柵柵  
柵柵柵柵

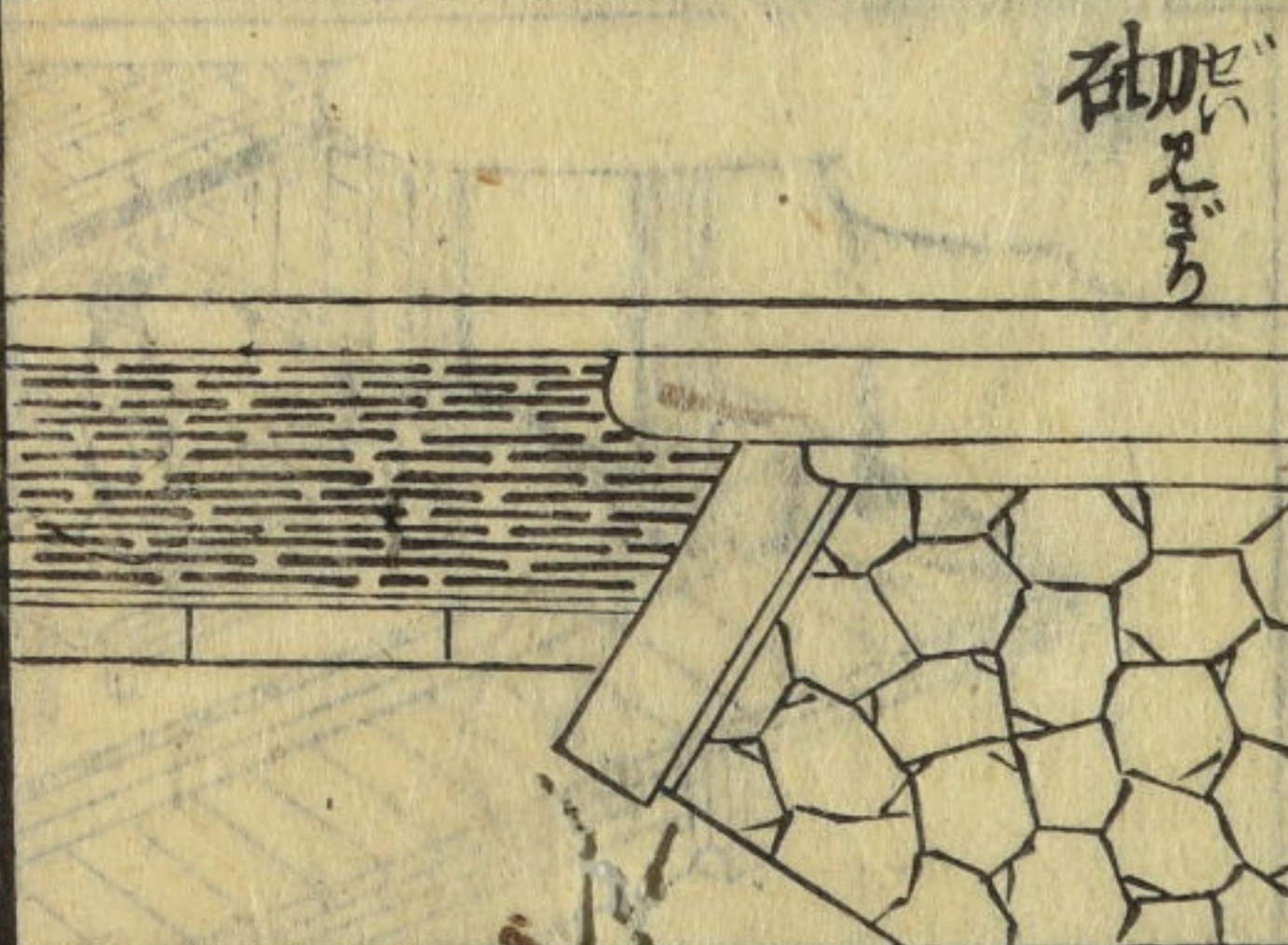
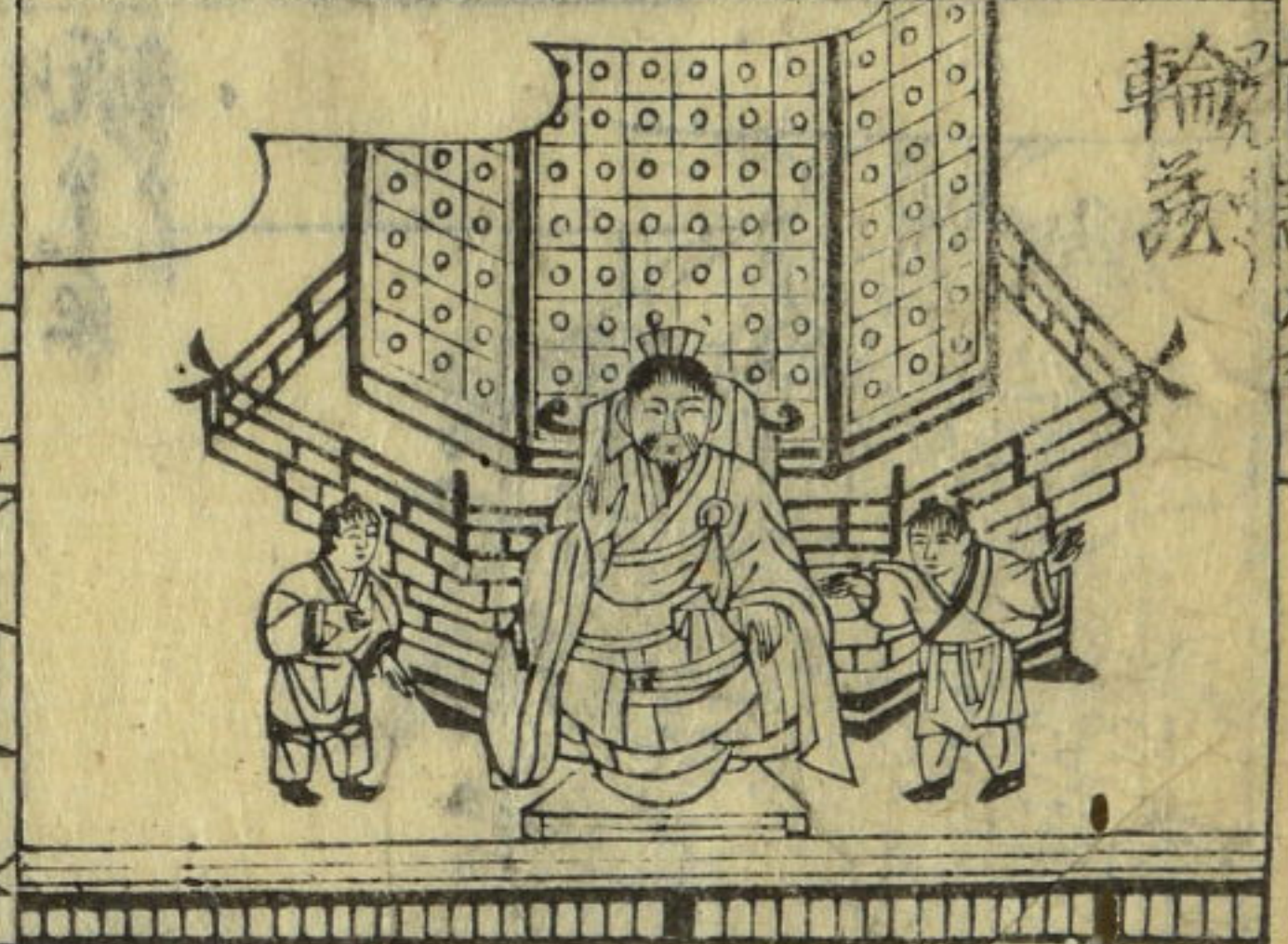
柵  
○柵の柵とて  
てとてとて  
軍陣に人馬と  
同とての柵  
柵柵柵柵  
柵柵柵柵

柵  
○華表の柵あり  
乃の柵あり  
とてとて柵門  
柵柵柵柵  
柵柵柵柵  
柵柵柵柵

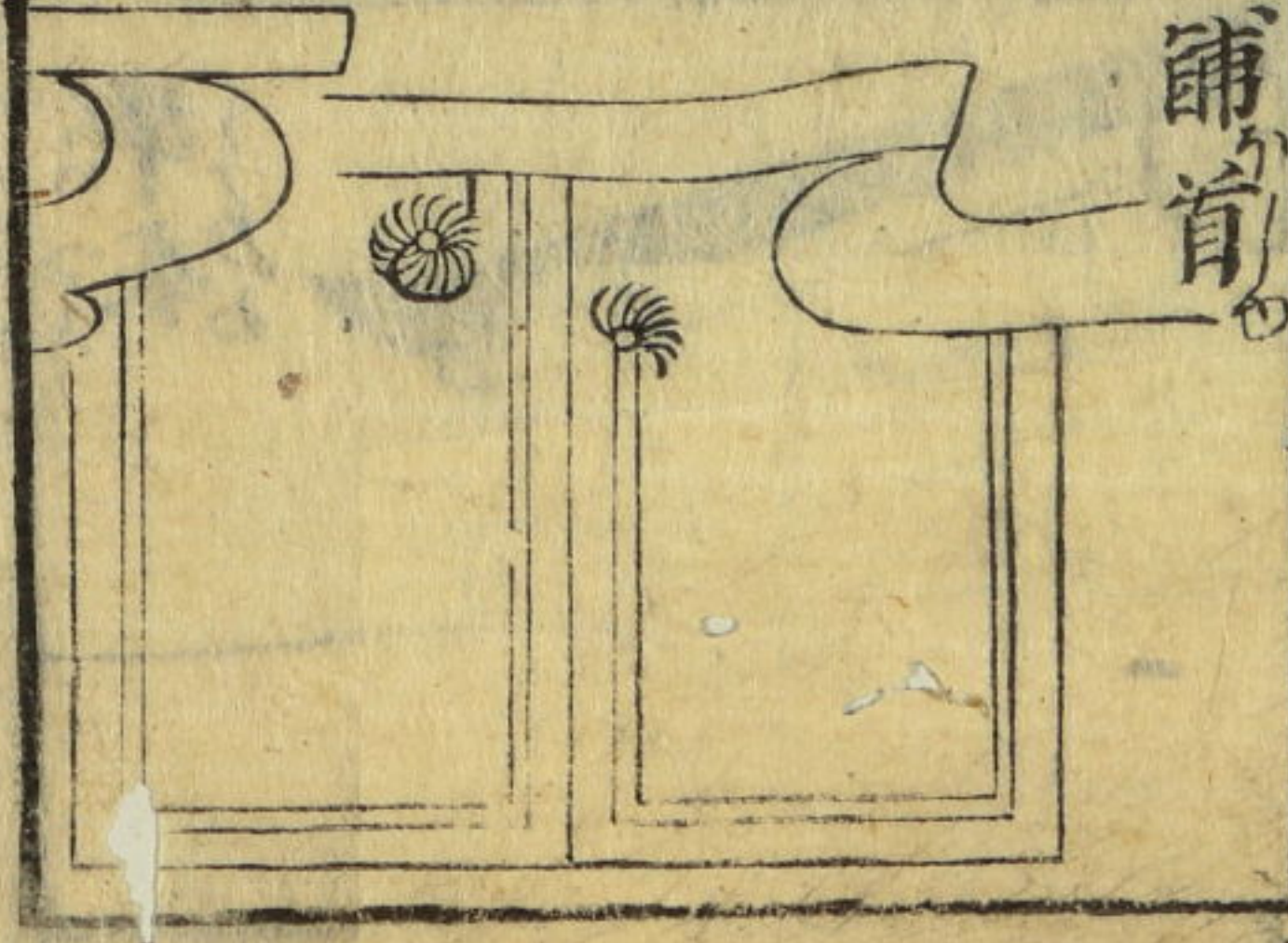
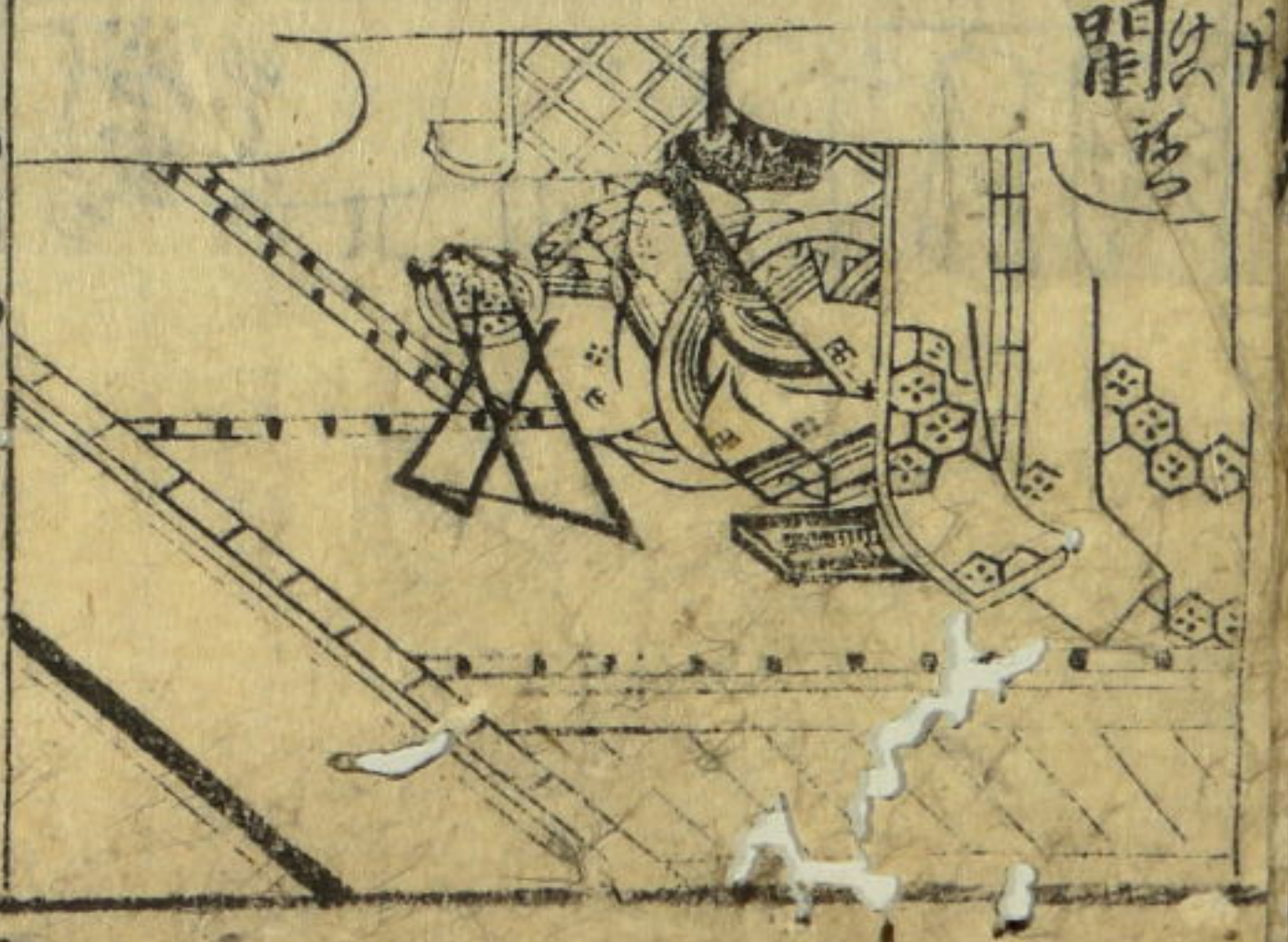
浴室  
○浴室の沐浴  
てとてとて  
俗の湯敷とて  
柵柵柵柵  
柵柵柵柵



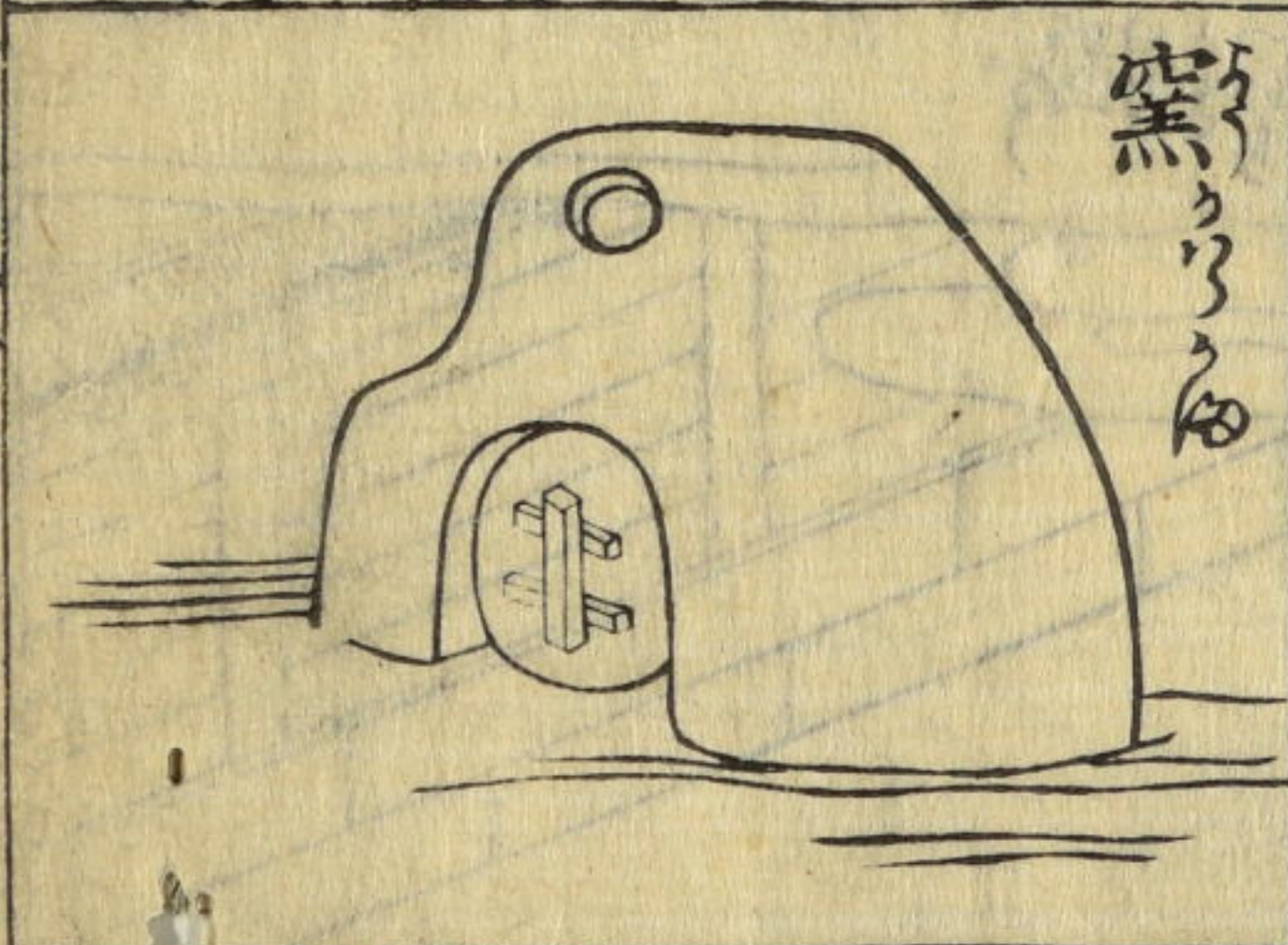
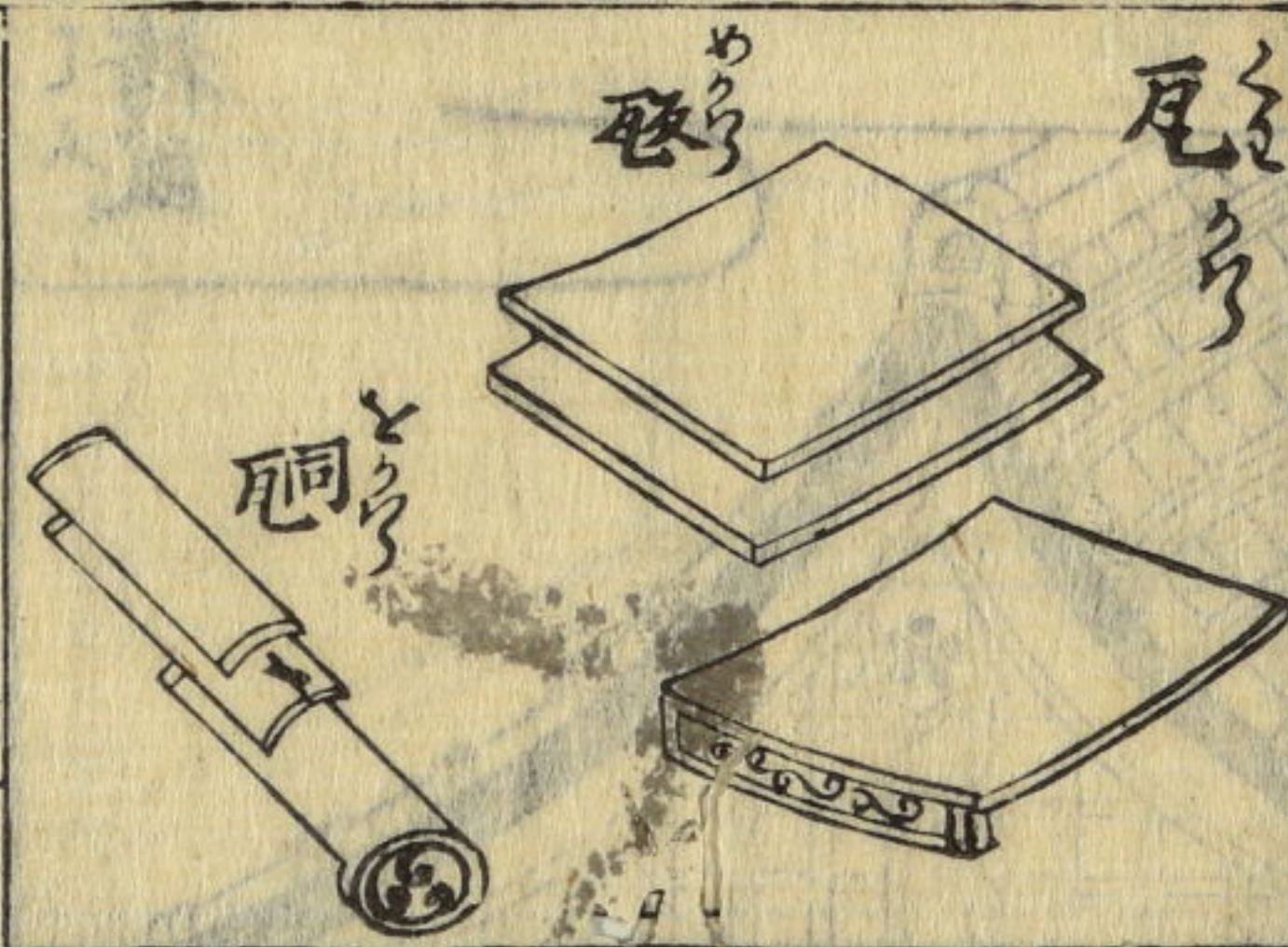
輪藏 輪藏一切経  
 輪藏の一切経は  
 輪藏の一切経は  
 輪藏の一切経は  
 輪藏の一切経は  
 輪藏の一切経は  
 輪藏の一切経は  
 輪藏の一切経は  
 輪藏の一切経は  
 輪藏の一切経は  
 輪藏の一切経は



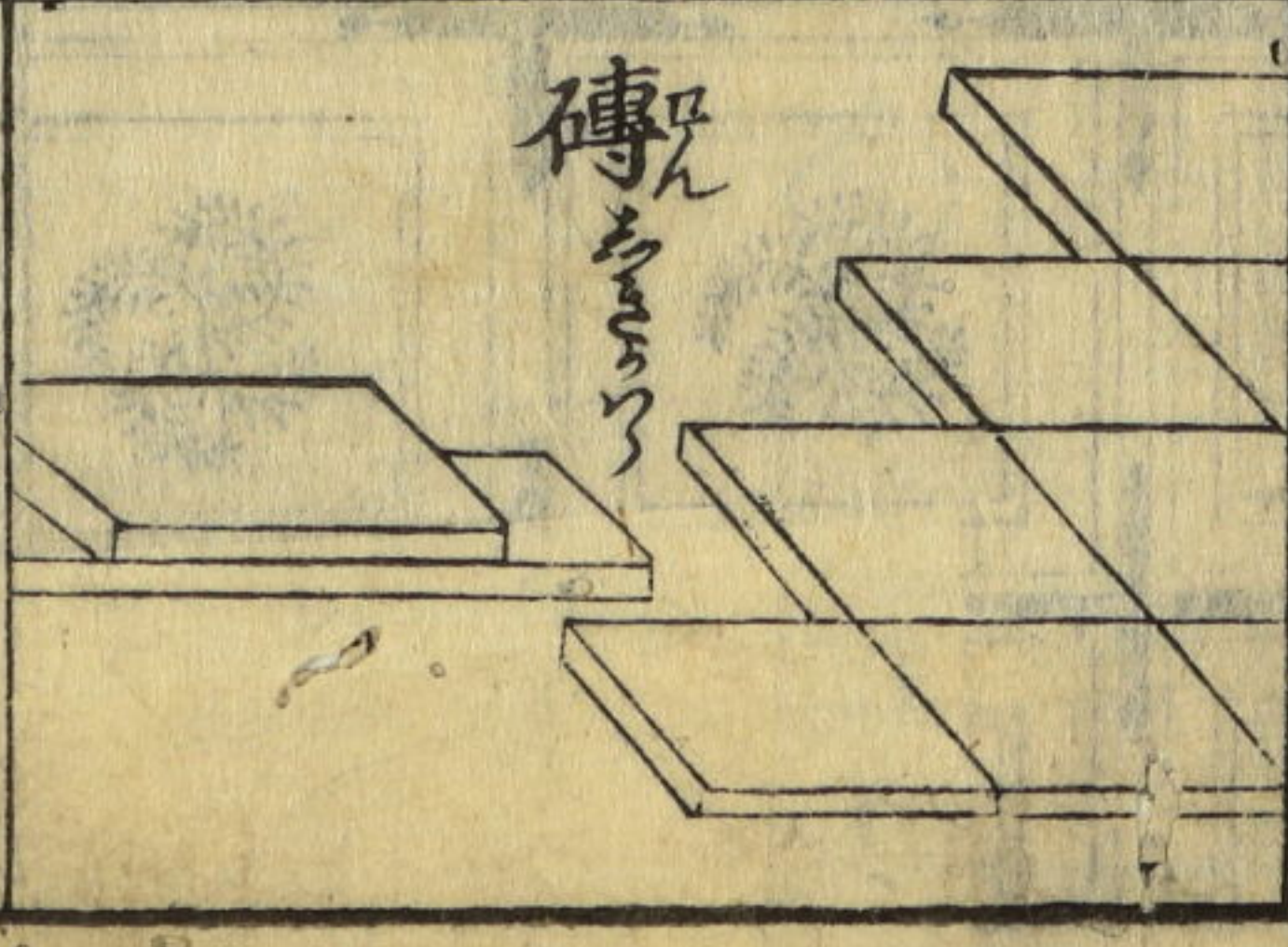
閨後 閨後の禪  
 閨後の禪は  
 閨後の禪は  
 閨後の禪は  
 閨後の禪は  
 閨後の禪は  
 閨後の禪は  
 閨後の禪は  
 閨後の禪は  
 閨後の禪は



瓦 瓦の  
 瓦の  
 瓦の  
 瓦の  
 瓦の  
 瓦の  
 瓦の  
 瓦の  
 瓦の  
 瓦の



磚 磚の  
 磚の  
 磚の  
 磚の  
 磚の  
 磚の  
 磚の  
 磚の  
 磚の  
 磚の



窖 窖の  
 窖の  
 窖の  
 窖の  
 窖の  
 窖の  
 窖の  
 窖の  
 窖の  
 窖の

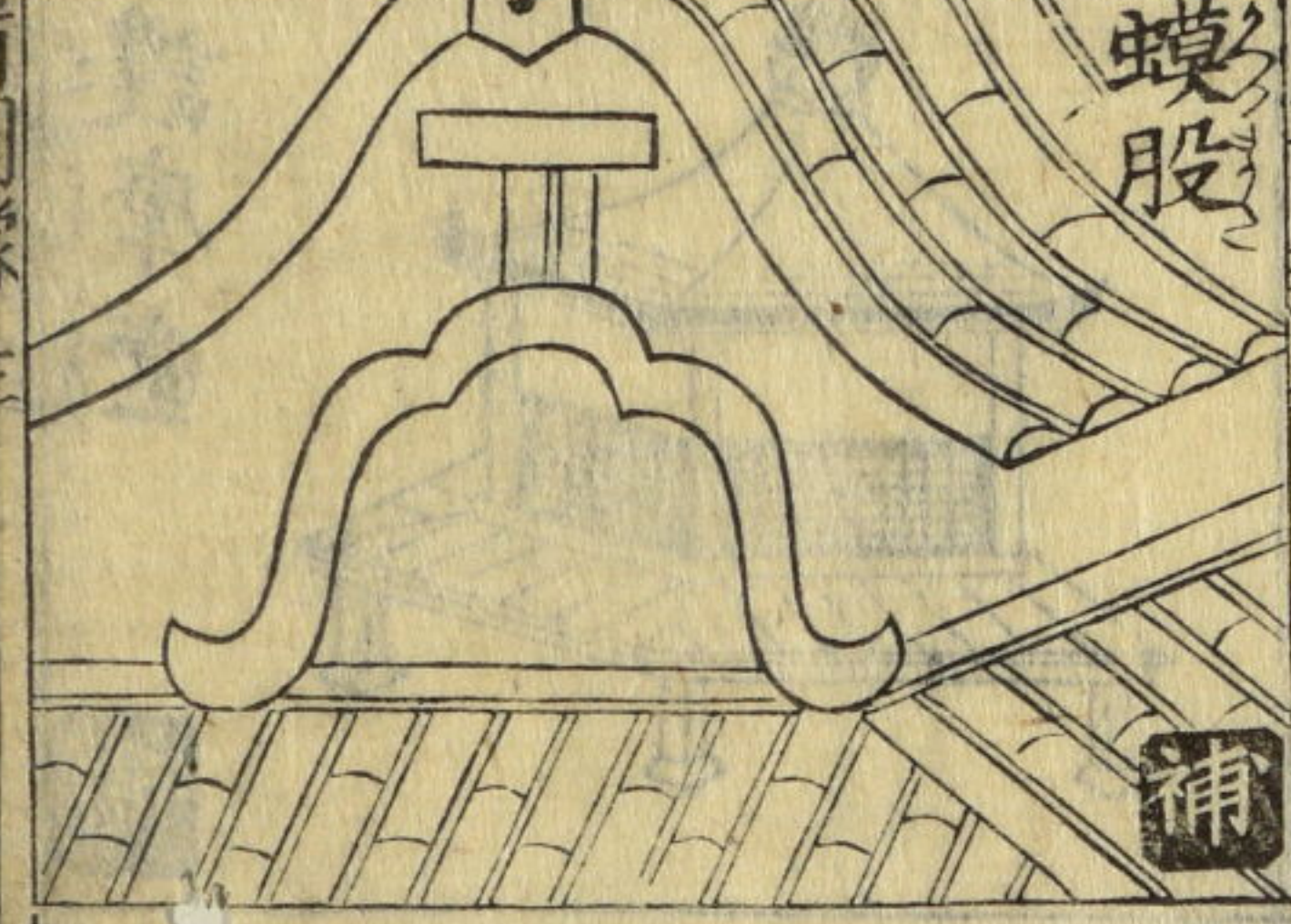
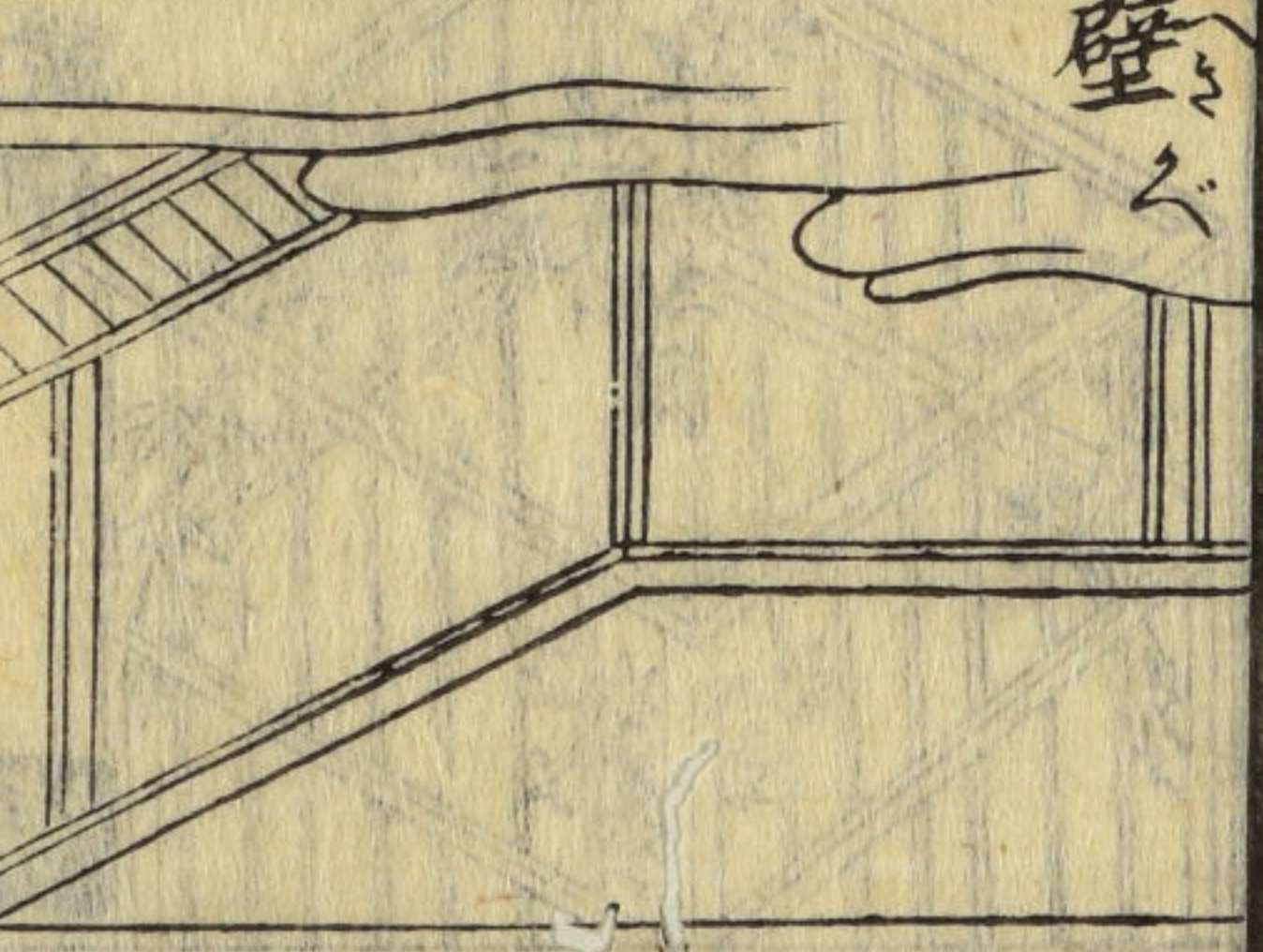
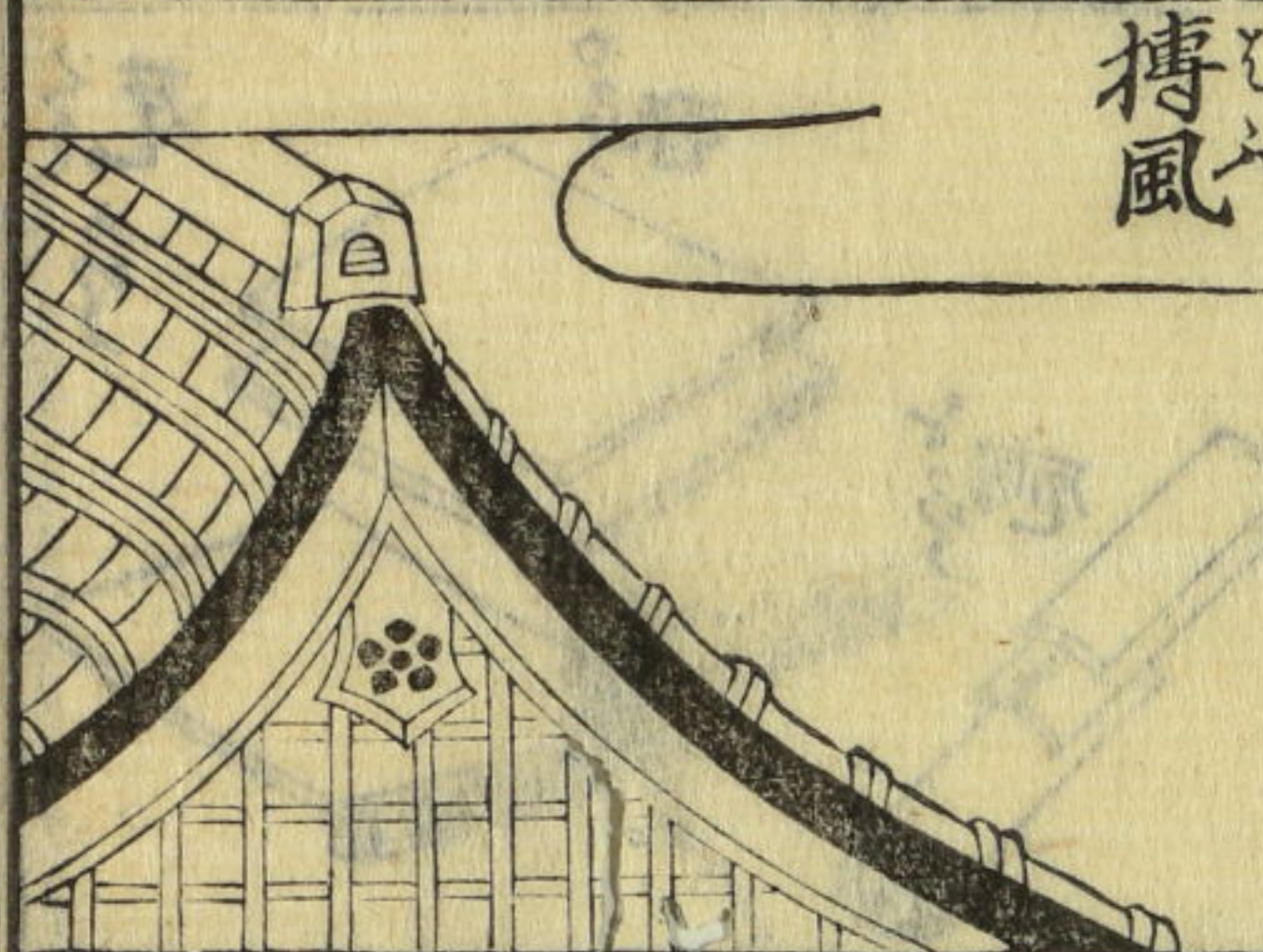
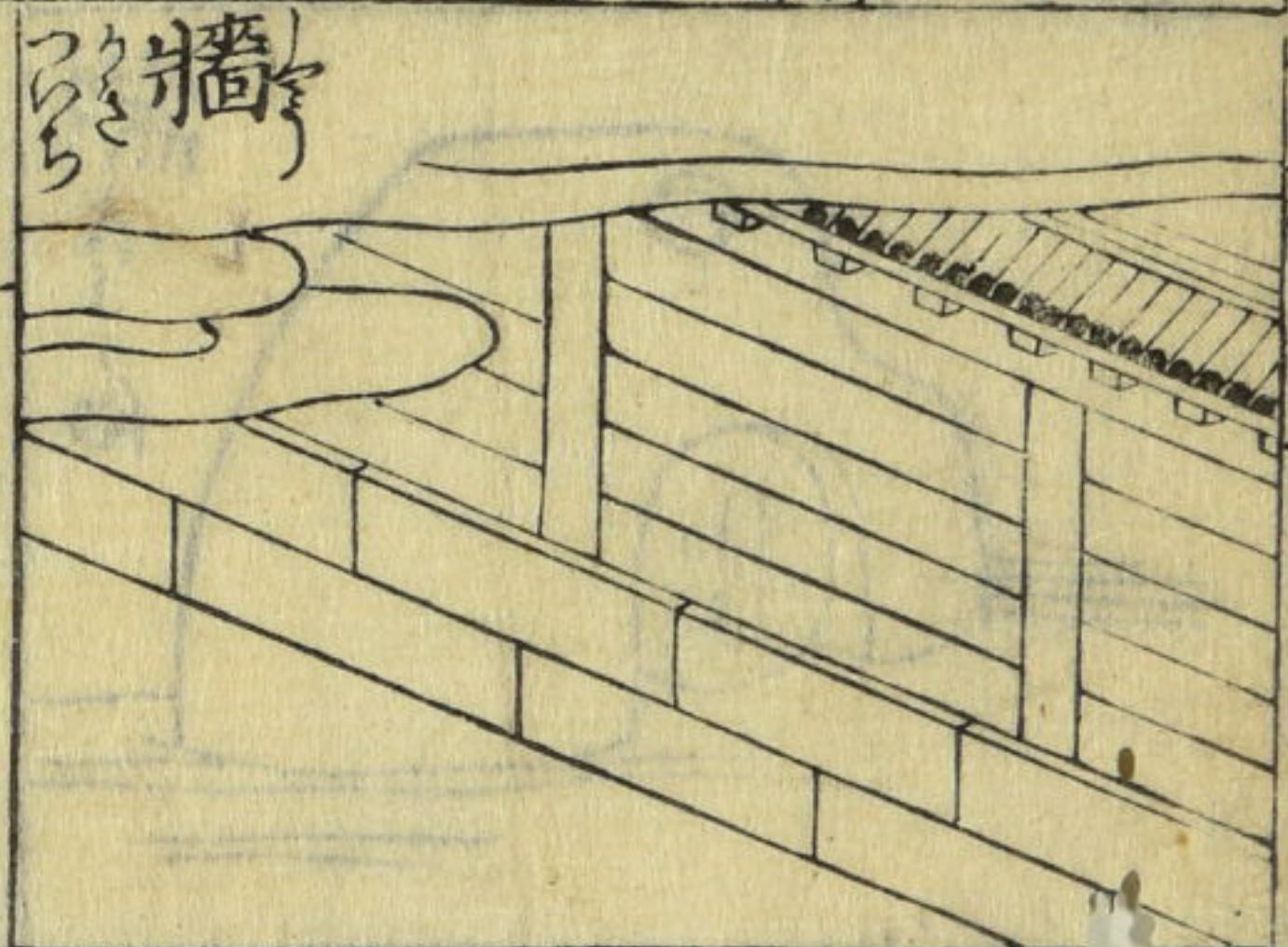


牆の檣垣塙の  
 らへよ同又門屏  
 と蕭牆の蕭  
 が言ハ蕭あり君  
 臣のいまのゆ  
 ろれハ門屏の  
 けらて蕭敬と  
 くらりあり

搏風 搏風  
 搏風の風と搏と  
 搏火災とく  
 搏火災とく  
 搏火災とく  
 搏火災とく  
 搏火災とく  
 搏火災とく

壁 壁  
 壁のくあり城の  
 久と壘とく  
 らくを扮壁と  
 り又畫壁板壁  
 ありあり室の屏  
 蔽あり

蟻股 蟻股  
 蟻股の搏風の  
 けあり蟻の股  
 あれと蟻の水  
 けれをいとも  
 火災とく  
 火災とく  
 火災とく

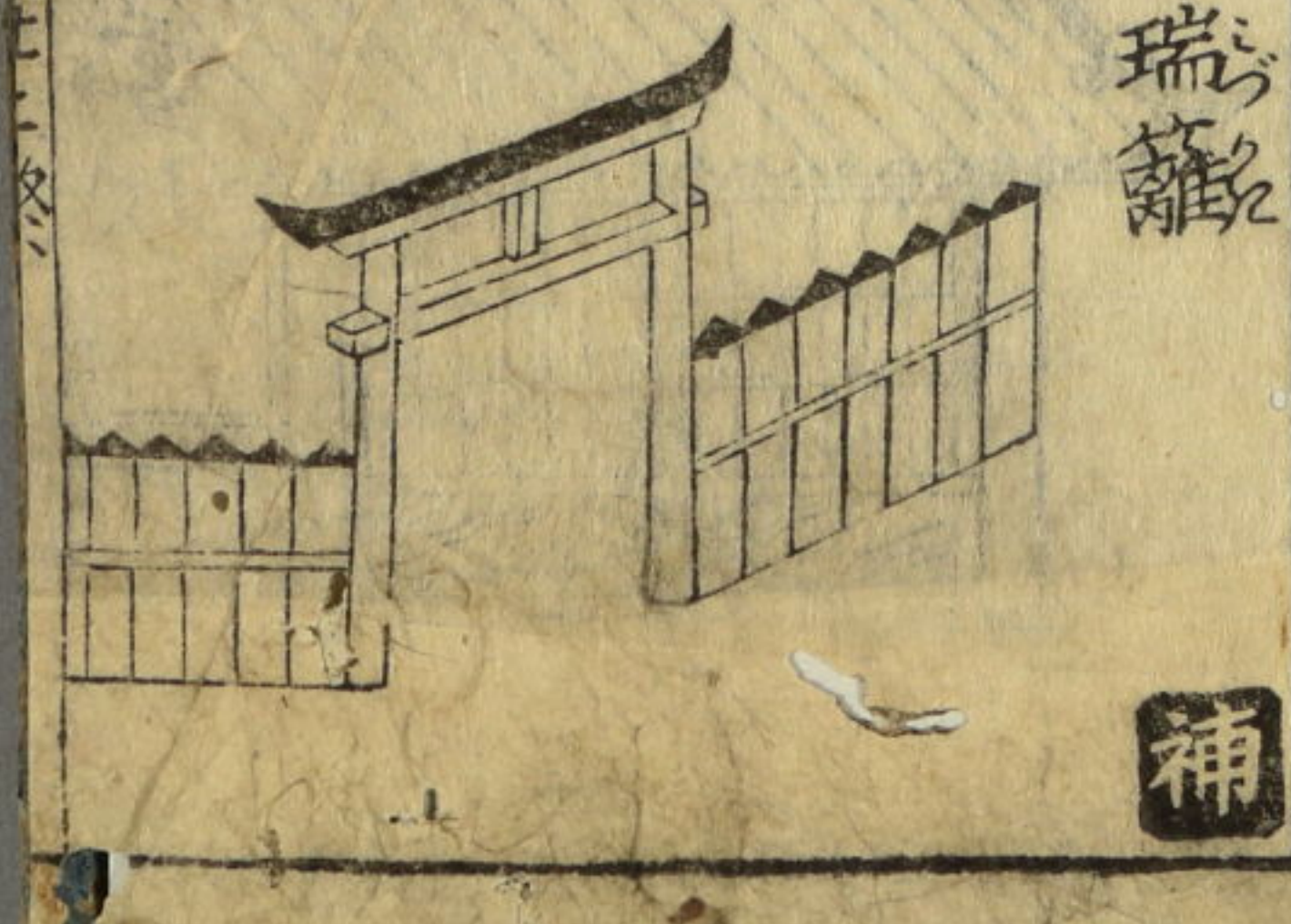
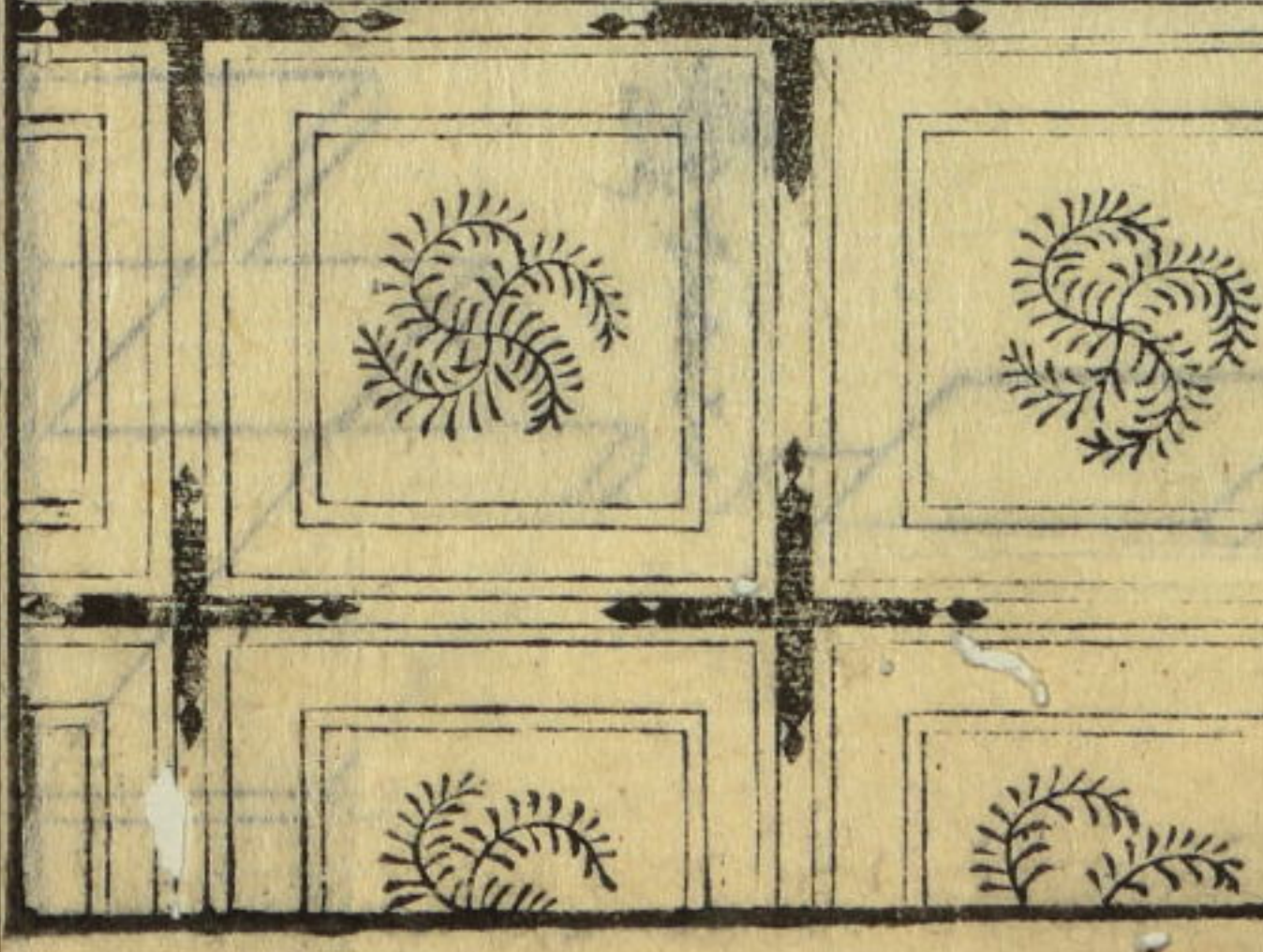
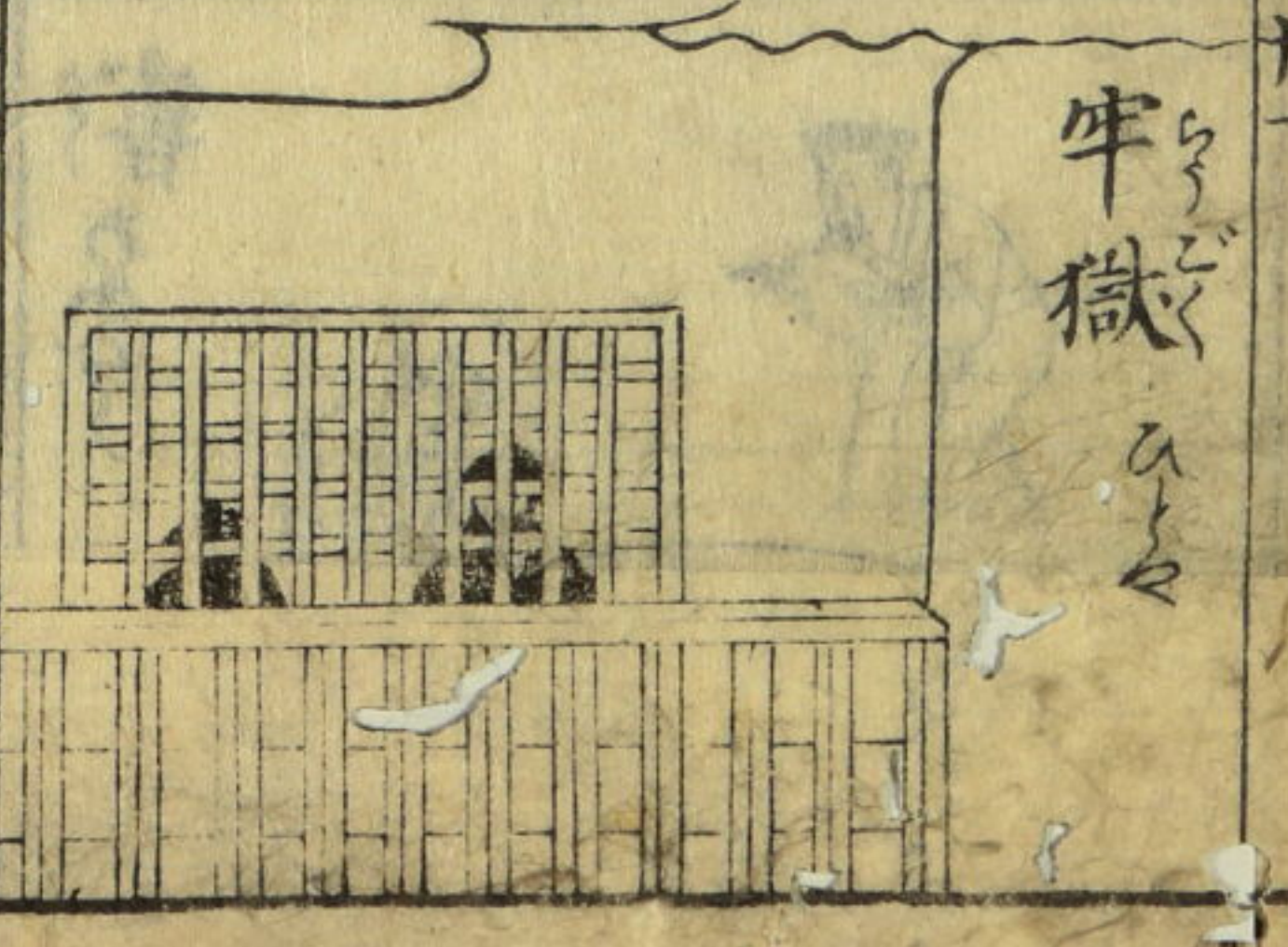


牢獄 牢獄  
 牢獄の罪人  
 囚とくあり  
 陶とくあり  
 今籠とくあり  
 今籠とくあり

藻井 藻井  
 藻井の天井  
 藻とくあり  
 藻とくあり  
 藻とくあり  
 藻とくあり

護朽 護朽  
 護朽の今  
 擬宝珠あり  
 高欄あり  
 高欄あり

瑞籬 瑞籬  
 瑞籬の神  
 瑞籬の神  
 瑞籬の神  
 瑞籬の神

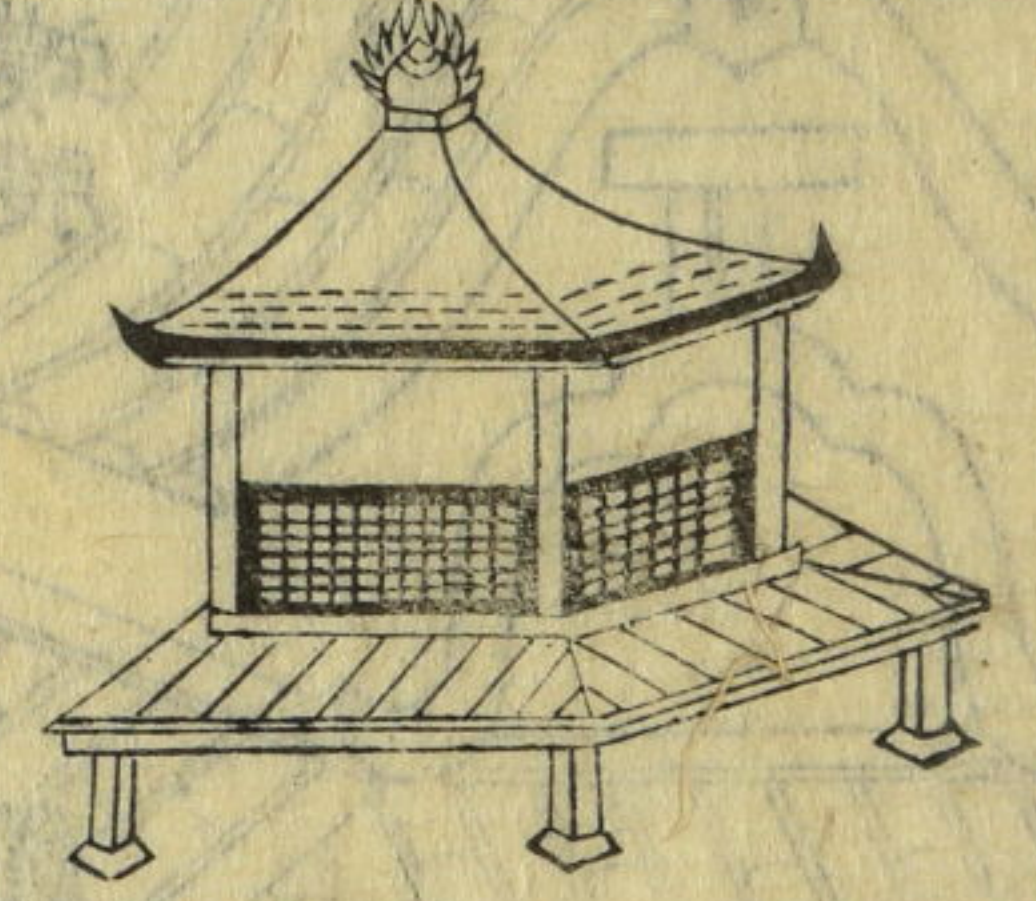


護摩堂

護摩堂の梵語は  
焚燒に翻譯  
せよと云はれり護  
摩と云ふは  
重言あり護摩  
と修らる護摩  
ぞりありと云へ

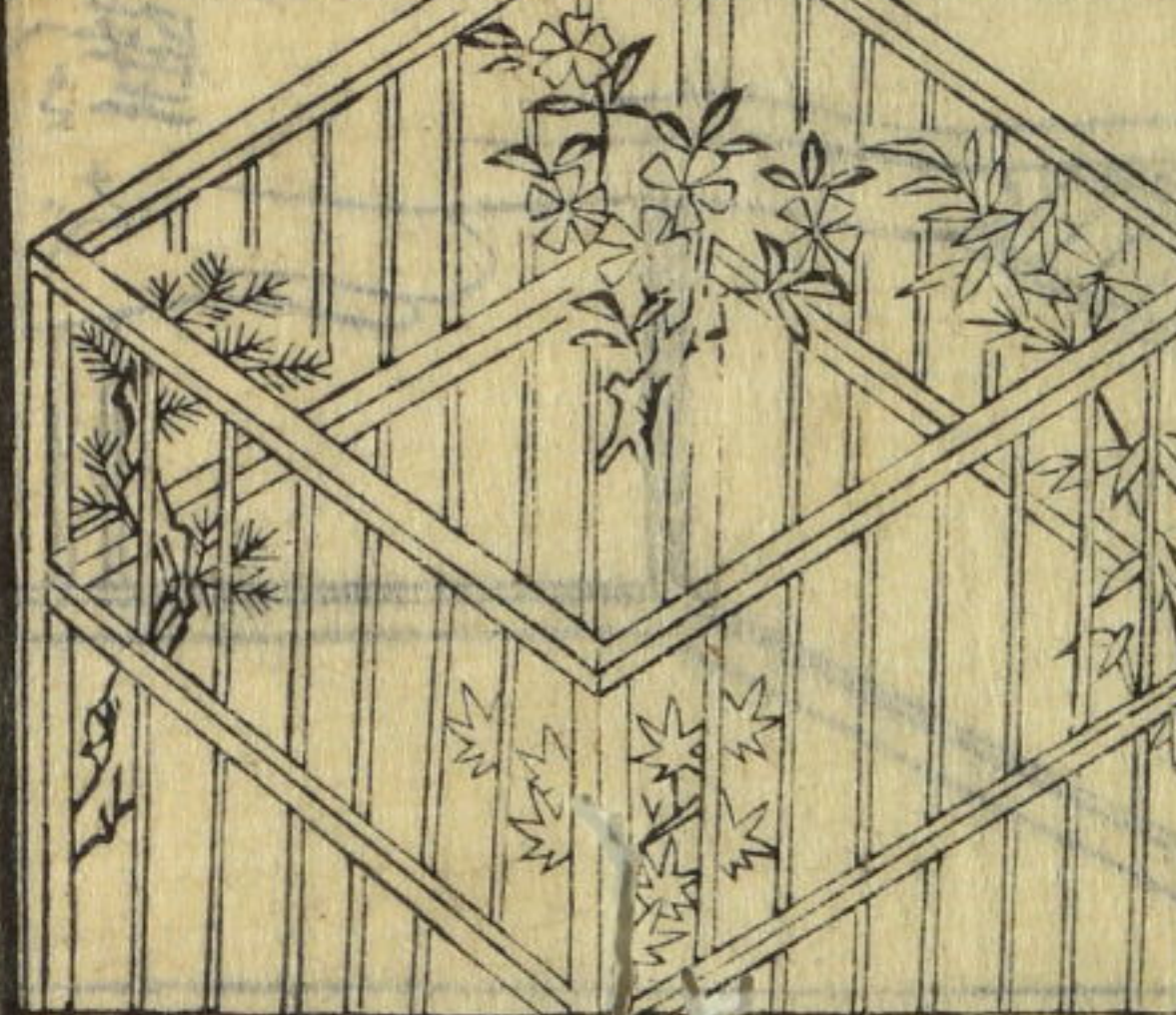
護摩堂の  
舞臺あり  
舞臺あり  
舞臺あり  
舞臺あり  
舞臺あり  
舞臺あり  
舞臺あり  
舞臺あり  
舞臺あり  
舞臺あり

護摩堂



補

蹴鞠



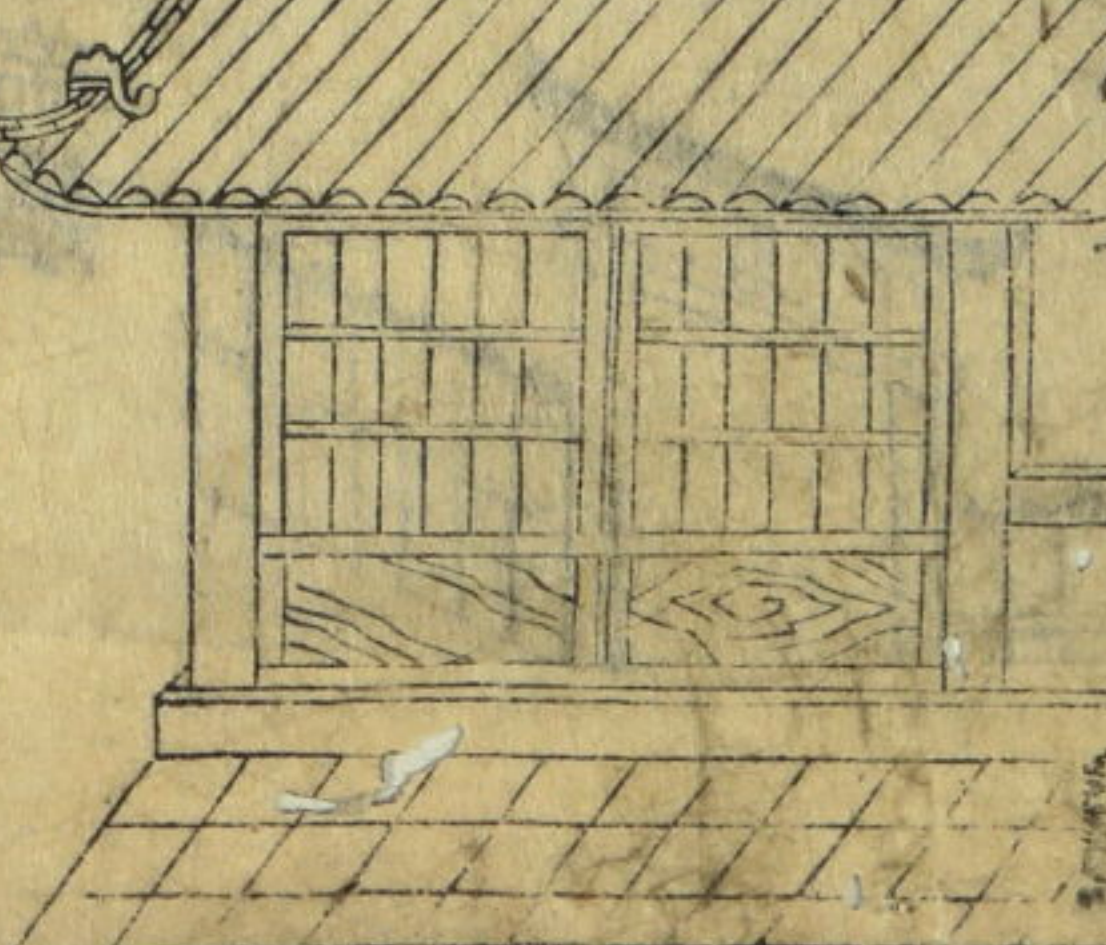
補

雪打  
雪打の佛殿  
閣又ハ二階あり  
にありと云へ  
雨  
雪あしり  
と云く  
後子あま  
りあり

雪打  
雪打の佛殿  
閣又ハ二階あり  
にありと云へ  
雨  
雪あしり  
と云く  
後子あま  
りあり

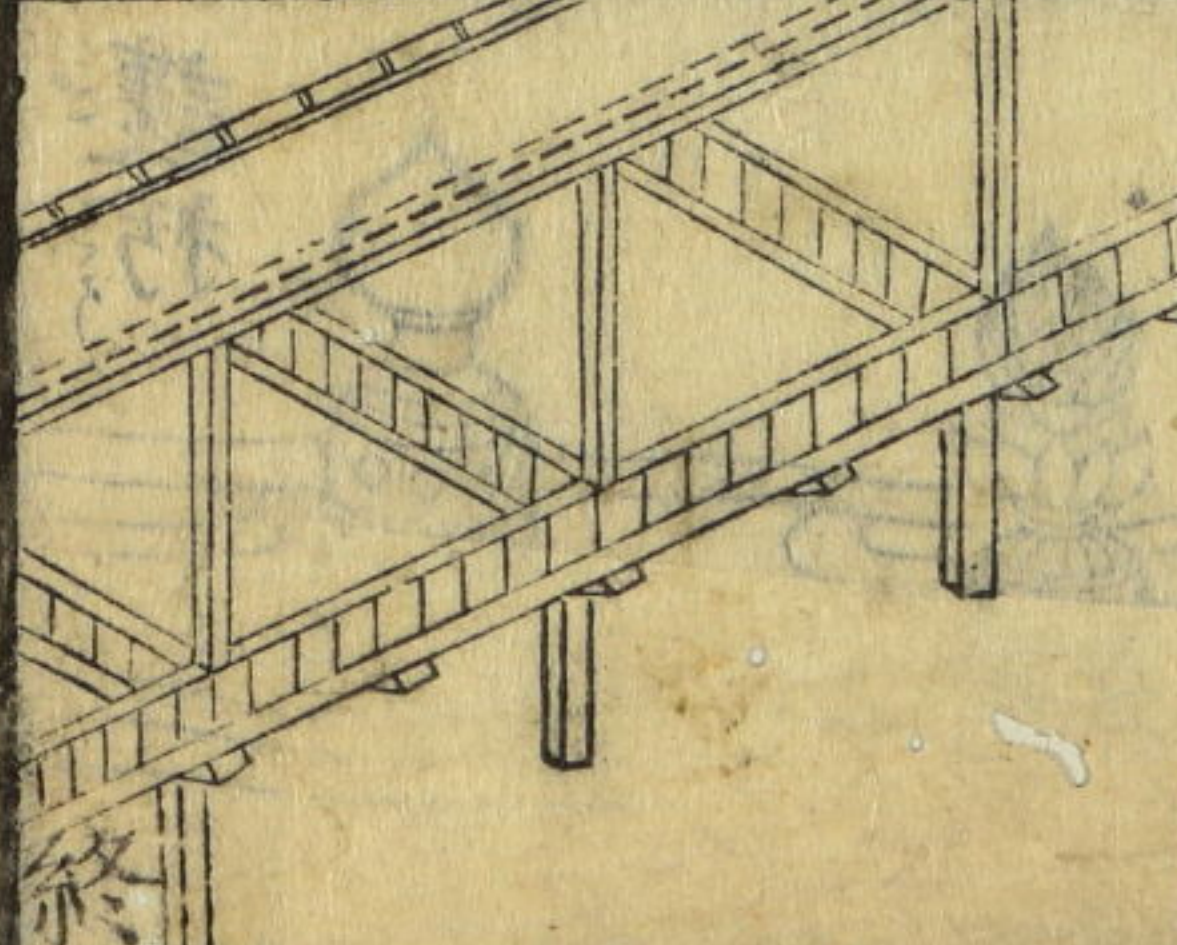
蹴鞠  
蹴鞠の  
蹴鞠の  
蹴鞠の  
蹴鞠の  
蹴鞠の  
蹴鞠の  
蹴鞠の  
蹴鞠の  
蹴鞠の  
蹴鞠の

雪打



補

蹴鞠



補

恒  
明治四十一年第七月修繕

伊豆平野村  
今井大郎

けんごら

アムボカ

たき



